

基山町
障がい者（児）の福祉に関する
アンケート調査

報 告 書

基 山 町

目 次

第1部 調査の概要	1
(1) 調査の目的.....	3
(2) 調査の実施概要.....	3
(3) 報告書の見方.....	3
第2部 調査の結果	5
(1) 調査対象者の基本属性について.....	7
(2) 障がい児保育や教育等について.....	17
(3) 就労や日々の過ごし方について.....	24
(4) 今後の暮らしについて.....	28
(5) 福祉サービスについて.....	36
(6) 生活上の困りごとや相談相手について.....	45
(7) 外出について.....	51
(8) 地域での生活について.....	56
(9) 災害時の備えについて.....	66
(10) 福祉全般について.....	72
第3部 自由意見	79
第4部 調査票	87

第1部 調査の概要

(1) 調査の目的

基山町障害福祉計画・障害児福祉計画の策定にあたり、障がい者の生活の実態や健康福祉・福祉サービスに関する意向、今後の希望を把握することによって、計画の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の実施概要

1) 調査実施期間

平成29年10月2日(月)～10月16日(月)

2) 調査対象者

平成29年9月20日現在、町が管理している身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者全員と障害福祉サービス利用者(計840人)

- ・身体障害者手帳：583人
- ・療育手帳：117人
- ・精神障害者保健福祉手帳：114人
- ・障害福祉サービス利用者：26人

3) 調査方法

郵送配布、郵送回収

4) 配布数及び回収状況等

配布数	有効回収数	有効回収率
840件	463件	55.1%

(3) 報告書の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示している。
- ② 集計は少数第二位以下を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100.0%にならない場合がある。
- ③ 回答が複数になる場合、その回答比率の合計は原則として100.0%を超える。
- ④ 表、グラフに示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮または簡略して表記している場合がある。

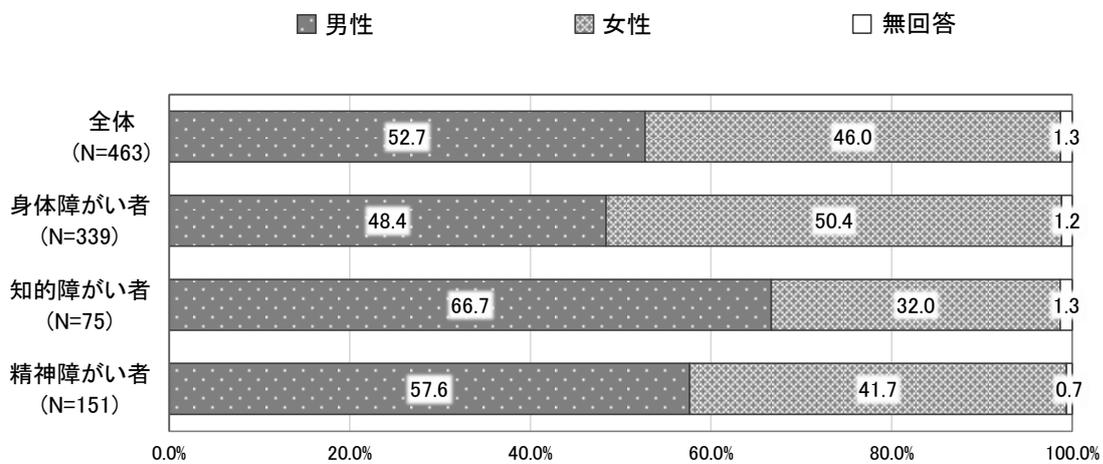
第2部 調査の結果

(1) 調査対象者の基本属性について

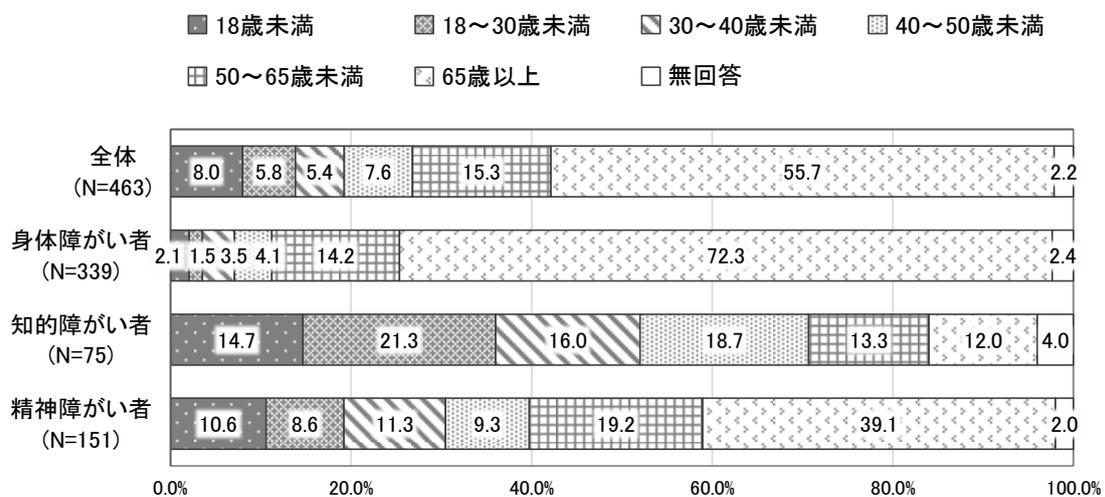
問1 あなたの性別、年齢、現在のお住まいをお答えください。

●調査結果の性別と年齢の分布は以下の通りで、知的障がい者と精神障がい者では、女性よりも男性の割合が高くなっている。また身体障がい者では「65歳以上」が72.3%を占めており、知的障がい者では「30歳未満」の割合が36.0%と、他の障害種別に比べて高くなっている。

性別

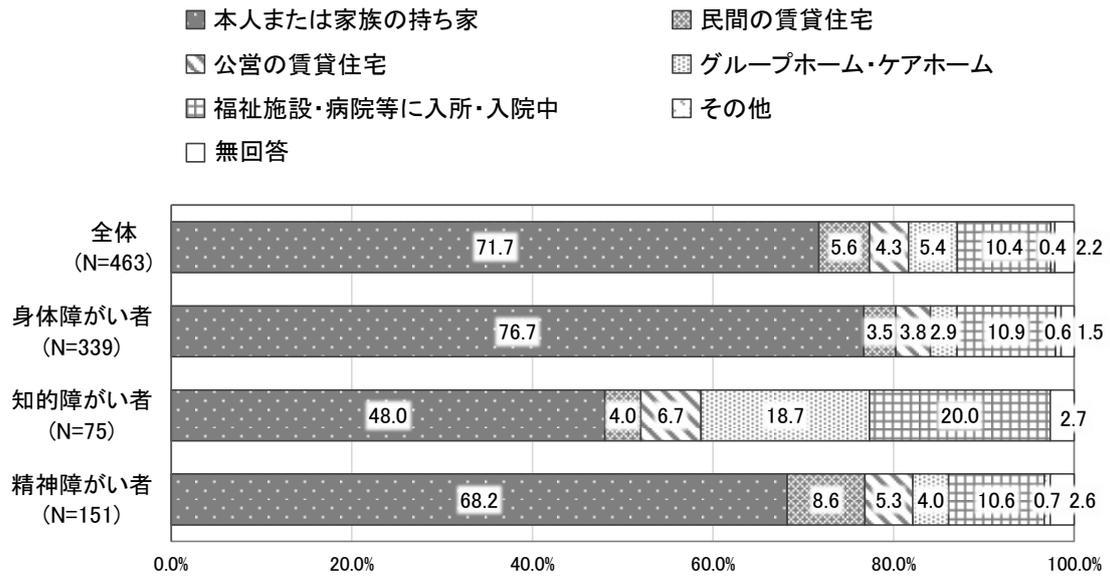


年齢



現在のお住まい

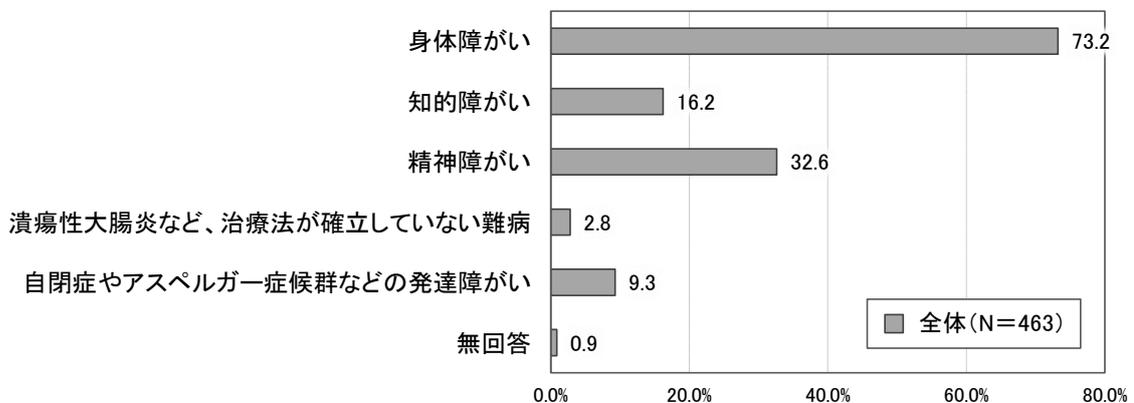
●現在の住まいについては、いずれの障害種別においても「本人または家族の持ち家」と回答した人の割合が高くなっているが、知的障がい者については、「福祉施設・病院等に入所・入院中」が20.0%、「グループホーム・ケアホーム」が18.7%と、他の障害種別に比べ高い割合となっている。



**問2 あなたの障がいは何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。
(複数回答)**

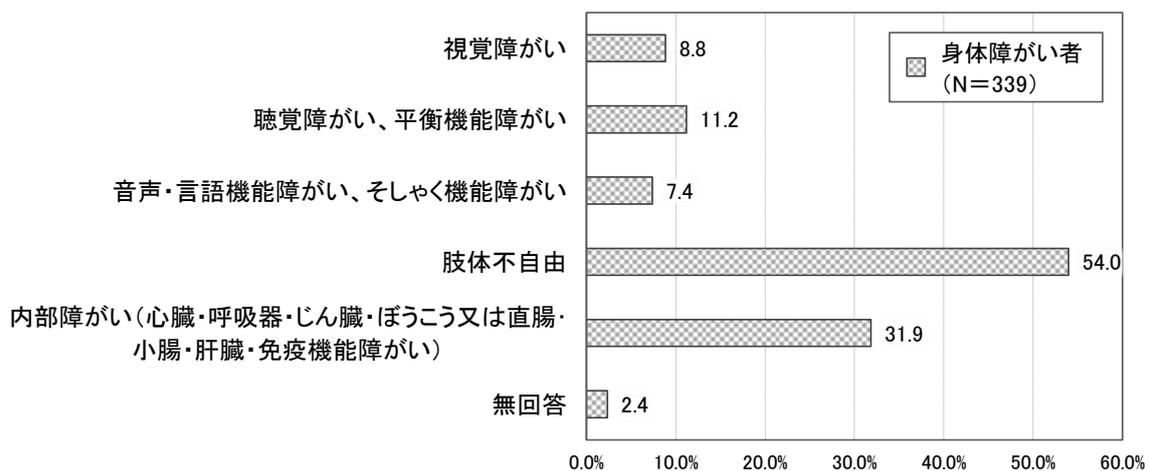
- 調査対象者の障がいについては「身体障がい」と回答した人の割合が73.2%、「精神障がい」が32.6%、「知的障がい」が16.2%、「自閉症やアスペルガー症候群などの発達障がい」が9.3%、「潰瘍性大腸炎など、治療法が確立していない難病」が2.8%となっている。
- 身体障がい者の内訳を見ると、「肢体不自由」が54.0%と最も多く、手帳の等級は「1級」が32.7%、「2級」が16.5%と、いわゆる重度障がい者が約半数の49.2%を占めている。(次ページ参照)
- 知的障がいと回答した人の療育手帳記載の程度は、「B」が全体の56.0%を占めており、「A」が33.3%となっており、「B」の割合が多い。(次ページ参照)
- 精神障がいと回答した人の中で「精神障害者福祉手帳を持っている人」の割合が55.0%となっており、手帳所持者の等級では「2級」45.2%と最も高くなっており、次いで「3級」が40.3%、「1級」が最も低く8.1%となっている。(次ページ参照)

障がいの種類

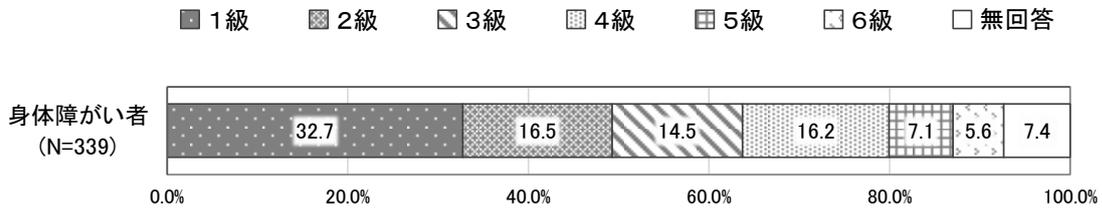


■身体障がい者

身体障がいの種類

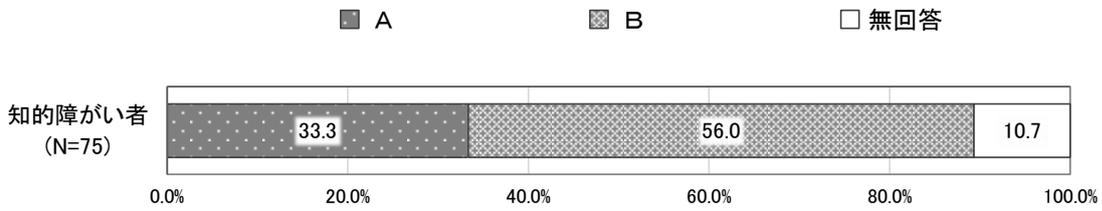


身体障害者手帳の等級



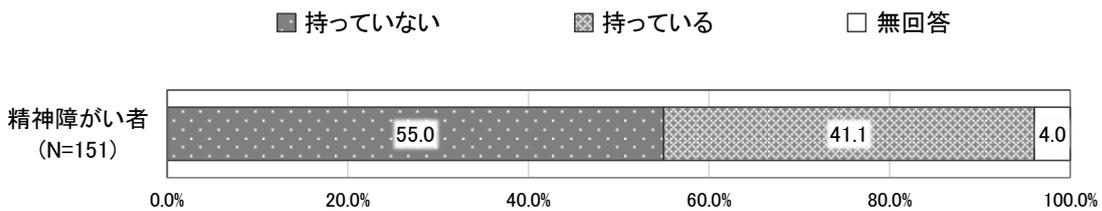
知的障がい者

療育手帳記載の障がいの程度

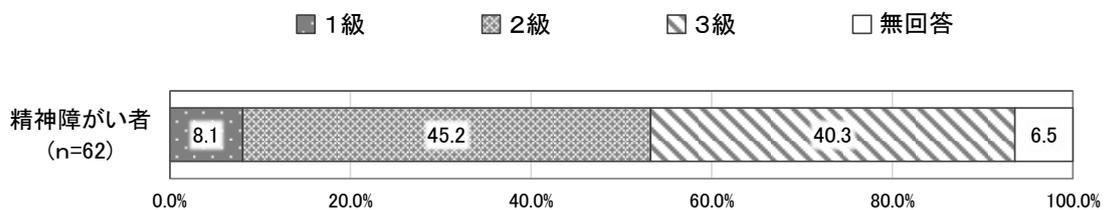


精神障がい者

精神障害者保健福祉手帳の所持状況



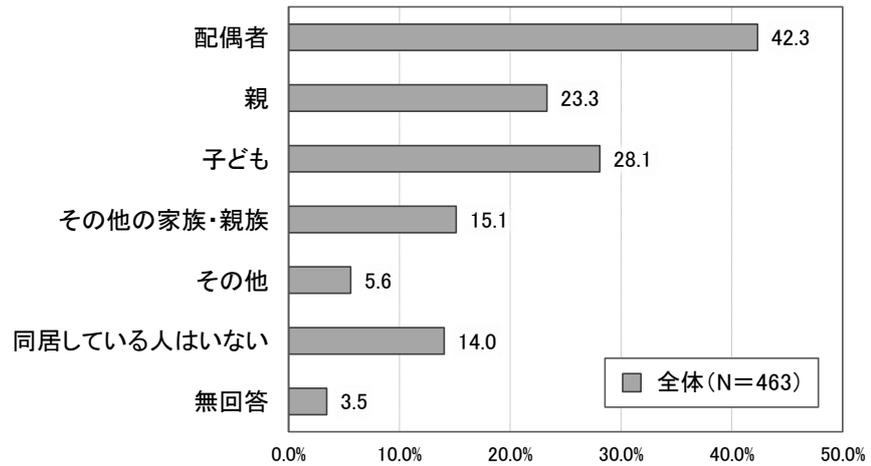
精神障害者保健福祉手帳の等級



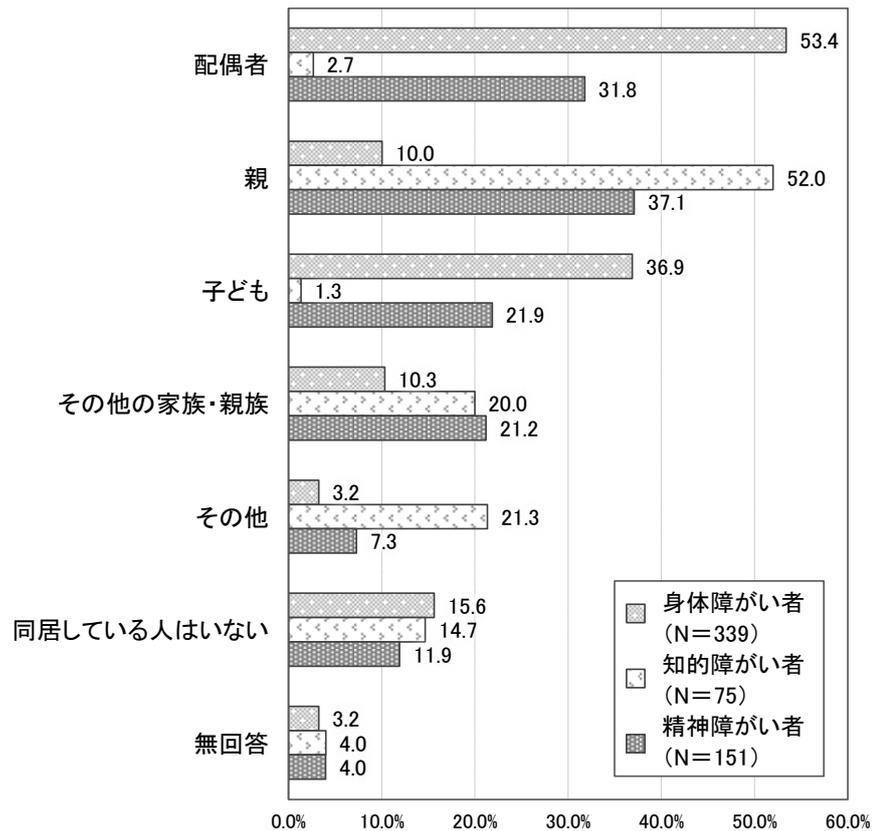
問3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。（複数回答）

●全体では、「配偶者」(42.3%) が最も多く、身体障がい者については「配偶者」(53.4%)、知的障がい者、精神障がい者については「親」(知的：52.0%、精神：37.1%) の回答割合が最も高くなっている。

同居している人（全体）



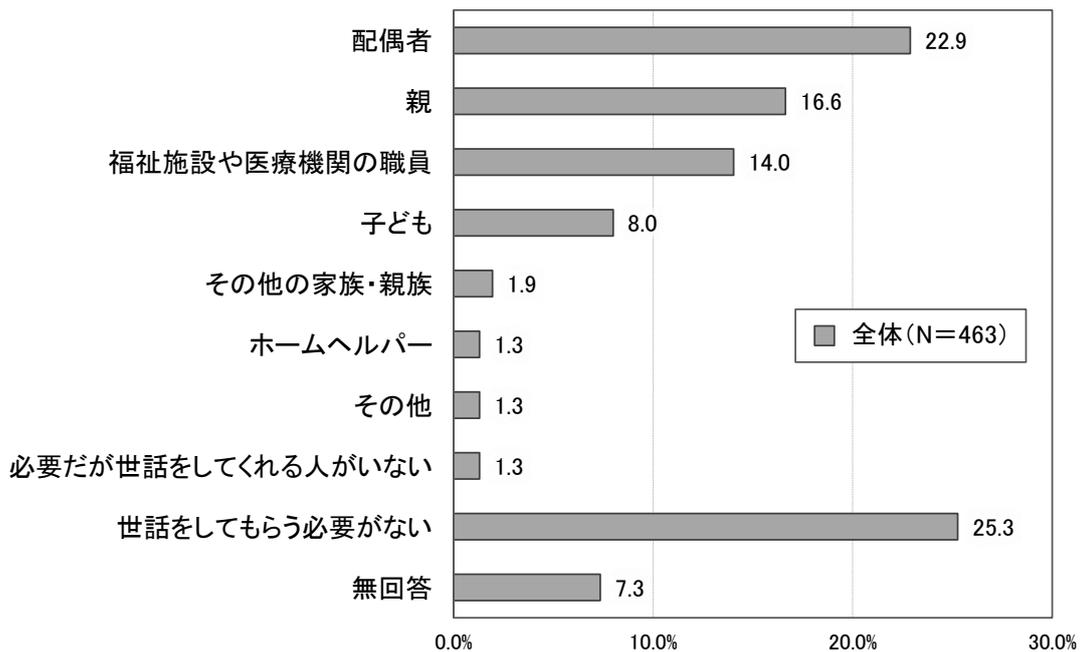
同居している人（障害種別クロス集計結果）



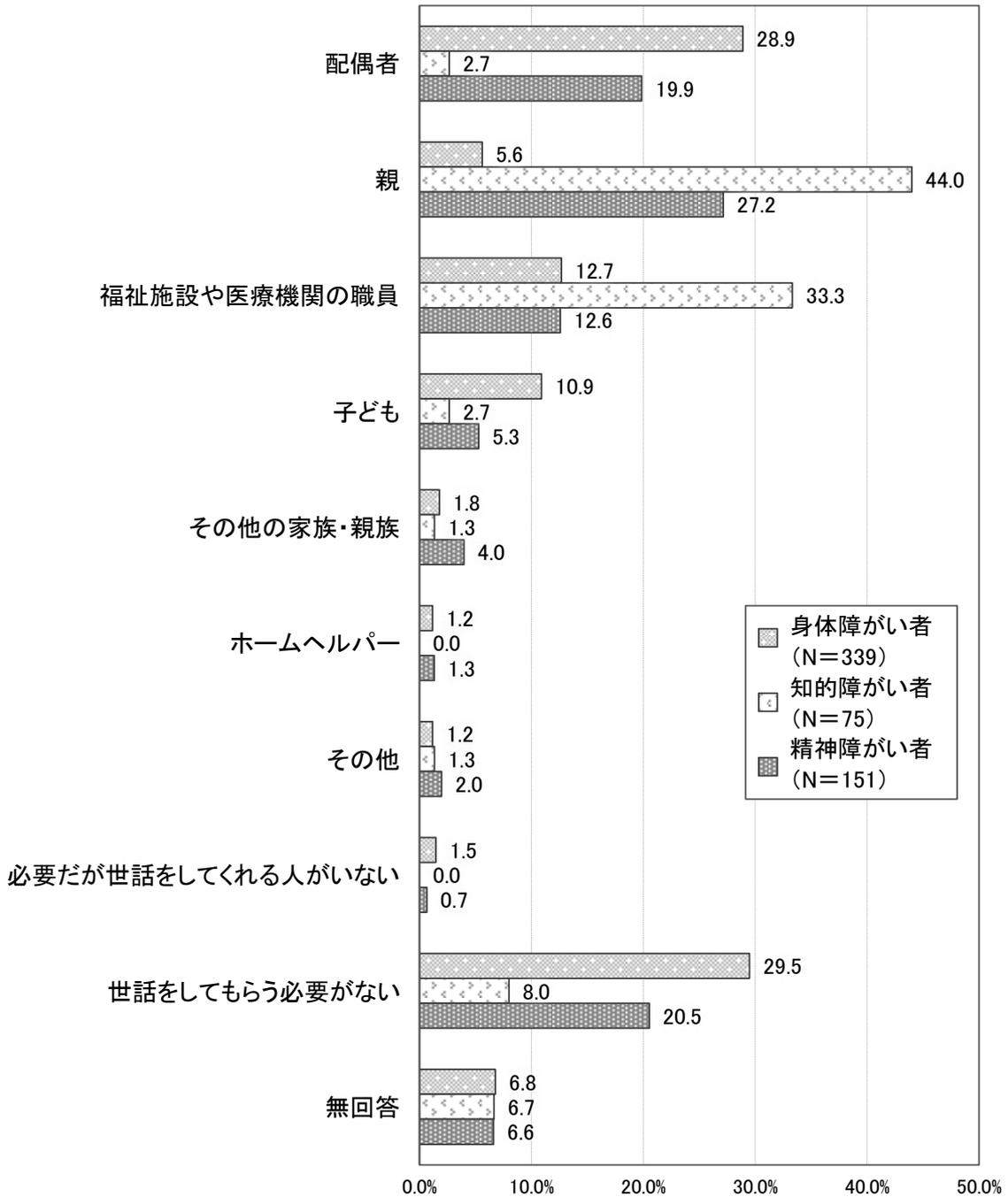
**問4 あなたは身の回りの世話を、どなたにしてもらっていますか。
(単数回答)**

- 全体で見ると、「世話をしてもらう必要がない」が25.3%と最も高くなっており、全体の約4分の1を占めている。
- 身体障がい者では「世話をしてもらう必要がない」(29.5%)が最も高くなっており、次いで「配偶者」(28.9%)が高くなっている。(次ページ参照)
- 知的障がい者、精神障がい者では「親」と回答した人が多くなっており(知的:44.0%、精神:27.2%)、知的障がい者では「福祉施設や医療機関の職員」(33.3%)、精神障がい者では「世話をしてもらう必要がない」(20.5%)が次いで高くなっている。(次ページ参照)

身のまわりの世話をする人(全体)



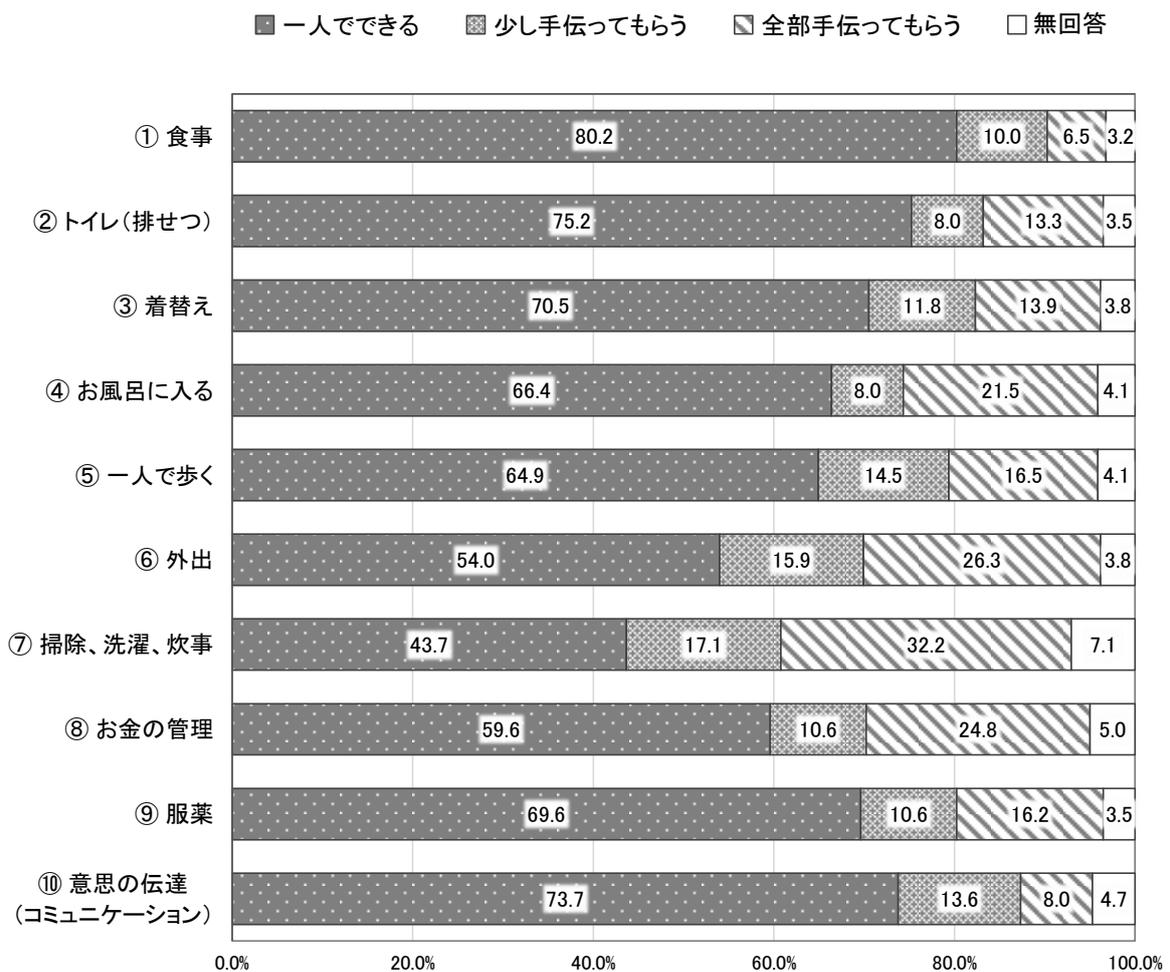
身のまわりの世話をする人（障害種別クロス集計結果）



問5 あなたは、次の①から⑩までのことができますか。(単数回答)

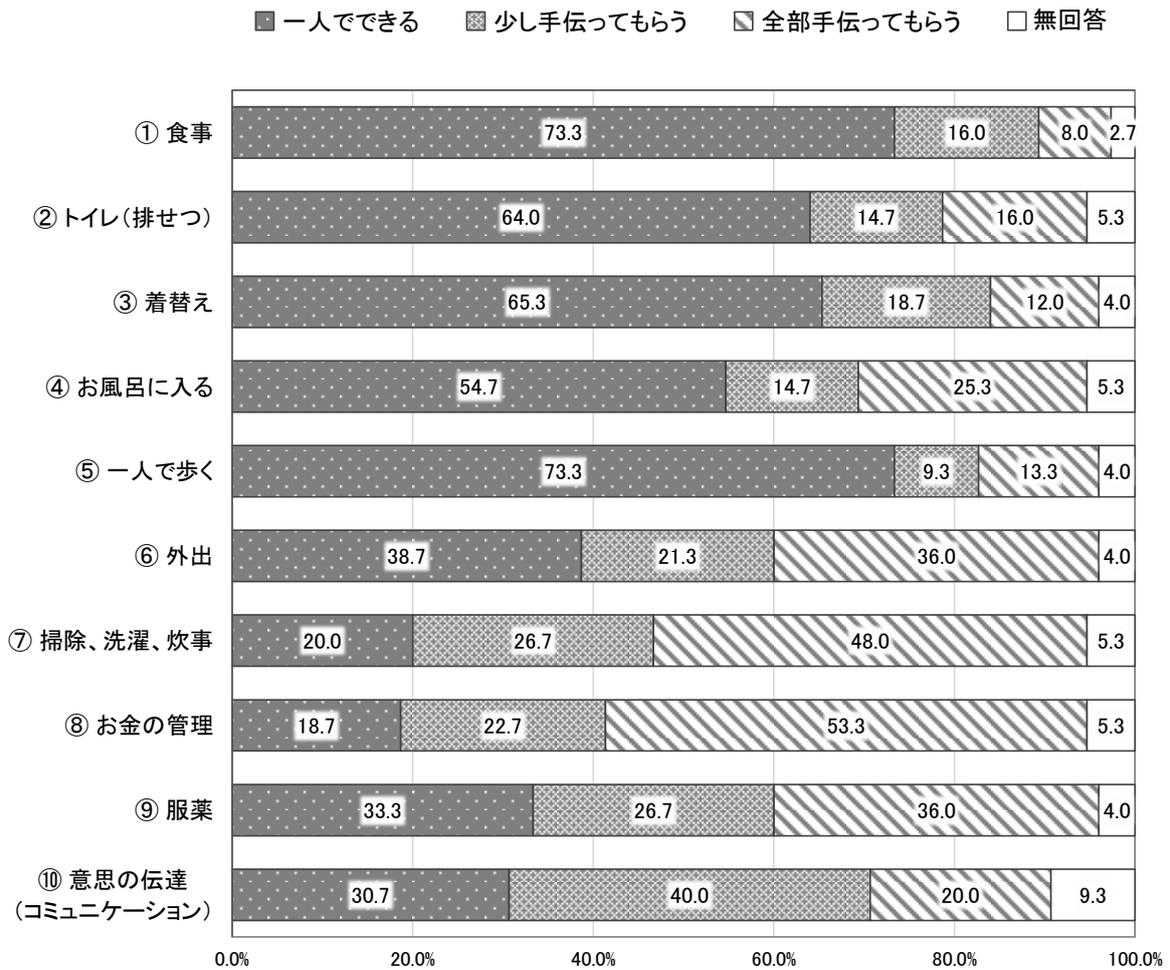
●身体障がい者の日常生活動作（ADL）について、「全部手伝ってもらう」という回答は、「掃除、洗濯、炊事」（32.2%）や「外出」（26.3%）、「お金の管理」（24.8%）の項目で多くなっている。

日常生活動作の状況（身体障がい者）



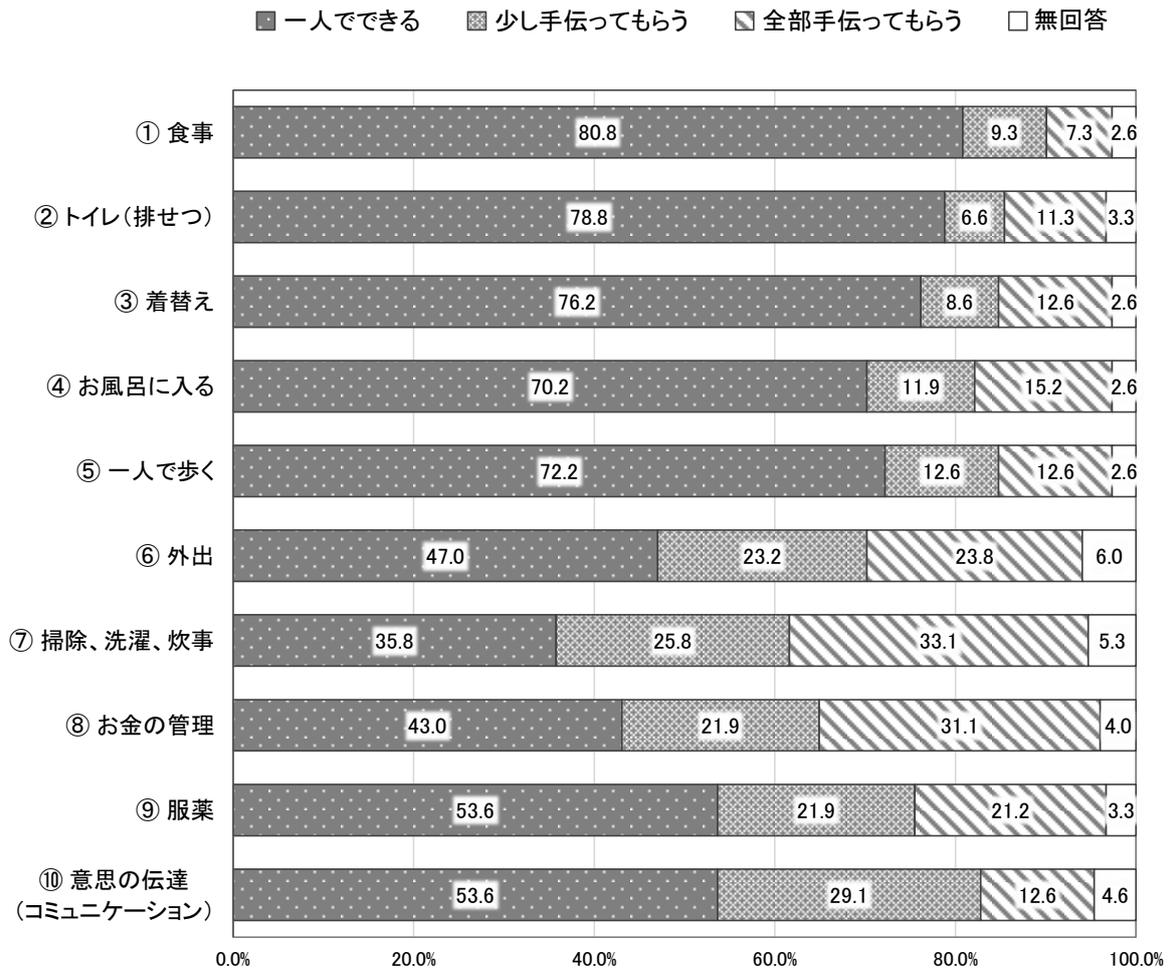
日常生活動作の状況（知的障がい者）

●知的障がい者の日常生活動作（ADL）について、「全部手伝ってもらおう」という回答は、「お金の管理」（53.3%）、「掃除、洗濯、炊事」（48.0%）、「外出」、「服薬」（ともに36.0%）の項目で多くなっている。



日常生活動作の状況（精神障がい者）

●精神障がい者の日常生活動作（ADL）について、「全部手伝ってもらおう」という回答は、「掃除、洗濯、炊事」（33.1%）、「お金の管理」（31.1%）、「外出」（23.8%）の項目で多くなっている。



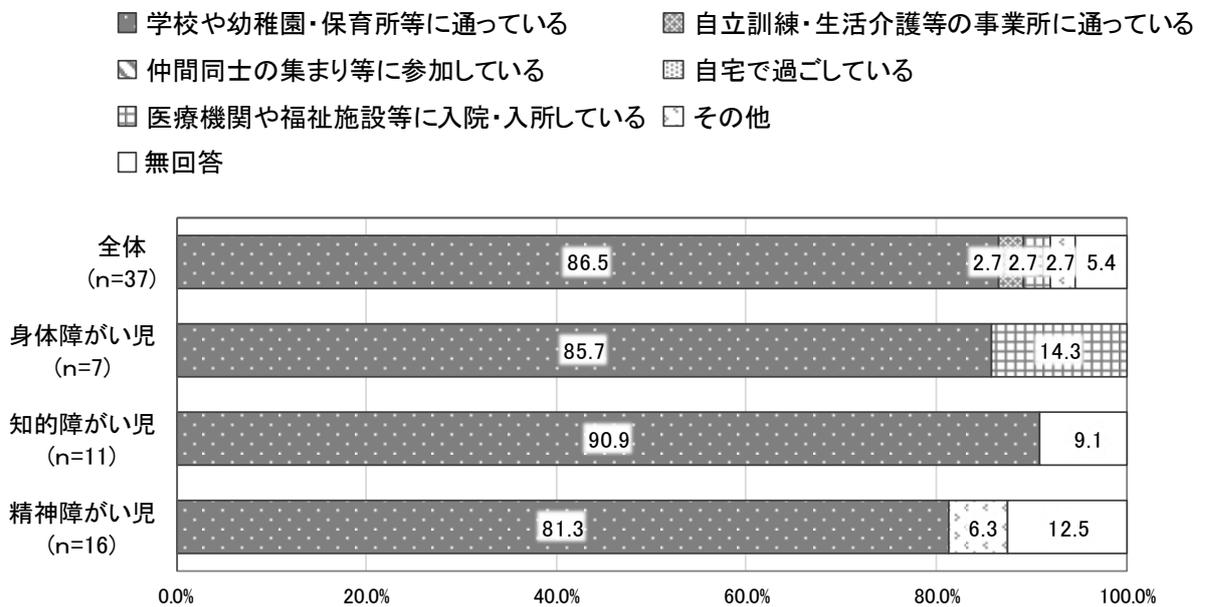
(2) 障がい児保育や教育等について

(18歳未満の方のみ回答)

問6 あなたは、主に何をして過ごしていますか。(単数回答)

- 「学校や幼稚園・保育園等に通っている」が、86.5%と全体で多くの割合を占めており、身体障がい児で85.7%、知的障がい児で90.9%、精神障がい児で81.3%となっている。

日中の過ごし方

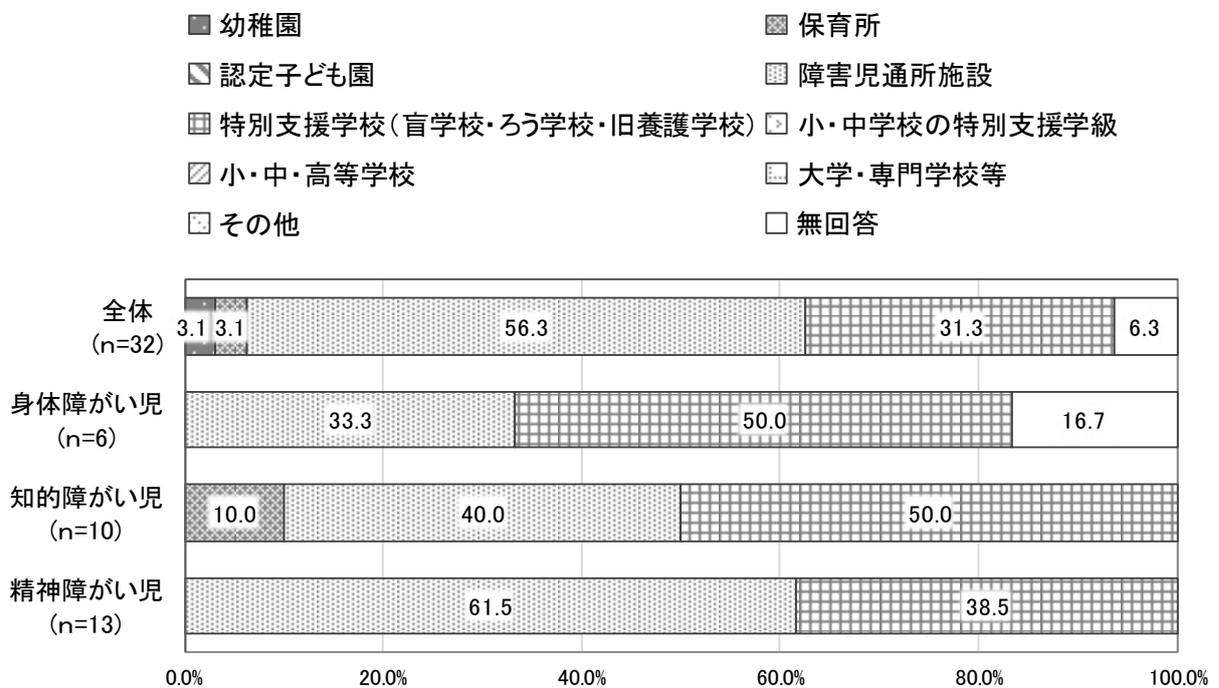


(18歳未満の方のみ回答)

問6-1 通園・通学先は、次のうちどれにあたりますか。(単数回答)

●「学校や幼稚園・保育所に通っている」と回答した人に通園通学先をたずねたところ、身体障がい児と知的障がい児では「特別支援学校」(ともに50.0%)と回答した人の割合が高く、精神障がい児では、「障害児通所施設」(61.5%)と回答した人の割合が高くなっている。

通園・通学先

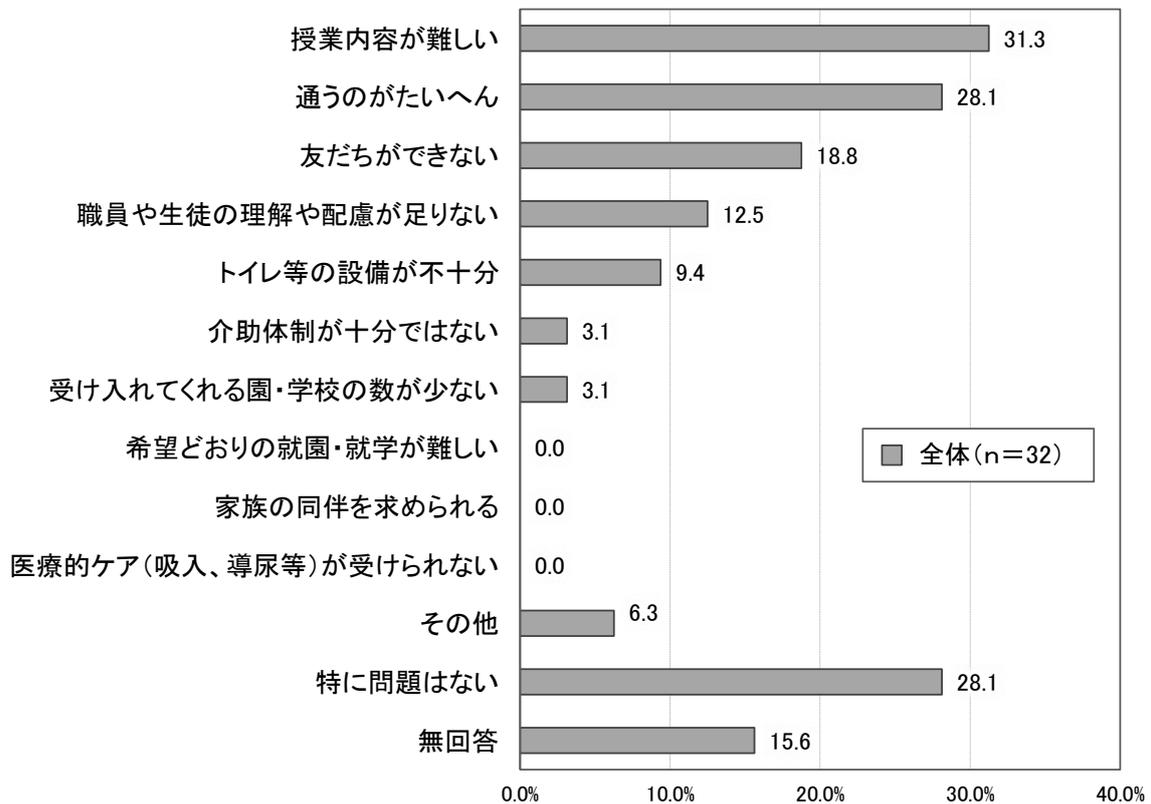


(18歳未満の方のみ回答)

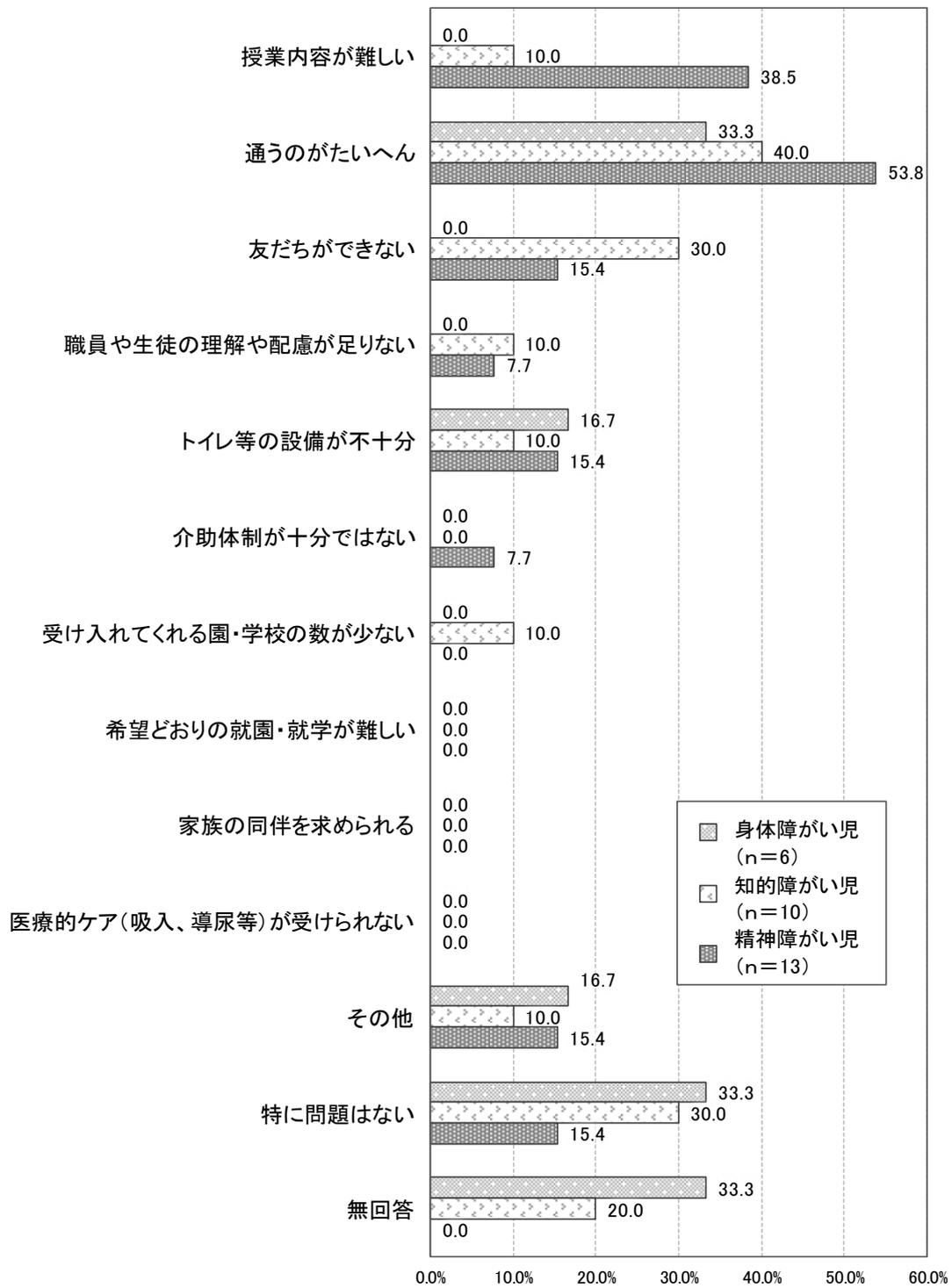
問6-2 通園・通学で困っていることがありますか(単数回答)

- 「学校や幼稚園・保育所に通っている」と回答した人に、通園・通学で困っていることをたずねると、全体では「授業内容が難しい」という回答が31.3%と最も多く、次いで「特に問題はない」という回答が28.1%と続いている。
- 身体障がい児では「通うのがたいへん」と「特に問題はない」(ともに33.3%)と回答した人が最も高くなっており、知的障がい児と精神障がい児では「通うのがたいへん」(知的：40.0%、精神：53.8%)が高くなっている。(次ページ参照)

通園・通学で困っていること(全体)



通園・通学で困っていること（障害種別クロス集計結果）



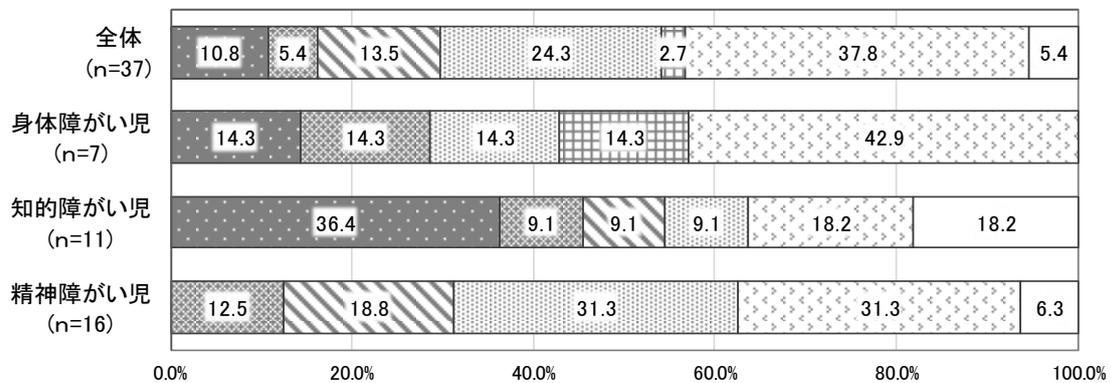
(18歳未満の方のみ回答)

問7 学校（中学校、高校）を卒業した後の進路について、どのようにお考えですか。（単数回答）

●学校（中学校・高校）を卒業した後の進路については、身体障がい児については「わからない・まだ考えていない」（42.9%）という回答が最も高く、知的障がい児では「地域活動支援センターまたは就労支援の事業所に通いたい」（36.4%）が最も高く、精神障がい児については、「進学したい」と「わからない・まだ考えていない」（ともに 31.3%）が高くなっている。

卒業後の進路

- 地域活動支援センターまたは就労支援の事業所に通いたい
- ▨ 施設に入って、生活訓練や職業訓練等を受けたい
- ▩ 一般の企業等で働きたい
- ▧ 進学したい
- ▦ その他
- わからない・まだ考えていない
- 無回答

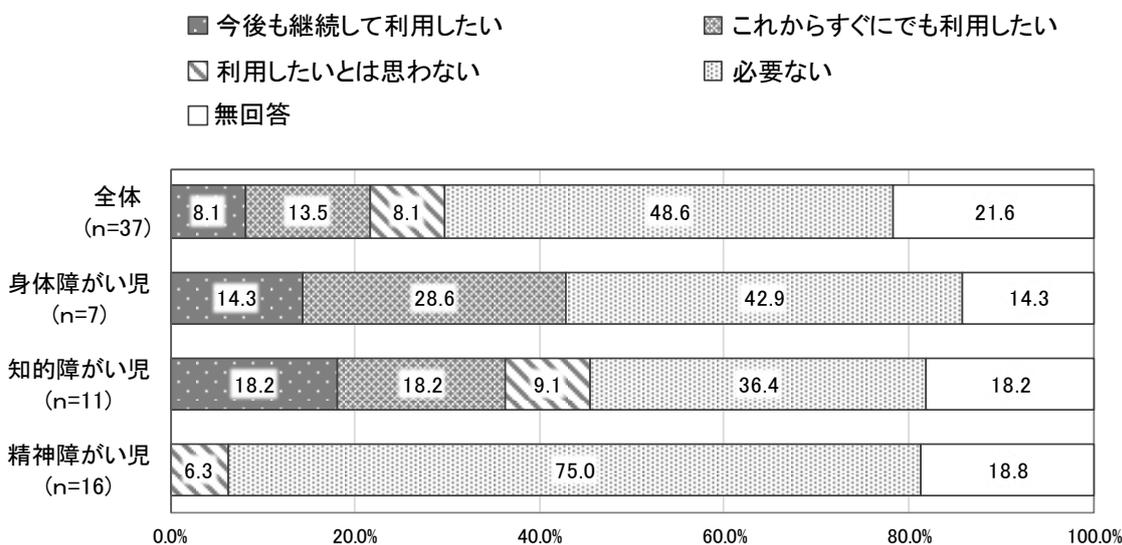


(18歳未満の方のみ回答)

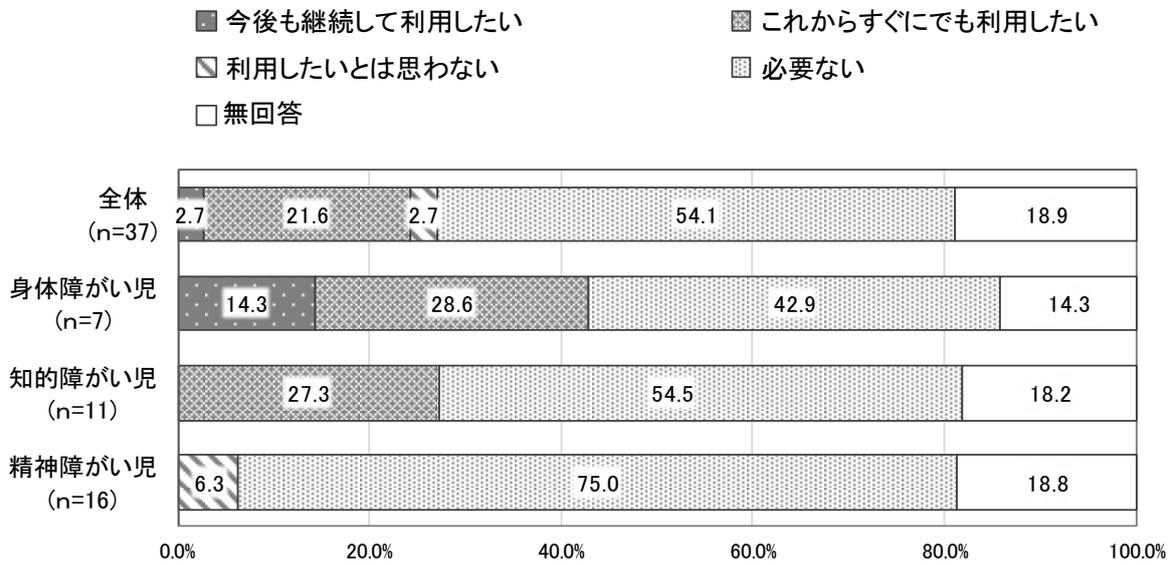
問8 宛名の方の保護者におたずねします。あなたは子育て支援として、以下のサービスや事業を利用したいと思いますか。

- 宛名の方の保護者に子育て支援として、「保育所」「認定こども園」「放課後児童健全育成事業」を利用したいと思うかたずねたところ、「保育所」と「認定こども園」はいずれの障害種別においても「必要ない」の回答割合が高くなっている。
- 「保育所」について、身体障がい児では「これからすぐにでも利用したい」が28.6%と、他の障害種別に比べて高くなっている。
- 「認定こども園」については、身体障がい児、知的障がい児で「これからすぐにでも利用したい」（身体：28.6%、知的：27.3%）という割合が高い。（次ページ参照）
- 「放課後児童健全育成事業」は、身体障がい児では「今後も継続して利用したい」が57.1%と高くなっている。知的障がい児では「今後も継続して利用したい」と「必要ない」がそれぞれ27.3%となっており、精神障がい児では「必要ない」が43.8%と最も高くなっている。（次ページ参照）

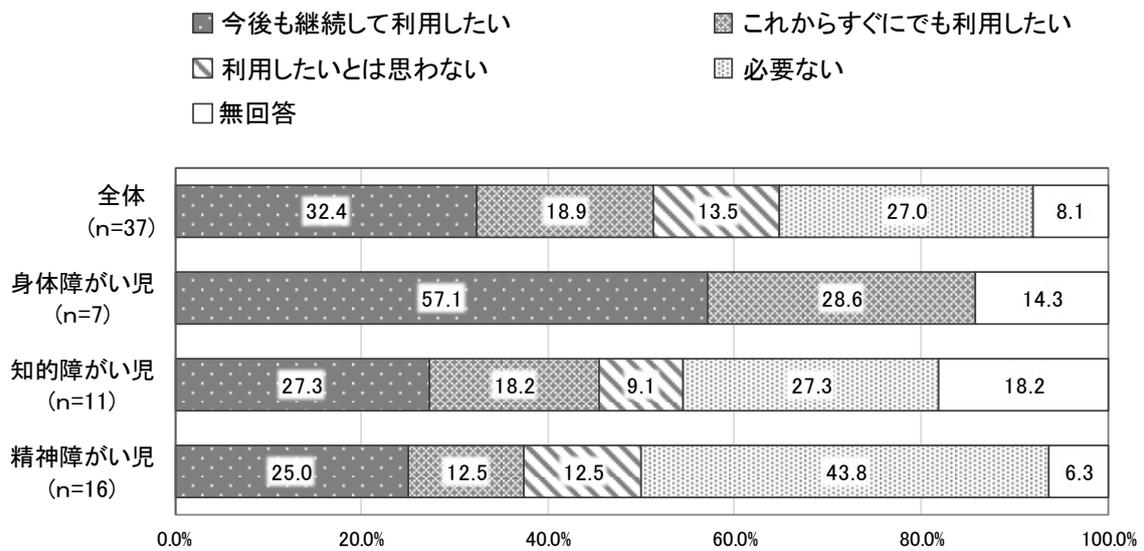
保育所



認定こども園



放課後児童健全育成事業



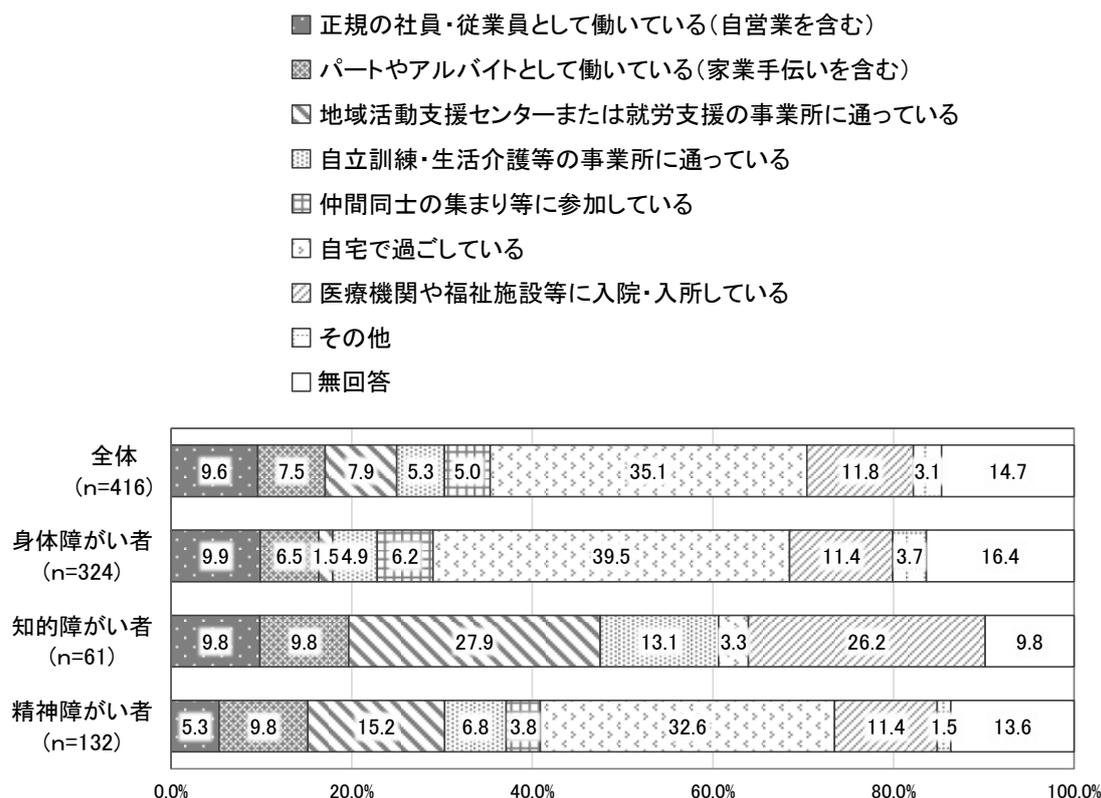
(3) 就労や日々の過ごし方について

(18歳以上の方のみ回答)

問9 あなたは、主に何をして過ごしていますか。(単数回答)

- 全体では、「自宅で過ごしている」と回答した人の割合が35.1%と最も高い。
- 「正規の社員・従業員として働いている(自営業を含む)」または「パートやアルバイトとして働いている(家事手伝いを含む)」と回答した人の割合は、身体障がい者で16.4%、知的障がい者で19.6%、精神障がい者で15.1%となっている。
- 「地域活動支援センターまたは就労支援系事務所に通っている」または「自立訓練・生活介護事業所や更生施設に通っている」と回答した人の割合は、身体障がい者で6.4%、知的障がい者で41.0%、精神障がい者で22.0%となっている。

日中の過ごし方

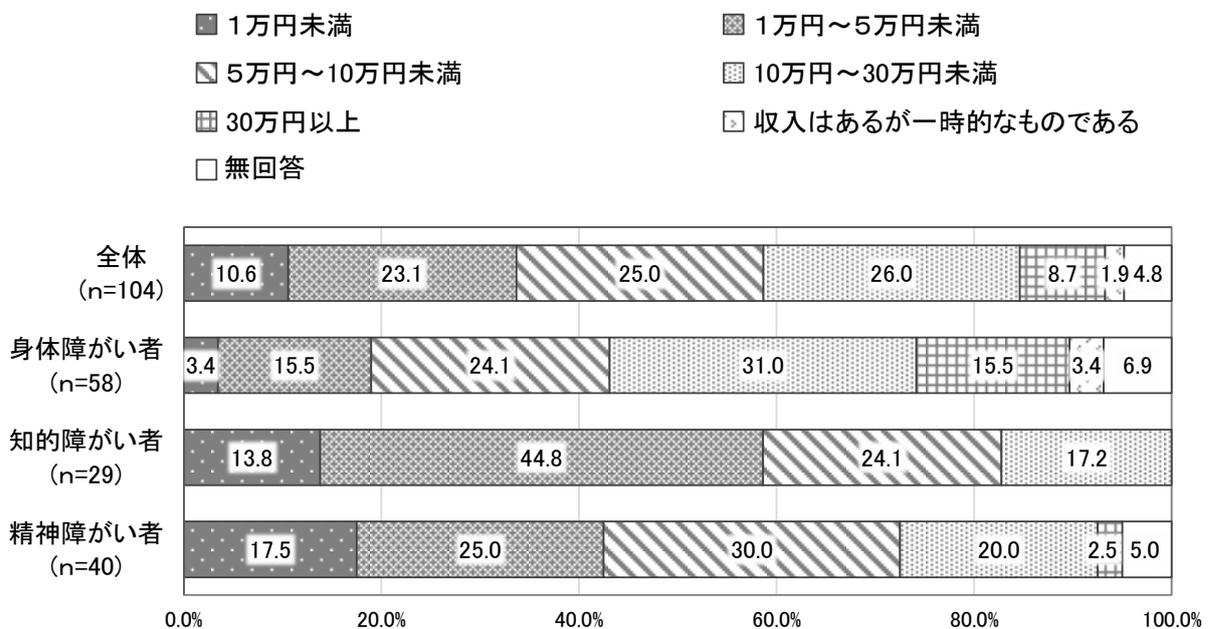


(18歳以上の方のみ回答)

**問9-1 あなたが仕事で得る月収は平均しておよそいくらくらいですか。
(単数回答)**

●問9で「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」、「パートやアルバイトとして働いている（家事手伝いを含む）」、「地域活動支援センターまたは就労支援の事務所に通っている」のいずれかを選んだ人に、平均月収をたずねたところ、身体障がい者では「10～30万円未満」（31.0%）、知的障がい者では「1～5万円未満」（44.8%）、精神障がい者では「5～10万円未満」（30.0%）と回答した人の割合が最も高くなっている。

平均月収

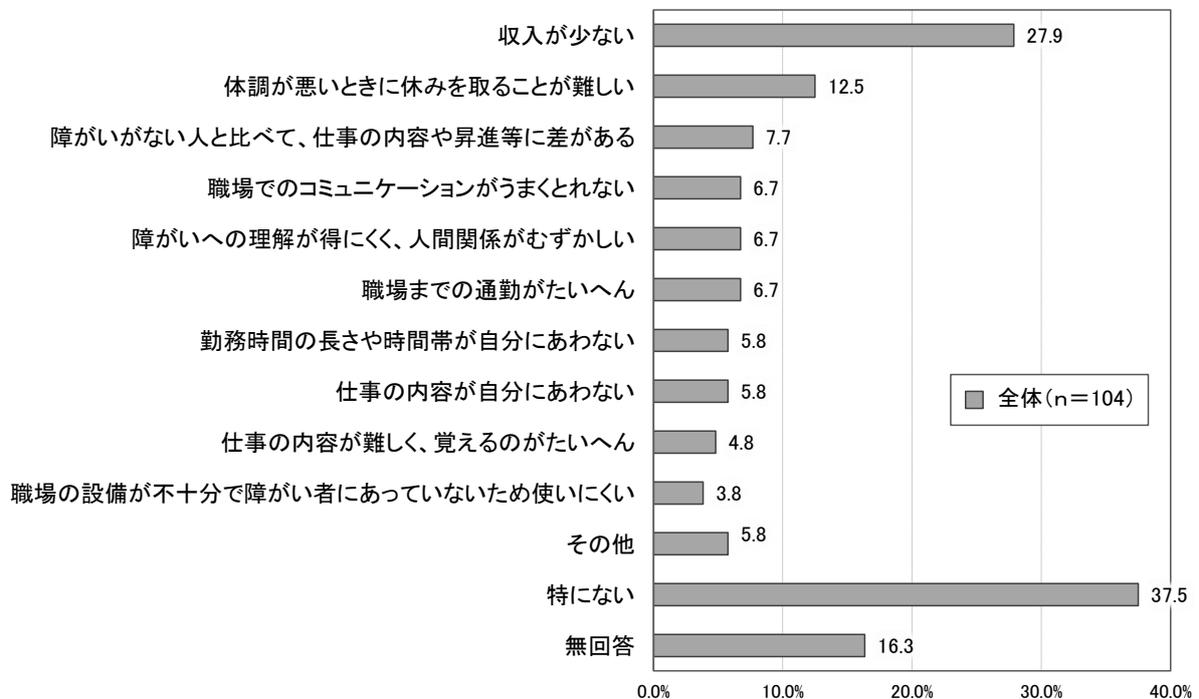


(18歳以上の方のみ回答)

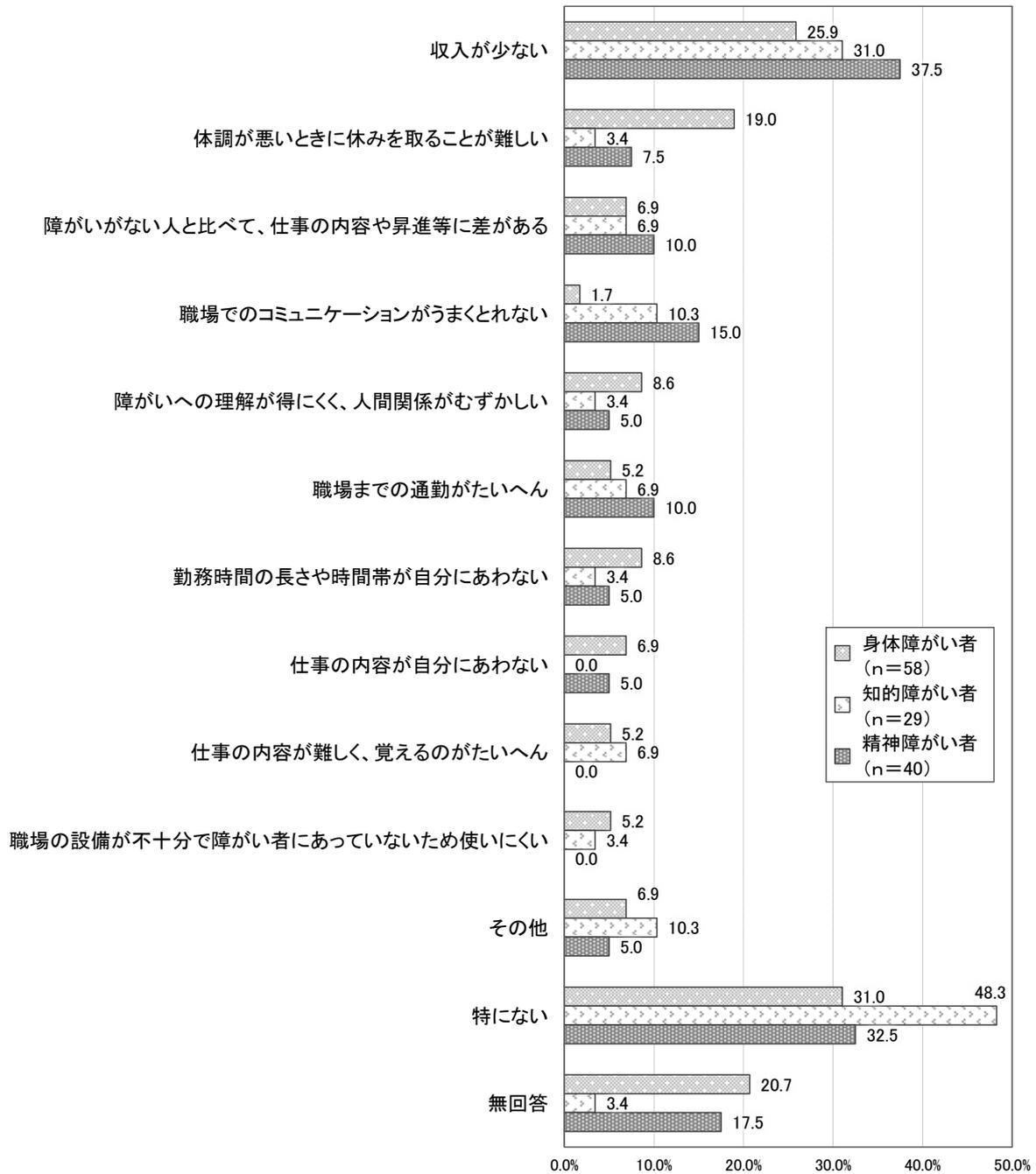
**問9-2 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。
(複数回答)**

- 問9で「正規の社員・従業員として働いている（自営業を含む）」、「パートやアルバイトとして働いている（家事手伝いを含む）」、「地域活動支援センターまたは就労支援の事務所に通っている」のいずれかを選んだ人に、仕事で悩んでいる事や困っていることがあるかたずねたところ、全体では「特にない」(37.5%)が最も多くなっており、次いで「収入が少ない」(27.9%)となっている。
- 障害種別にみると、いずれの障害種別も「特にない」、「無回答」を除くと「収入が少ない」と回答した人が多くなっており、次いで身体障がい者では「体調が悪いときに休みを取ることが難しい」(19.0%)、知的障がい者と精神障がい者では、「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」(知的：10.3%、精神：15.0%)と続いている。(次ページ参照)

仕事の悩みや困っていること（全体）



仕事の悩みや困っていること（障害種別クロス集計結果）

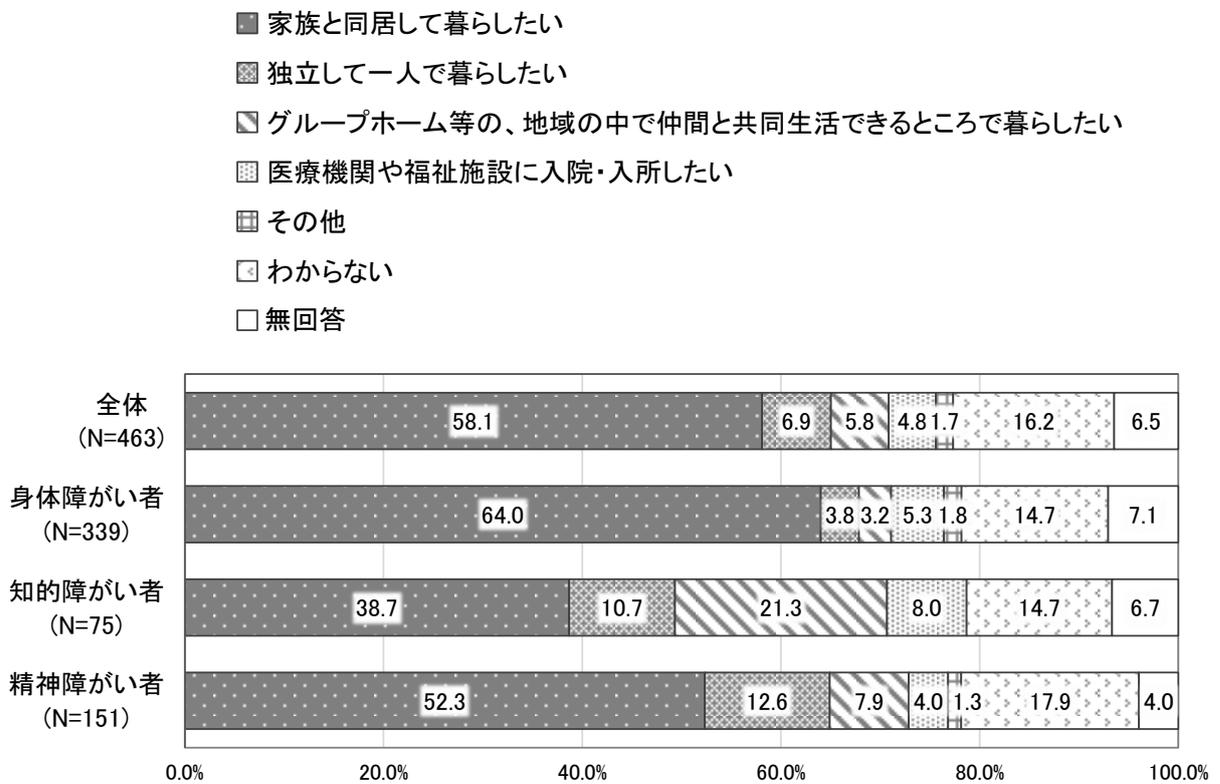


(4) 今後の暮らしについて

問10 あなたは、今後、どのように暮らしたいと思いますか。(単数回答)

●今後どのように暮らしたいかたずねたところ、いずれの障害種別も「家族と同居して暮らしたい」と回答した人の割合が最も高くなっているが、知的障がい者については「グループホーム等の、地域の中で仲間と共同生活できる場所で暮らしたい」を選んだ人が、他の障害種別に比べると高い割合になっている。

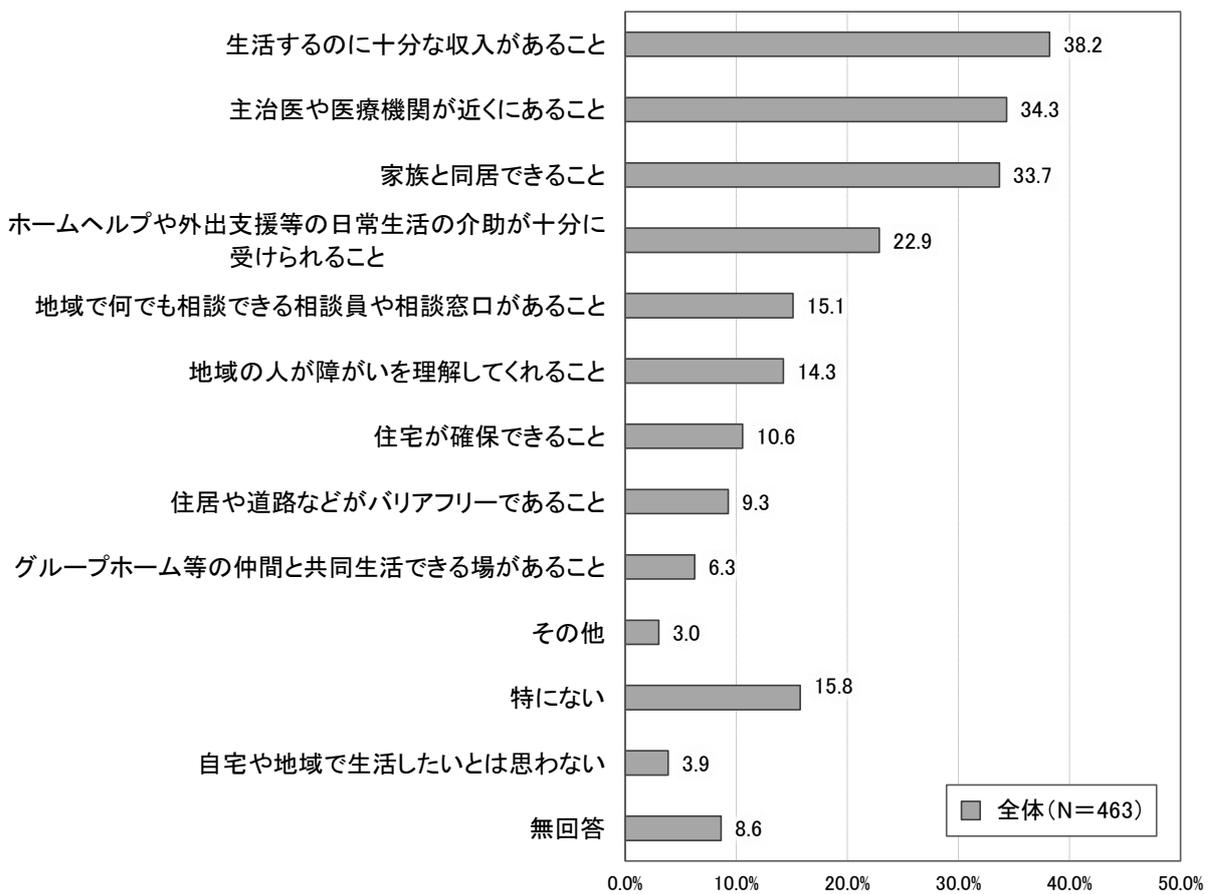
今後どのように暮らしたいか



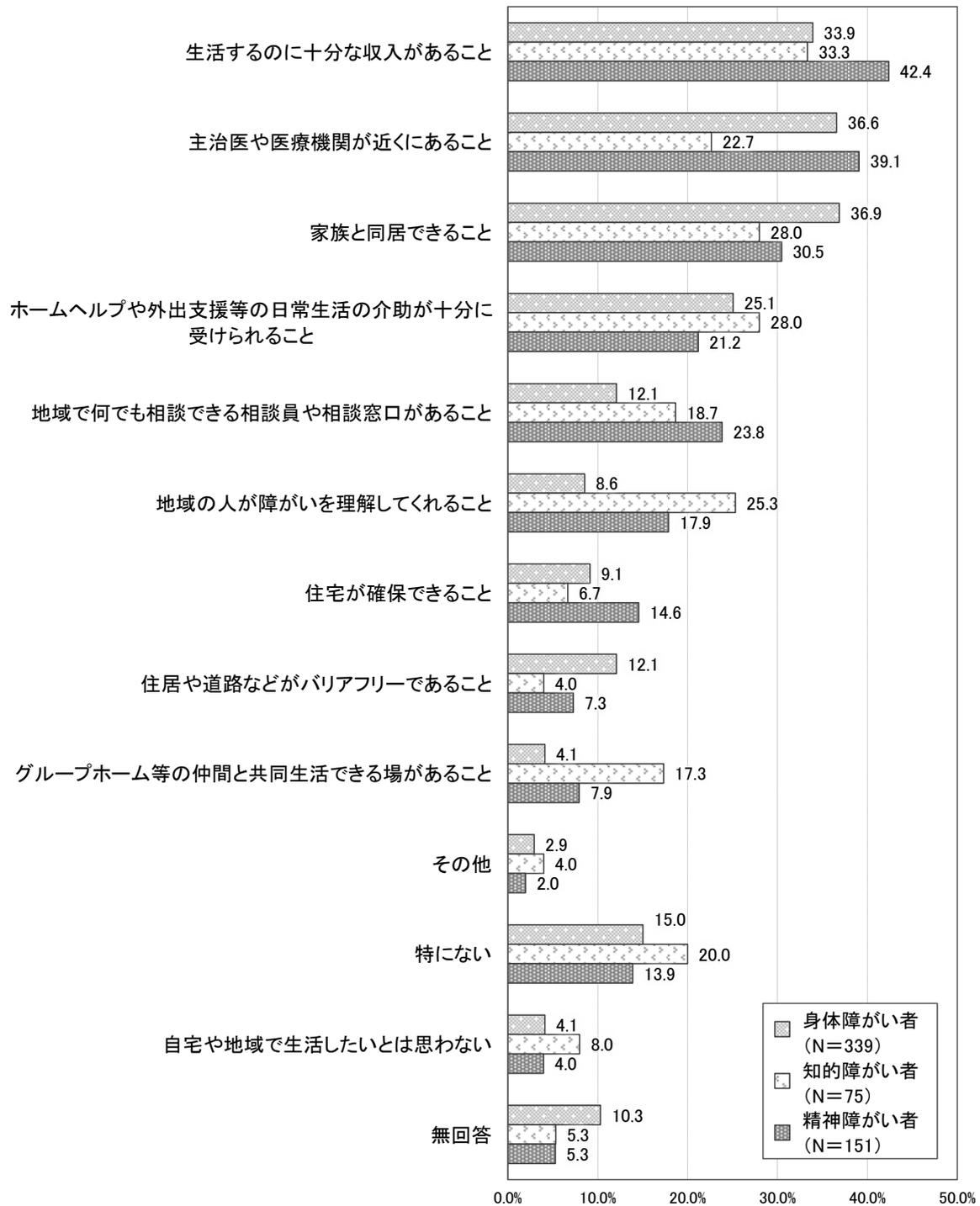
問 11 あなたは、どのような条件が整えば、自宅や地域で生活できる（しやすくなる）と思いますか。（複数回答）

- 「生活するのに十分な収入があること」を選択した人の割合が全体の38.2%と最も高く、以下、「主治医や医療機関が近くにあること」(34.3%)、「家族と同居できること」(33.7%)と続いている。
- 障害種別に見ると、身体障がい者については「家族と同居できること」(36.9%)、知的障がい者と精神障がい者ではともに「生活するのに十分な収入がある事」(知的:33.3%、精神:42.4%)がそれぞれ最も高い回答割合となっている。(次ページ参照)

自宅や地域で生活しやすくなるための条件（全体）



自宅や地域で生活しやすくなるための条件（障害種別クロス集計結果）

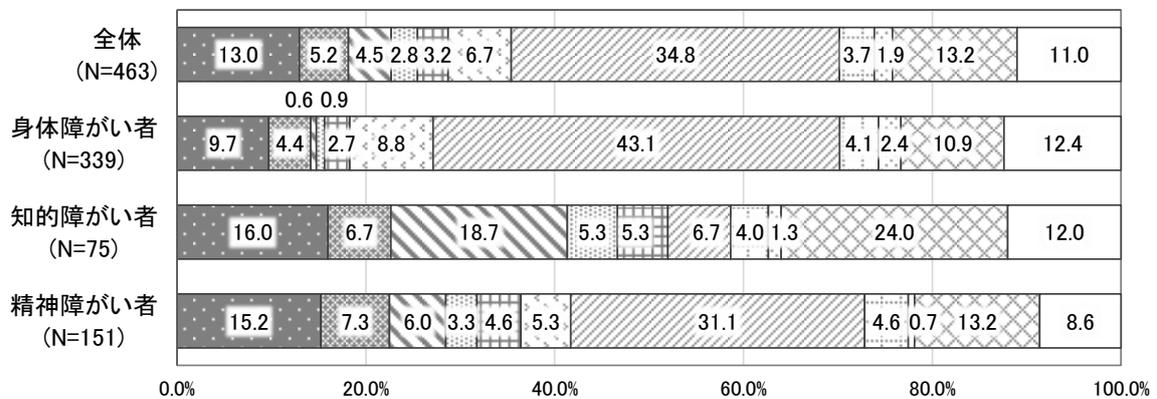


問 12 あなたは、今後、主に何をしておきたいとお思いますか。(単数回答)

●身体障がい者と精神障がい者では、「自宅で過ごしたい」(身体:43.1%、精神:31.1%)と回答した人の割合が最も高く、知的障がい者では、「わからない」(24.0%)という回答が最も多くなっている。

今後何をしてお暮らしたいか

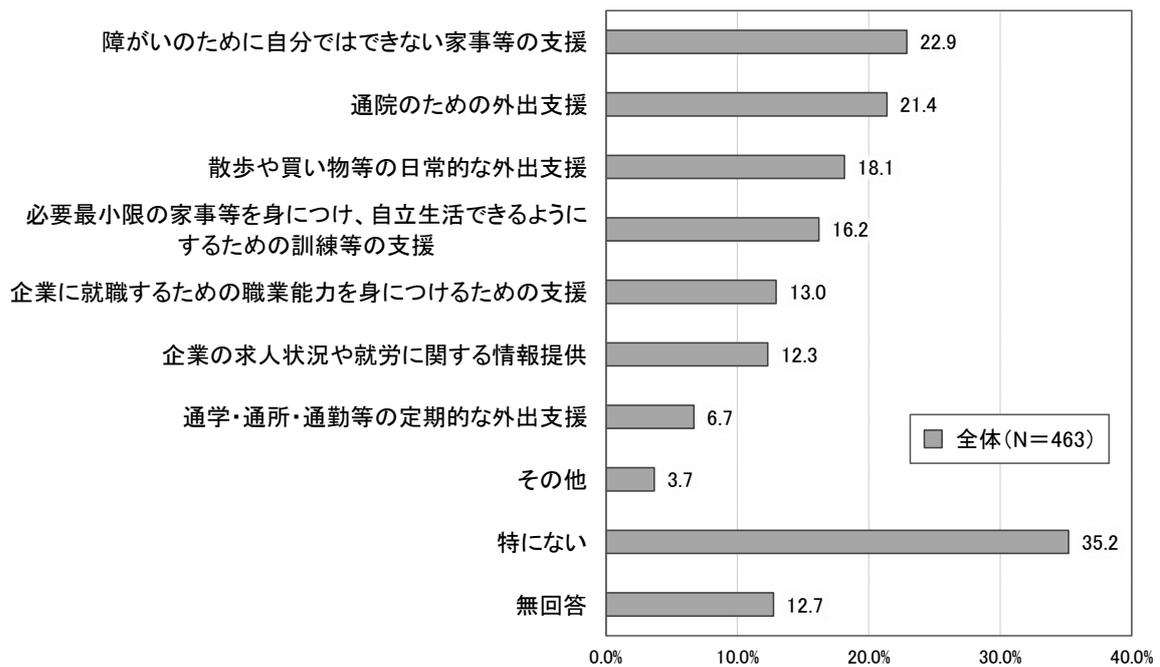
- 正規の社員・従業員として働きたい(自営業を含む)
- ▨ パートやアルバイトとして働きたい(家業手伝いを含む)
- ▩ 地域活動支援センターまたは就労支援の事業所に通いたい
- ▧ 学校や幼稚園・保育所等に通いたい
- ▦ 自立訓練・生活介護等の事業所に通いたい
- ▥ 仲間同士の集まり等に参加したい
- ▤ 自宅で過ごしたい
- ▣ 医療機関や福祉施設等に入院・入所したい
- ▢ その他
- わからない
- 無回答



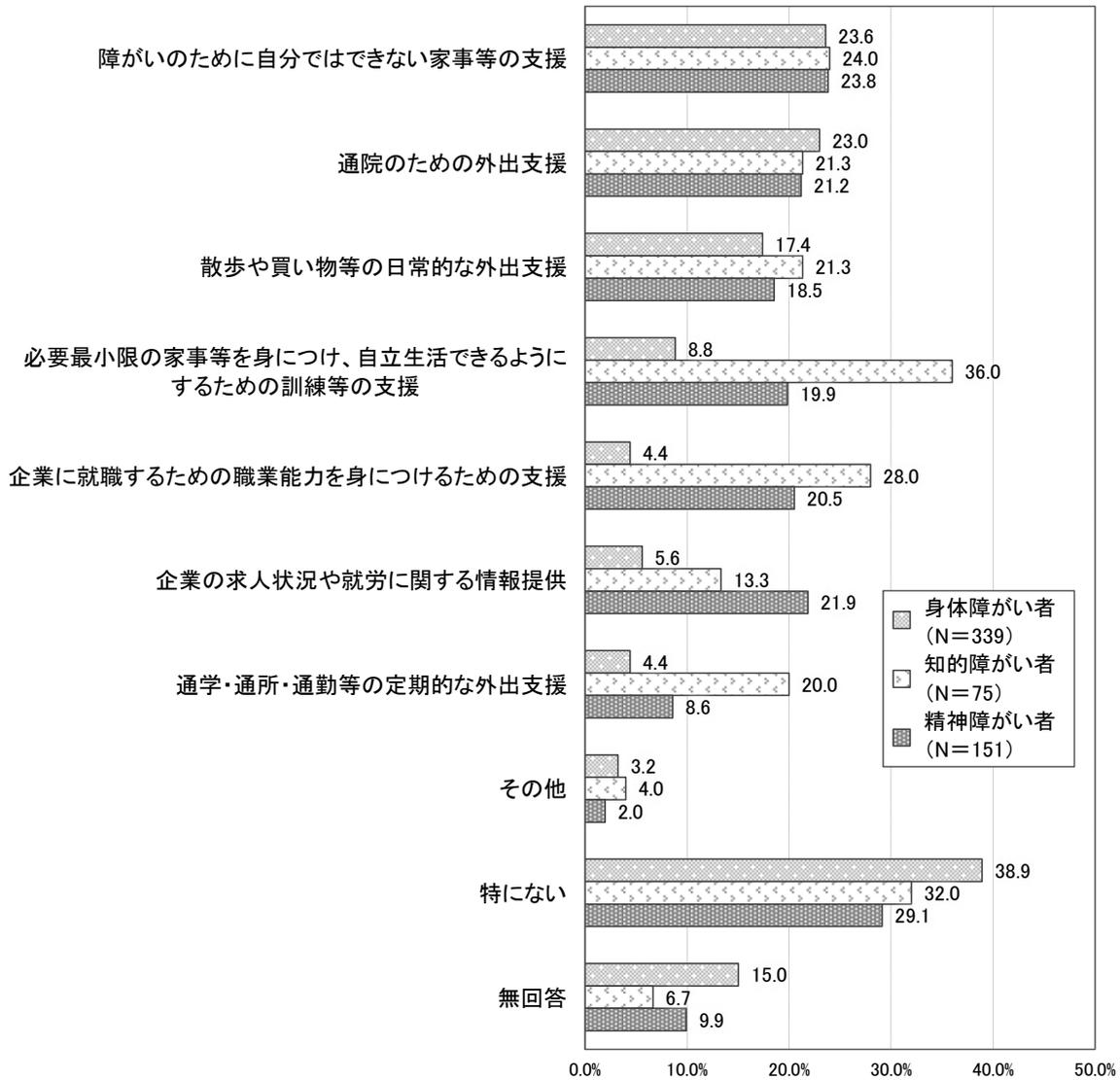
問 13 あなたの日常生活をより安心して快適なものとするためには、どのような支援やサービスが必要だと思いますか。(複数回答)

- 「特にない」という回答が、全体の 35.2%と最も高い回答割合となっているが、「障がいのために自分ではできない家事等の支援」(22.9%)や「通院のための外出支援」(21.4%)が上位にあがっている。
- 障害種別に見ると、身体障がい者と精神障がい者については「障がいのために自分ではできない家事等の支援」(身体: 23.6%、精神 23.8%)、知的精神障がい者については「必要最小限の家事等を身につけ、自立生活できるようにするための訓練等の支援」(36.0%)がそれぞれ高い回答割合になっている。(次ページ参照)

日常生活をより快適にするために必要なこと (全体)



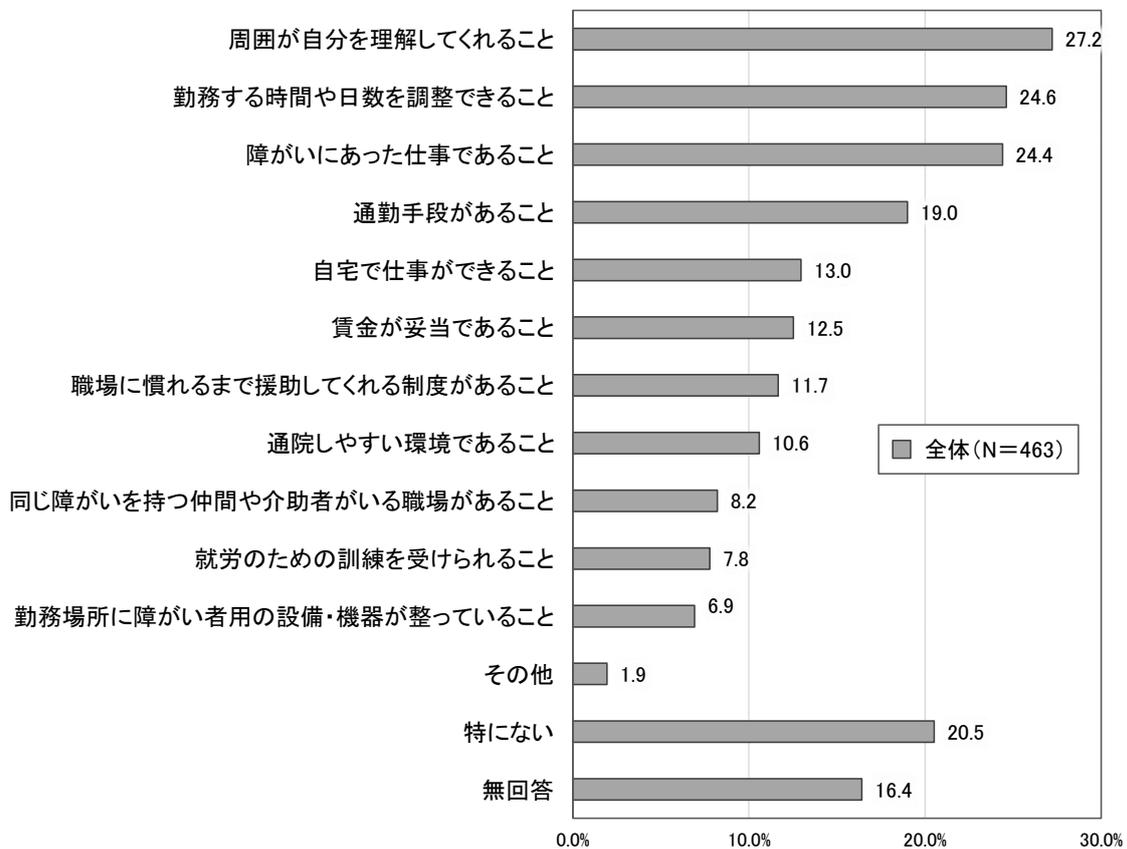
日常生活をより快適にするために必要なこと（障害種別クロス集計結果）



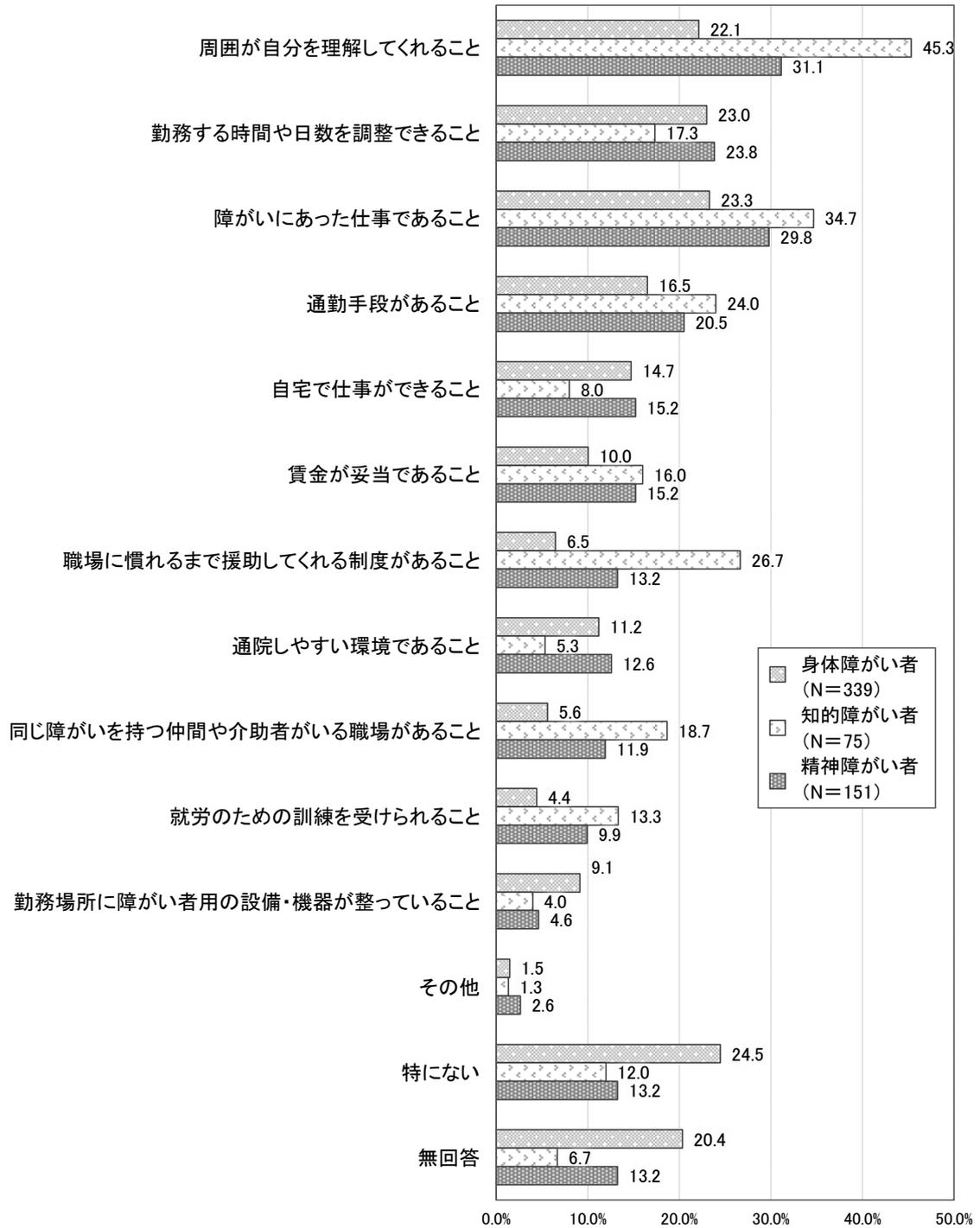
問 14 障がい者が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。（複数回答）

- 全体では、「周囲が自分を理解してくれること」と回答した人が27.2%と最も多く、「勤務する時間や日数を調整できること」（24.6%）がそれに続いている。
- 障害種別にみると、身体障がい者については「障がいにあった仕事であること」（23.3%）、知的障がい者と精神障がい者については「周囲が自分を理解してくれること」（知的：45.3%、精神：31.1%）がそれぞれ高い回答割合になっている。（次ページ参照）

障がい者が働くために必要なこと（全体）



障がい者が働くために必要なこと（障害種別クロス集計結果）

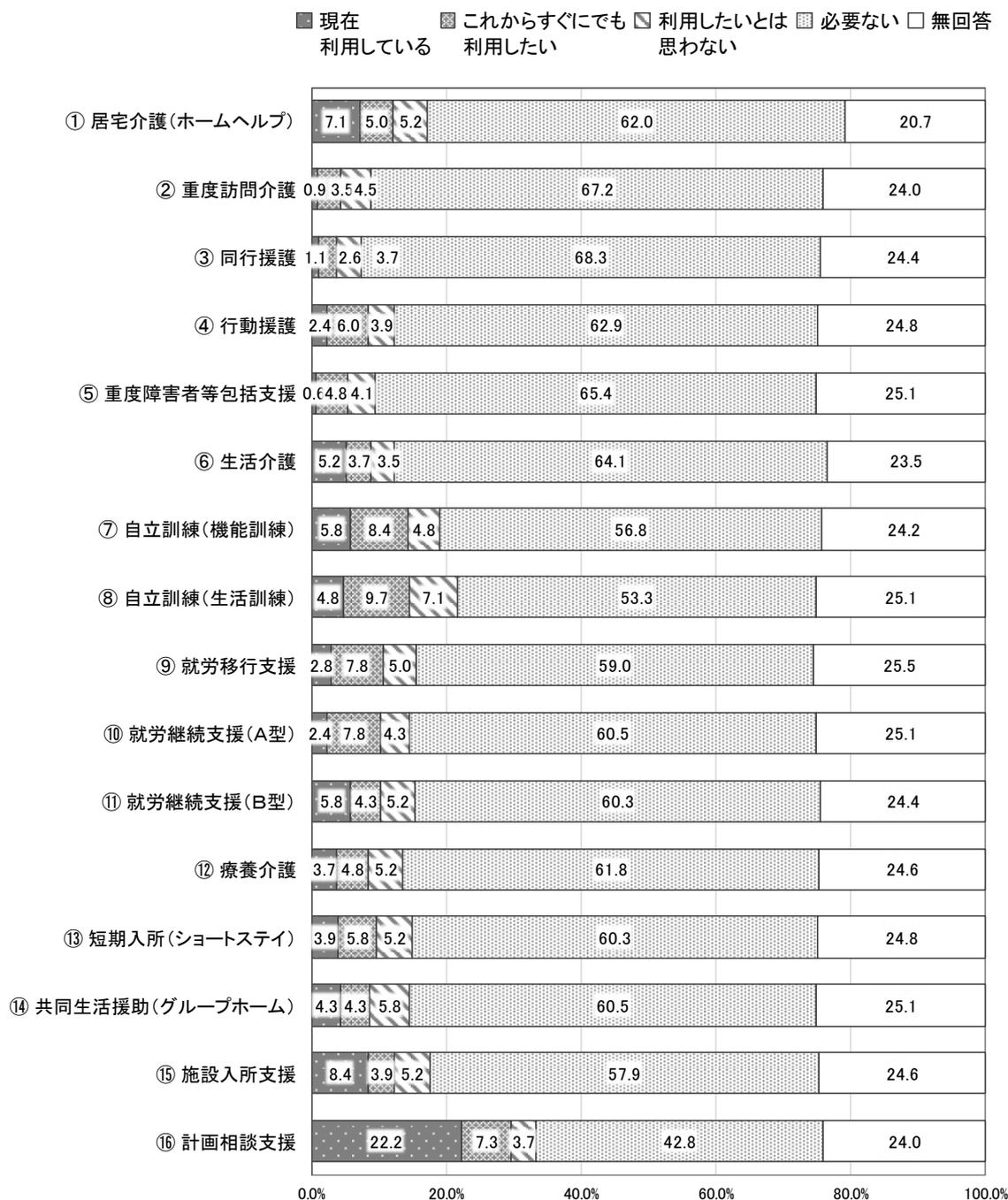


(5) 福祉サービスについて

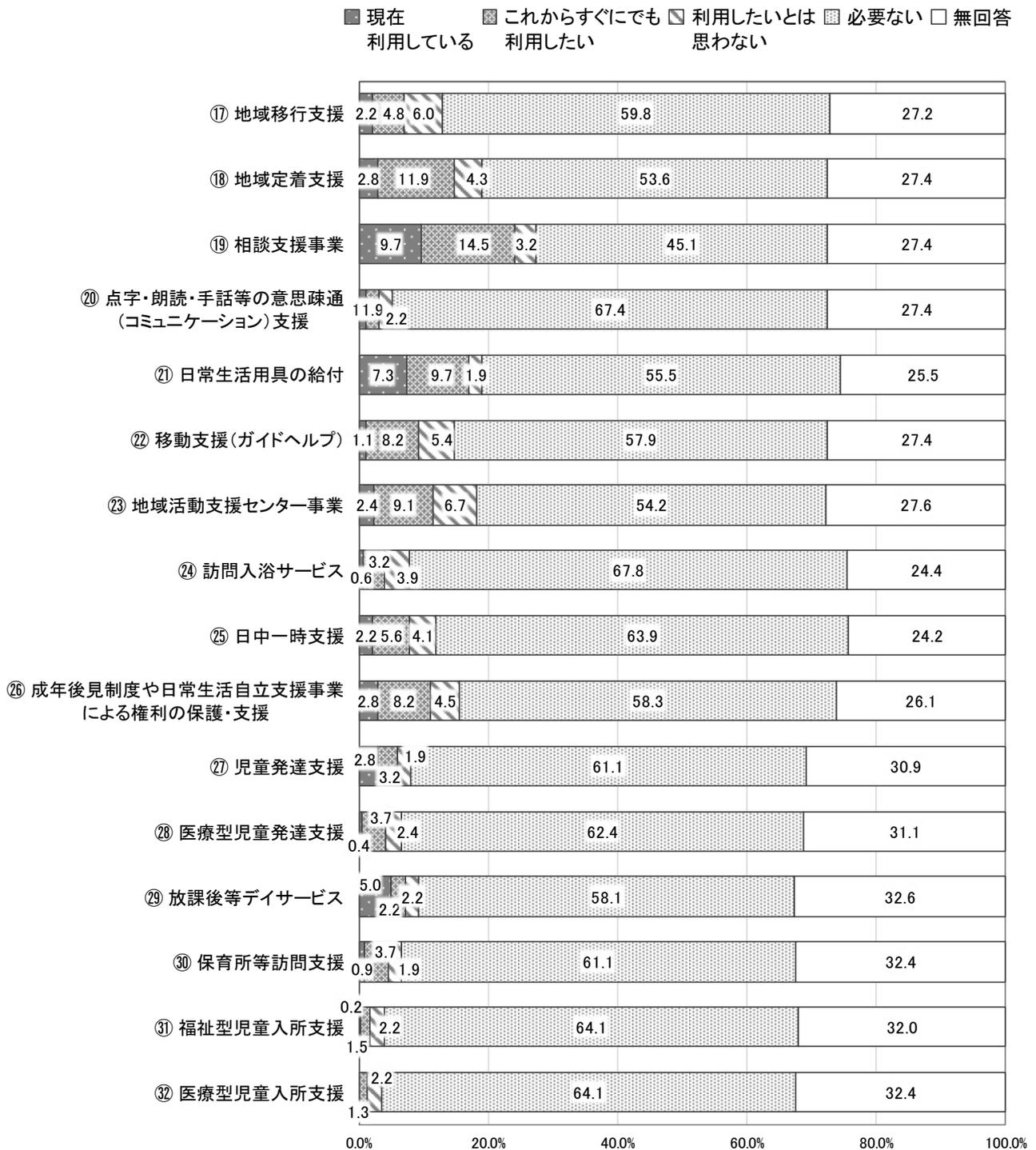
問 15 次のサービスについて、あてはまるものにそれぞれ1つだけ○をつけてください。(単数回答)

- 全体では、「現在利用している」という回答が最も多かったのは「計画相談支援」であり、障害種別にみても「計画相談支援」の利用が最も多い。(身体：10.9%、知的：53.3%、精神：29.1%)
- 「これからでもすぐに利用したい」という回答が最も多かったのは、身体障がい者と精神障がい者では「相談支援事業」(身体：11.5%、精神：19.9%)、知的障がい者では「自立支援(生活訓練)」(18.7%)であった。

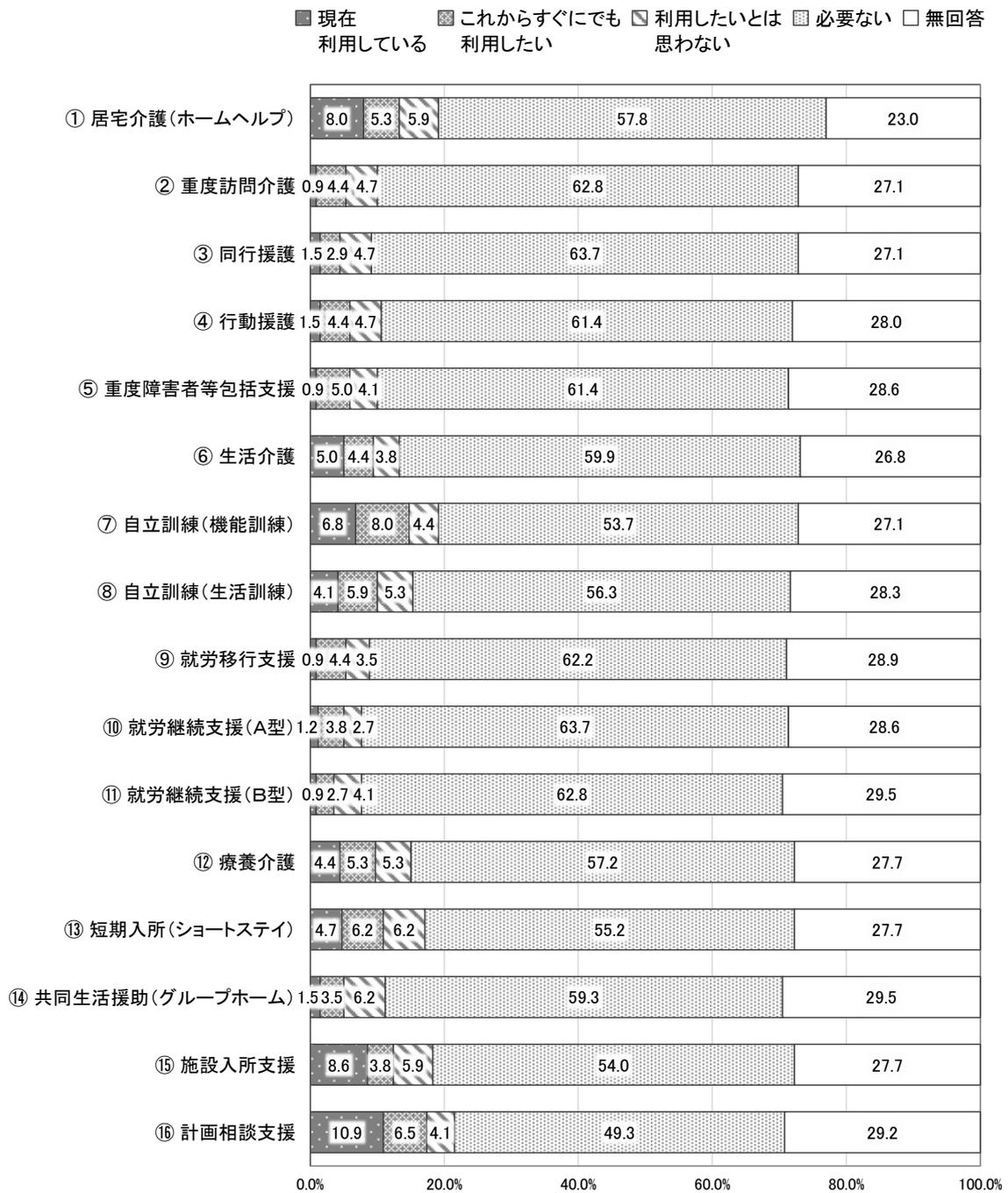
サービスの利用意向(全体①)



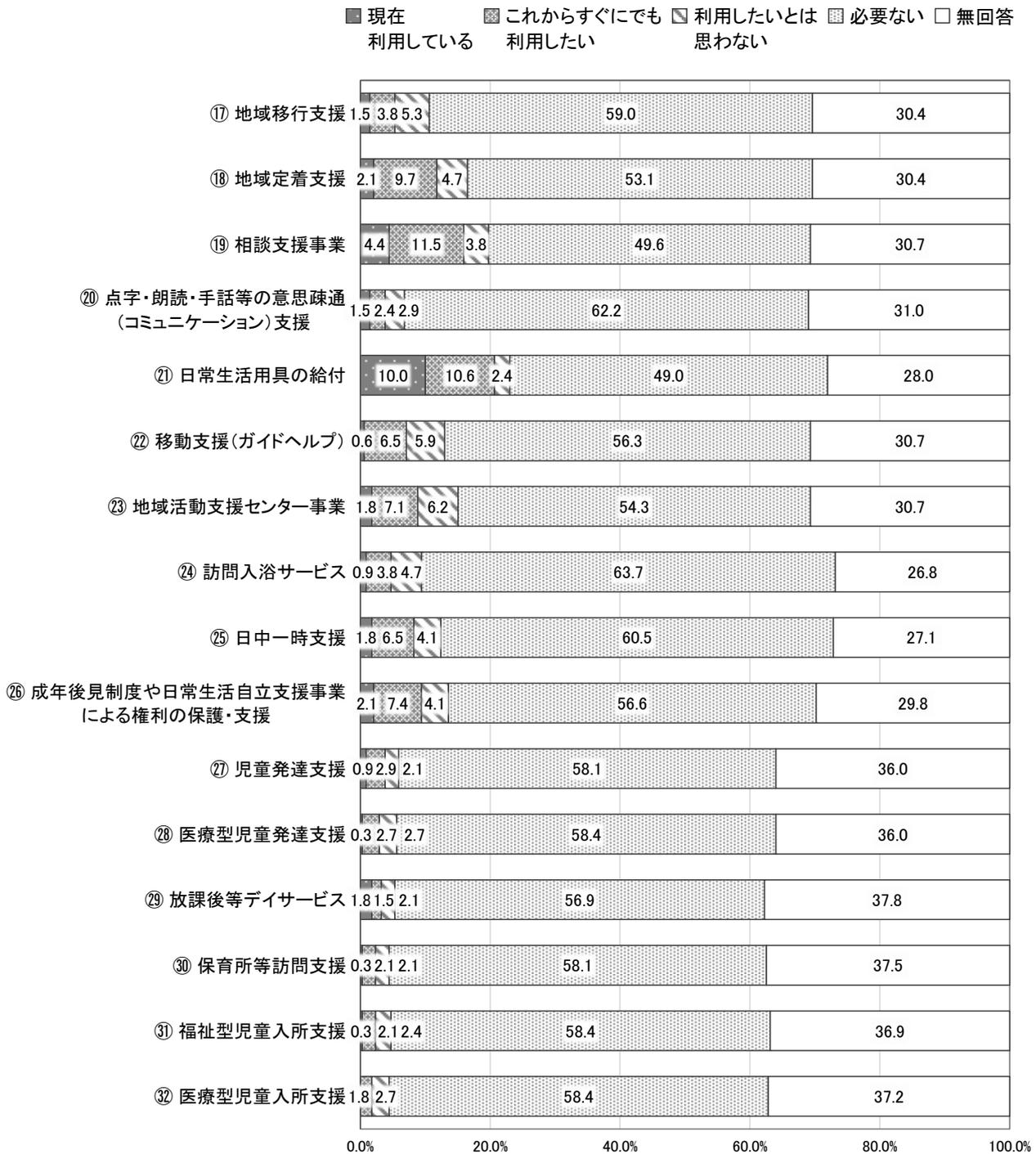
サービスの利用意向（全体②）



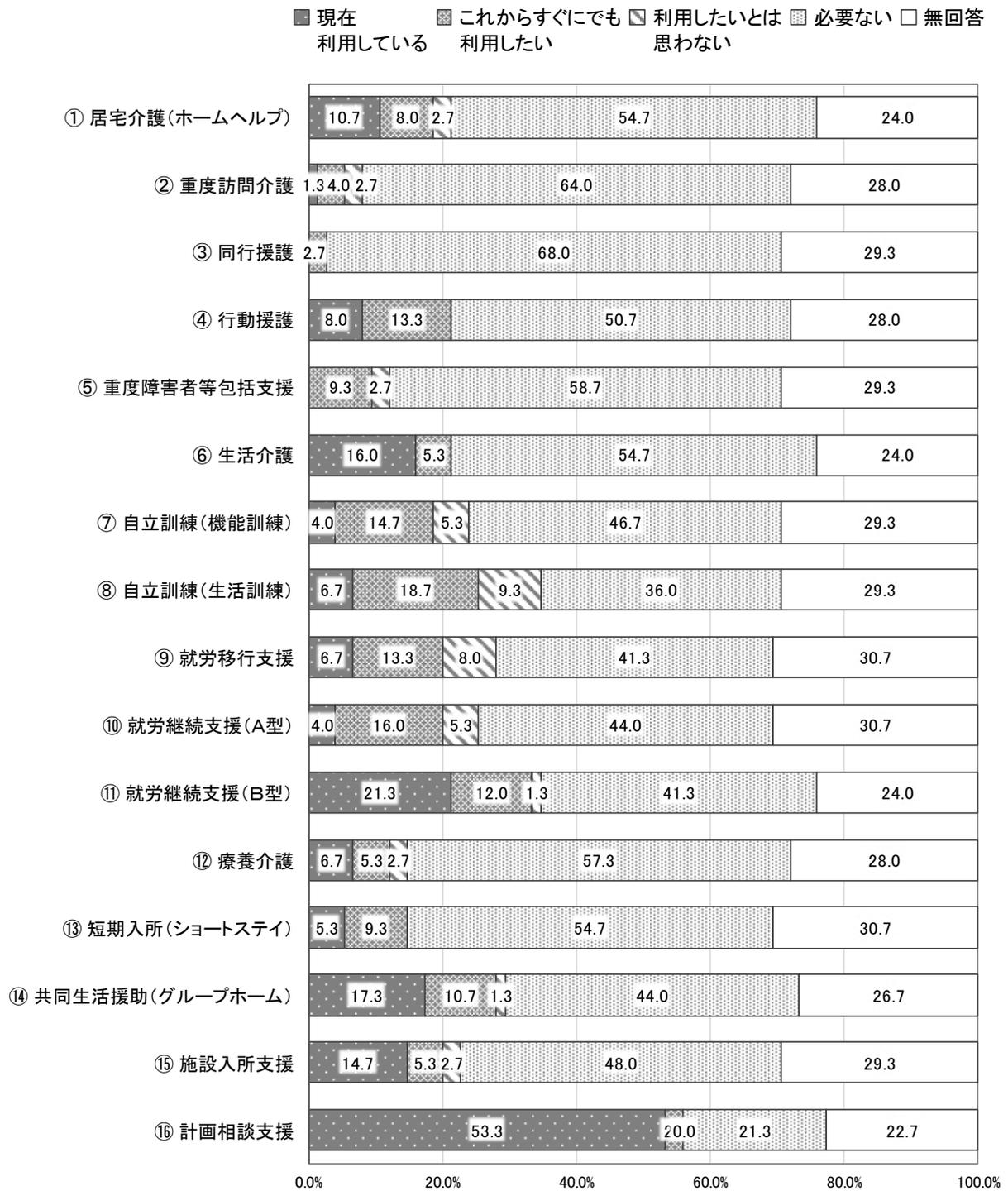
サービスの利用意向（身体障がい者①）



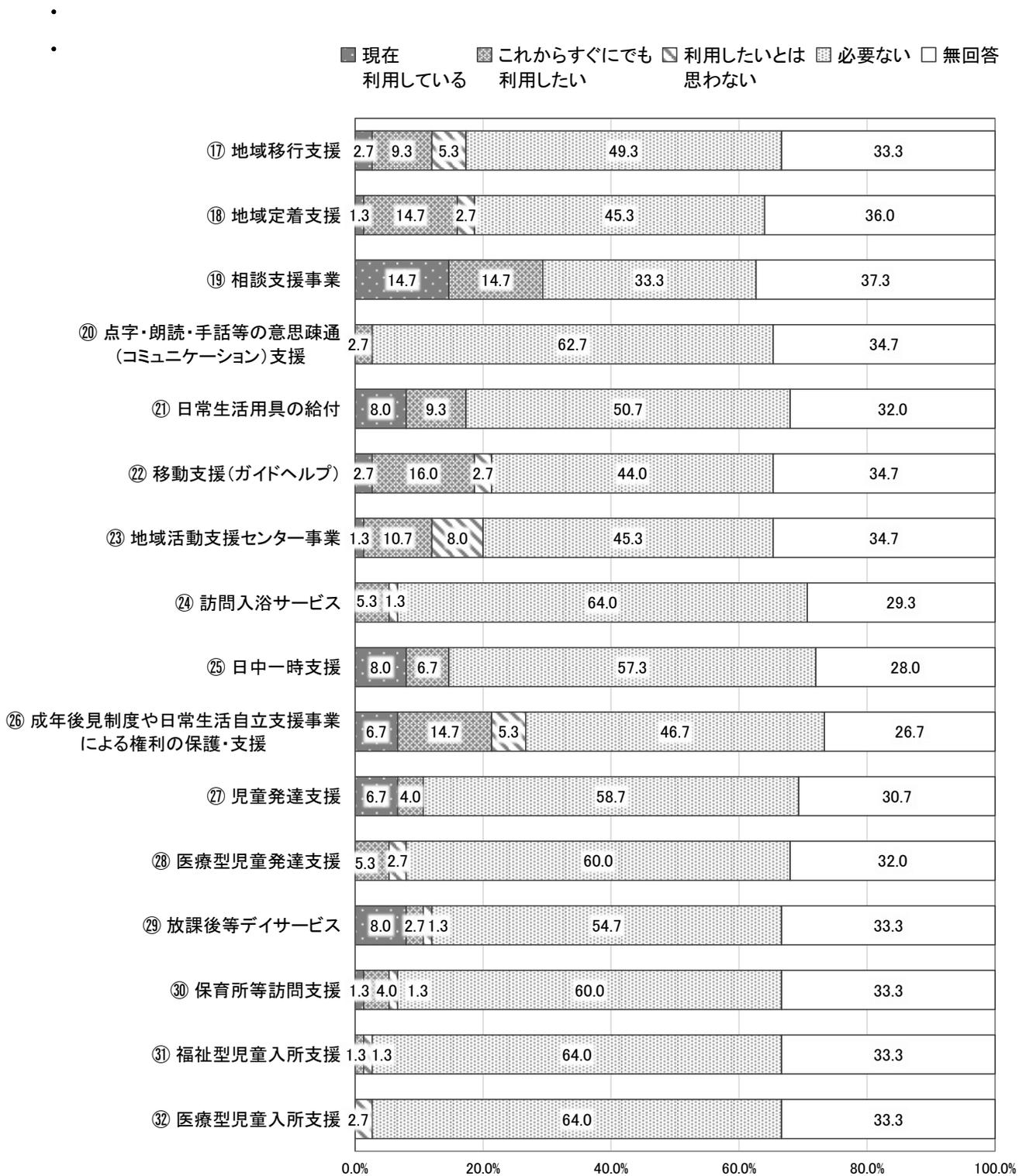
サービスの利用意向（身体障がい者②）



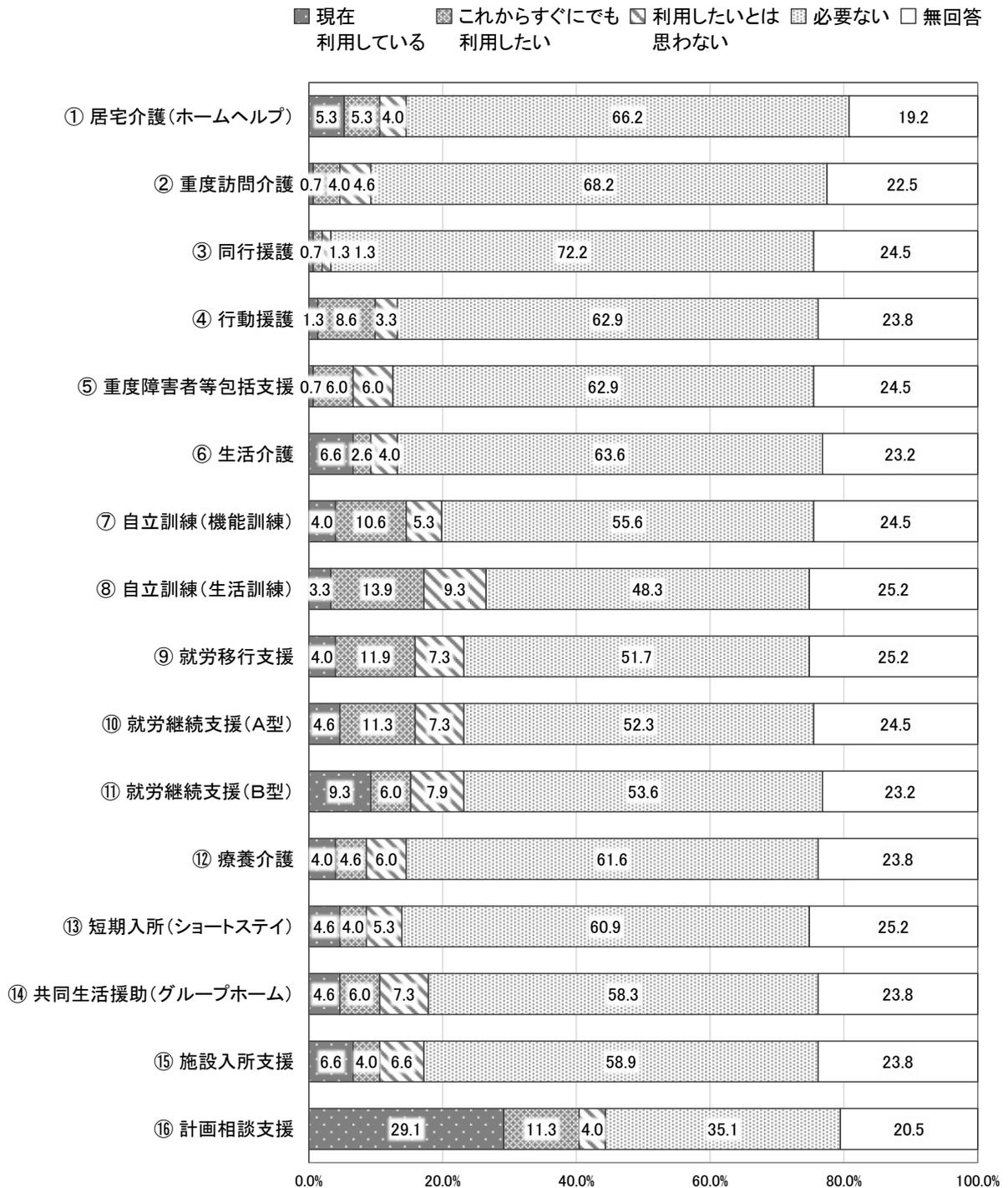
サービスの利用意向（知的障がい者①）



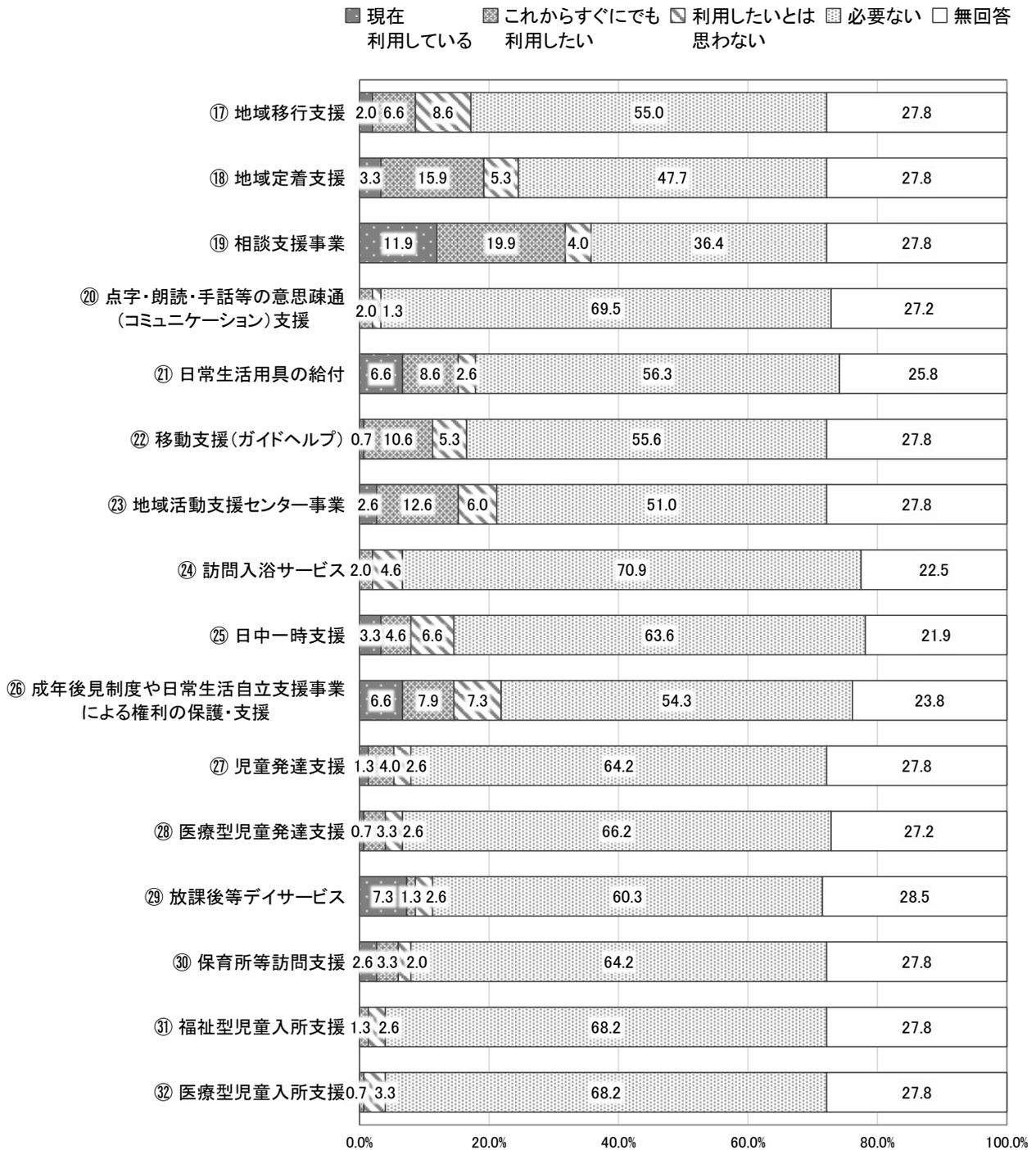
サービスの利用意向（知的障がい者②）



サービスの利用意向（精神障がい者①）



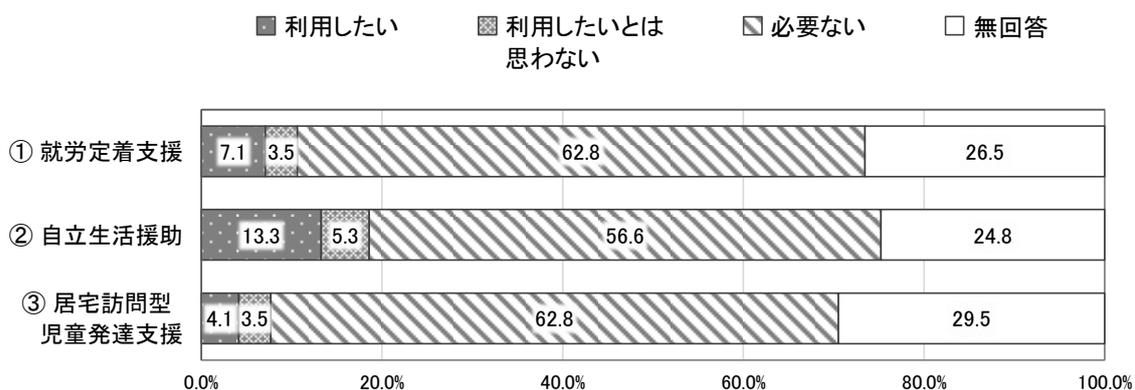
サービスの利用意向（精神障がい者②）



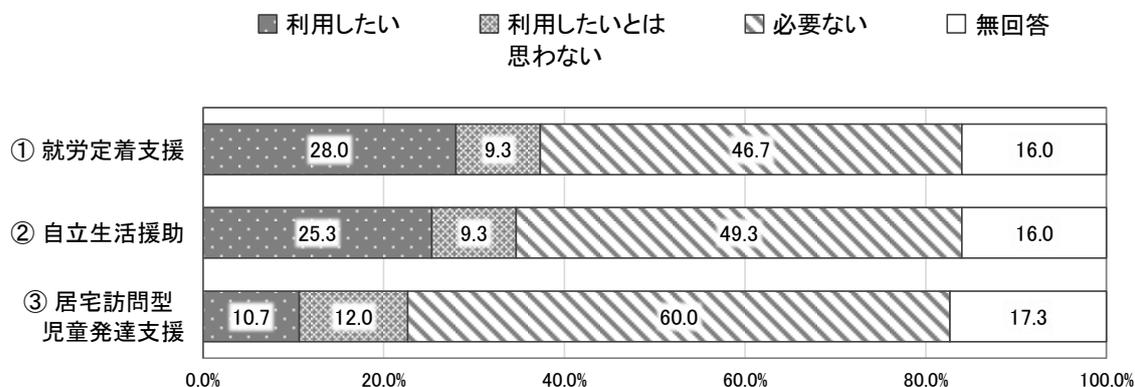
問 16 平成30年度より、新たに3つのサービスが始まります。あなたは利用したいと思いますか。(単数回答)

●平成30年度よりはじまる「就労定着支援」、「自立生活援助」、「居宅訪問型児童発達支援」の3つのサービスについて、利用したいと思うかたずねたところ、いずれの障害種別も「必要ない」という回答が多かった。知的障がい者と精神障がい者では、「就労定着支援」「自立生活援助」を「利用したい」と回答した割合が高くなっている。

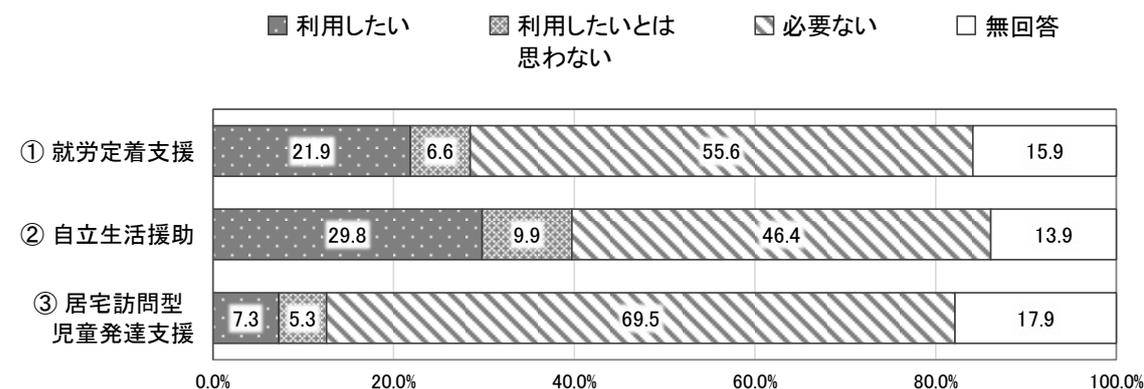
身体障がい者



知的障がい者



精神障がい者

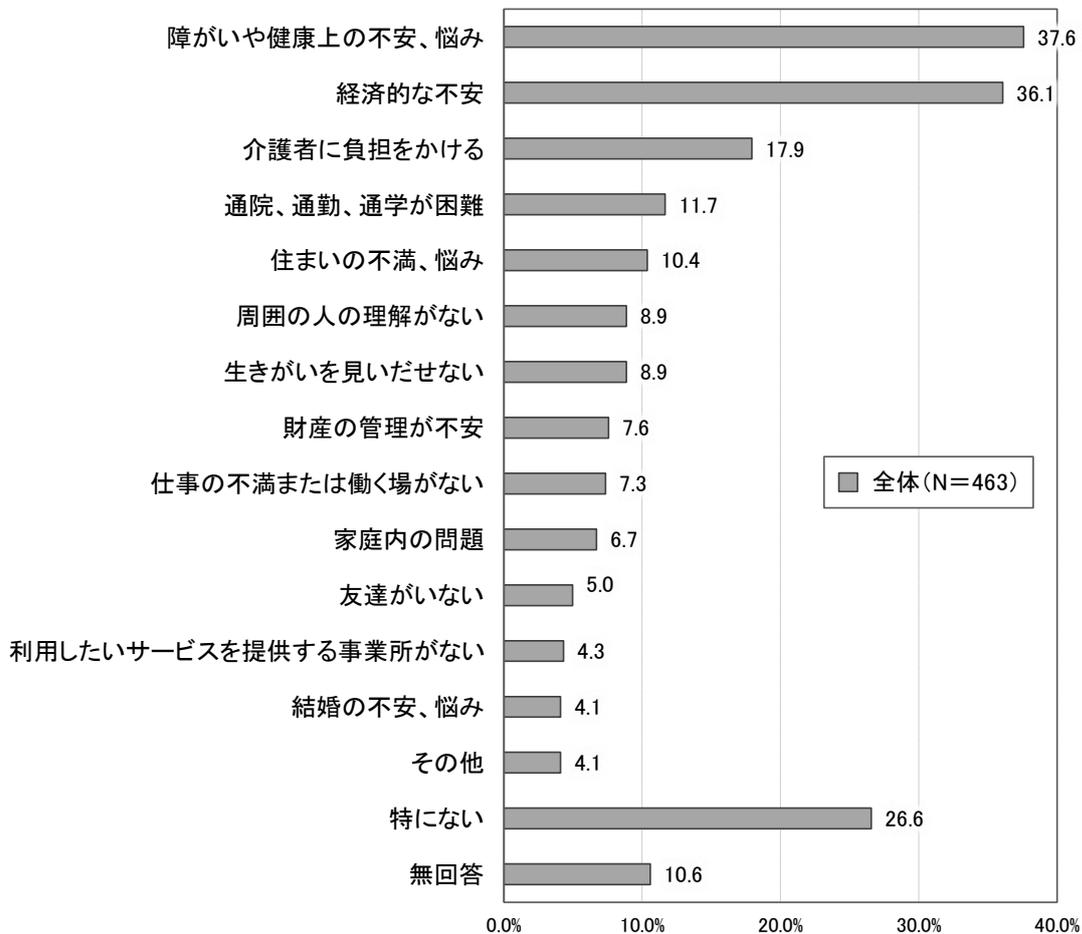


(6) 生活上の困りごとや相談相手について

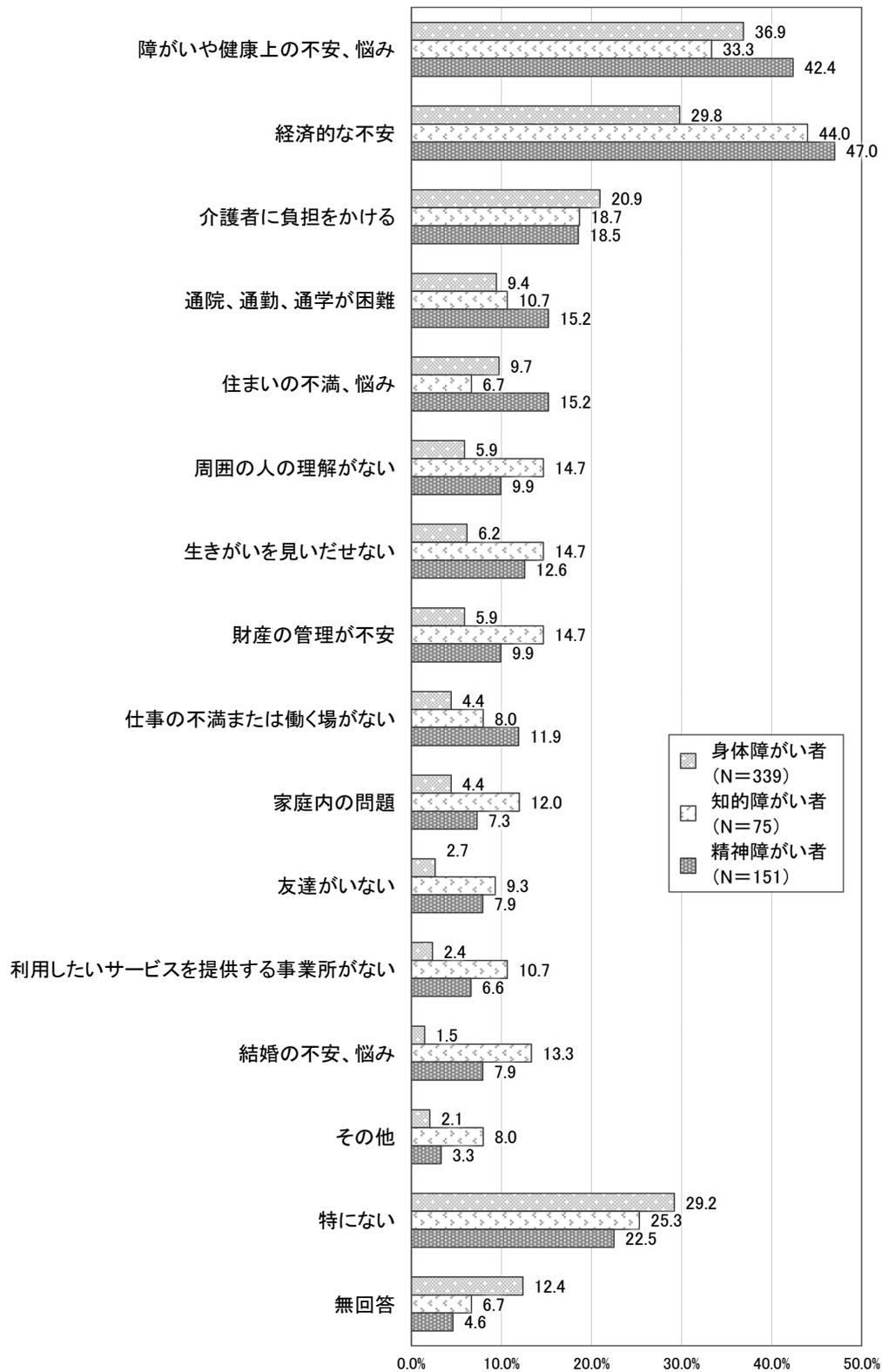
問 17 現在の生活の中で困っていることや、将来に対する不安・悩み等がありますか。(複数回答)

- 全体では「障がいや健康上の不安、悩み」を選択した人の割合が全体の37.6%と最も高く、以下、「経済的な不安」(36.1%)、「介護者に負担をかける」(17.9%)と続いている。
- 障害種別に見ると、身体障がい者については「障がいや健康上の不安悩み」(36.9%)、知的障がい者と精神障がい者ではともに「経済的な不安」(知的:44.0%、精神:47.0%)がそれぞれ最も高い回答割合となっている。(次ページ参照)

現在の生活の中で困っていることや、将来に対する不安・悩み (全体)



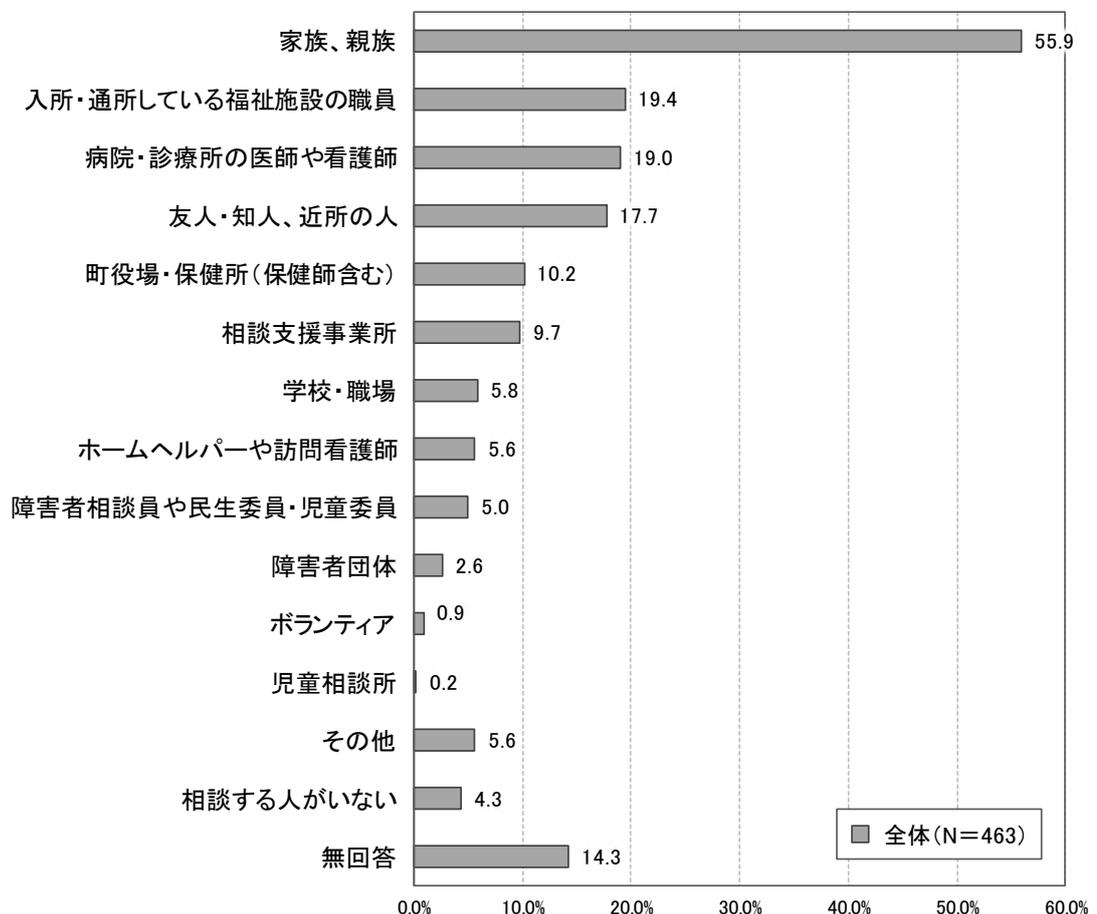
現在の生活の中で困っていることや、将来に対する不安・悩み（障害種別クロス集計結果）



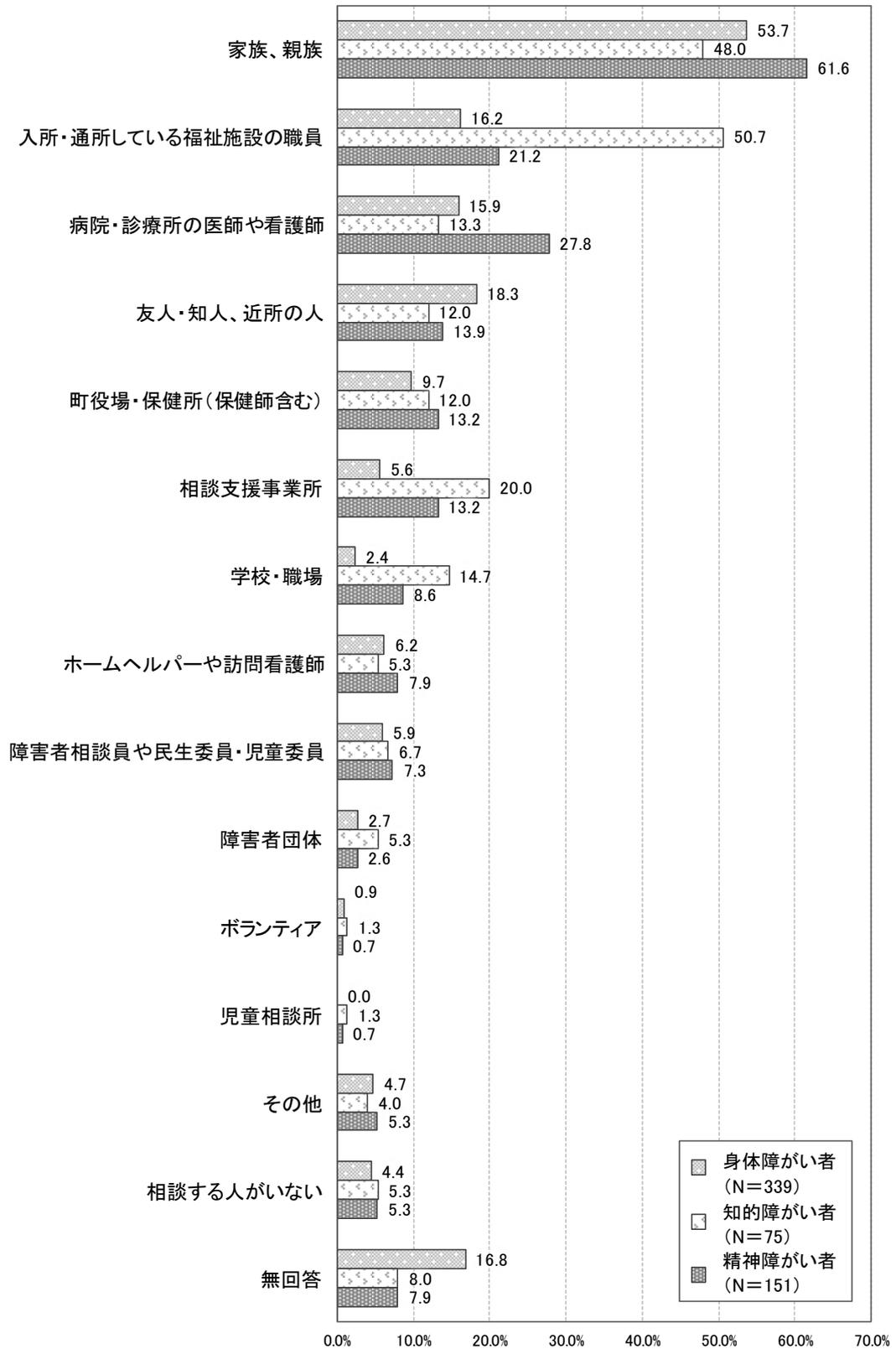
問 18 生活の中で困っていることや不安・悩みを誰（どこ）に相談していますか。（複数回答）

- 全体では「家族、親族」を選択した人の割合が全体の55.9%と最も高く、以下、「入所・通所している福祉施設の職員」（19.4%）、「病院・診療所の医師や看護師」（19.0%）と続いている。
- 障害種別に見ると、身体障がい者と精神障がい者については「家族・親族」（身体：53.7%、精神：61.6%）、知的障がい者では「入所・通所している福祉施設の職員」（50.7%）がそれぞれもっとも高い回答割合となっている。（次ページ参照）

生活の不安・悩みの相談先（全体）



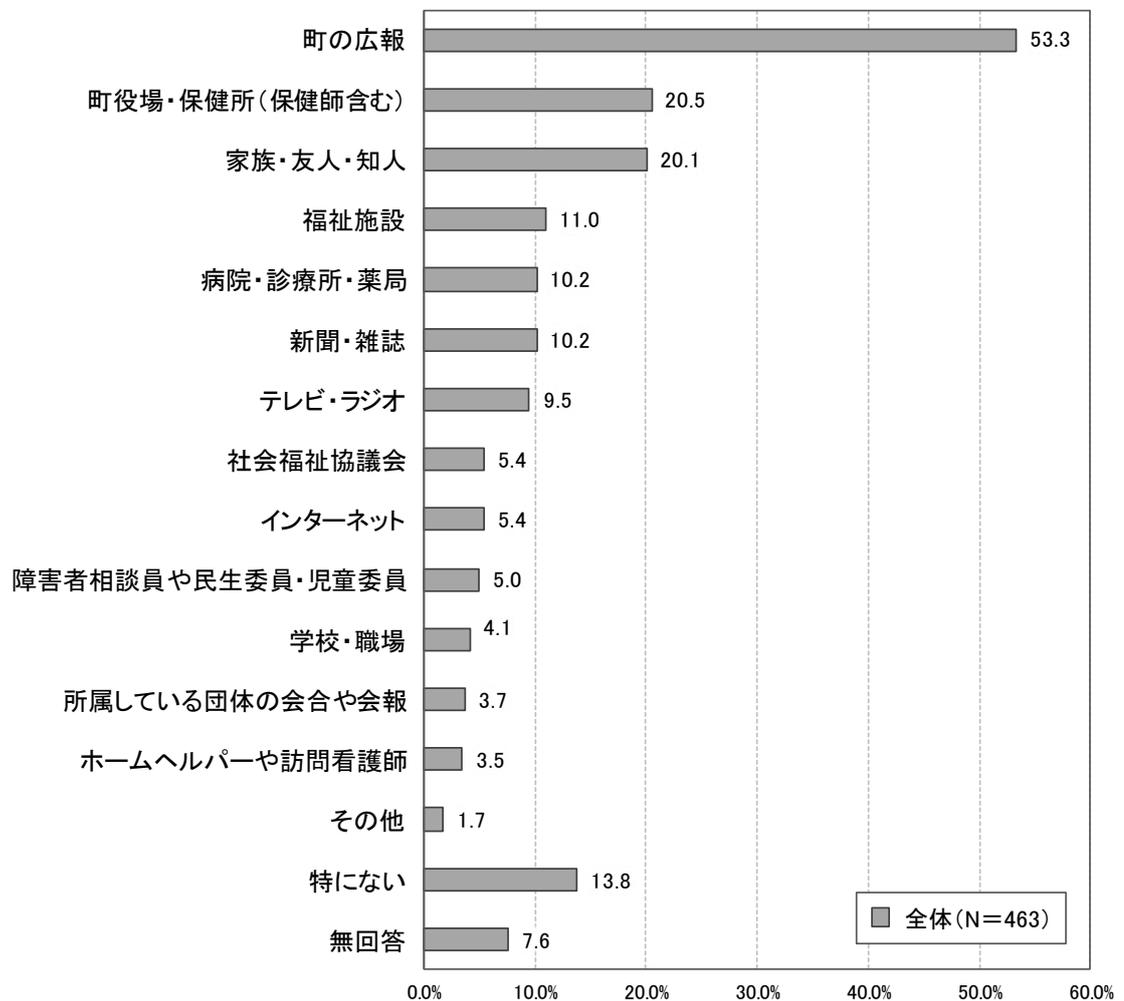
生活の悩み・不安の相談先（障害種別クロス集計結果）



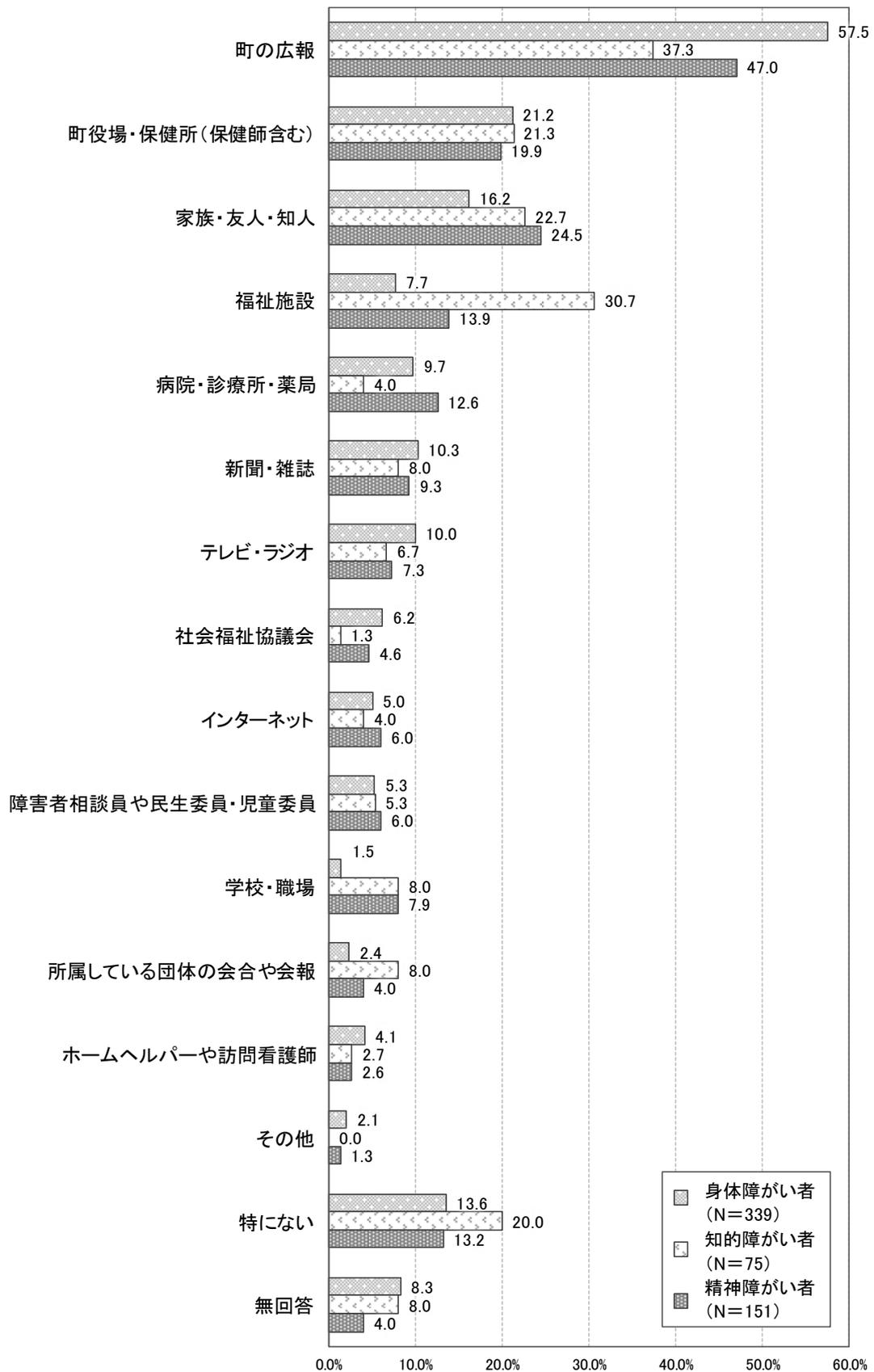
問 19 町が実施しているいろいろな福祉施策についての情報は何で知りますか。(複数回答)

●いずれの障害種別も「町の広報」という回答が最も多く、全体の 53.3%となっている。次いで、身体障がい者では「町役場・保健所（保健師含む）」(21.2%)、知的障がい者では「福祉施設」(30.7%)、精神障がい者では、「家族・友人・知人」(24.5%) という回答が多くなっている。(次ページ参照)

情報の入手先（全体）



情報の入手先（障害種別クロス集計結果）

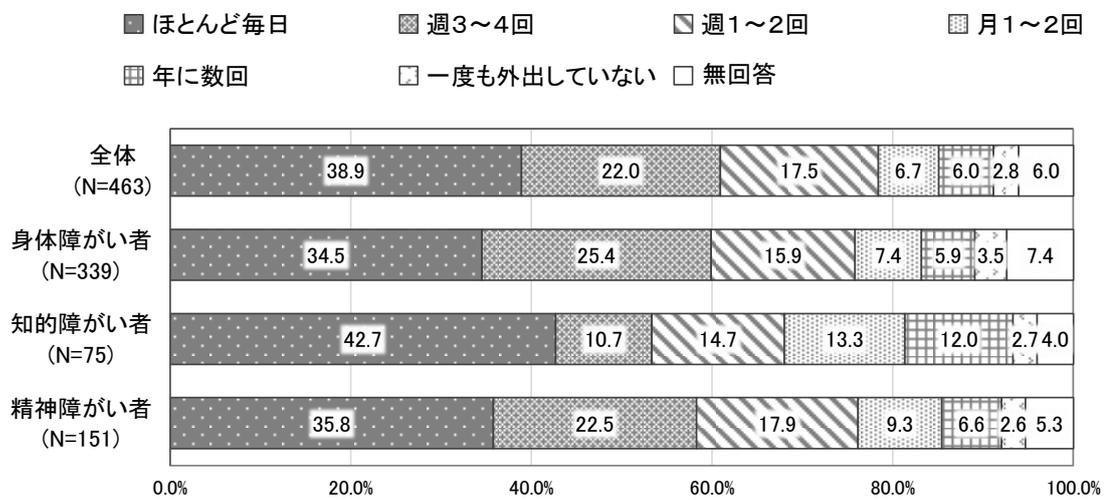


(7) 外出について

問20 あなたは、過去1年間にどのくらい外出をしましたか。(単数回答)

- いずれの障害種別についても「ほとんど毎日」と回答した割合が最も高くなっている。
- 「年に数回」「一度も外出していない」を合わせると、身体障がい者では9.4%、知的障がい者では14.7%、精神障がい者では9.2%と1割程度の人が1年間にほとんど外出をしていない状況である。

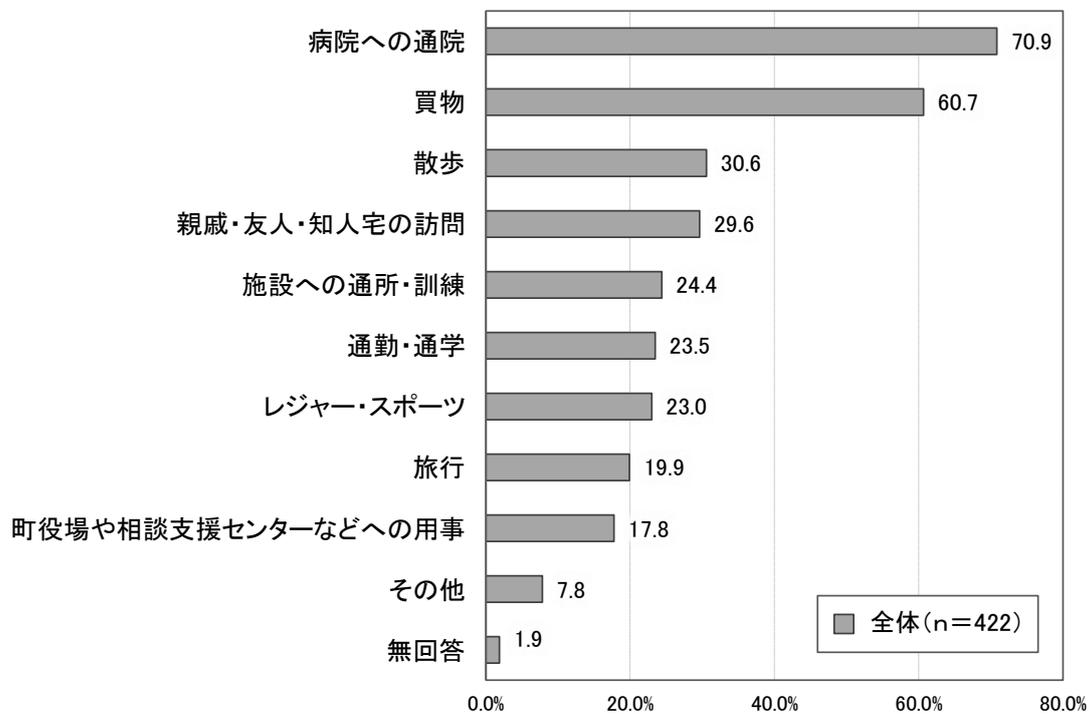
外出の頻度



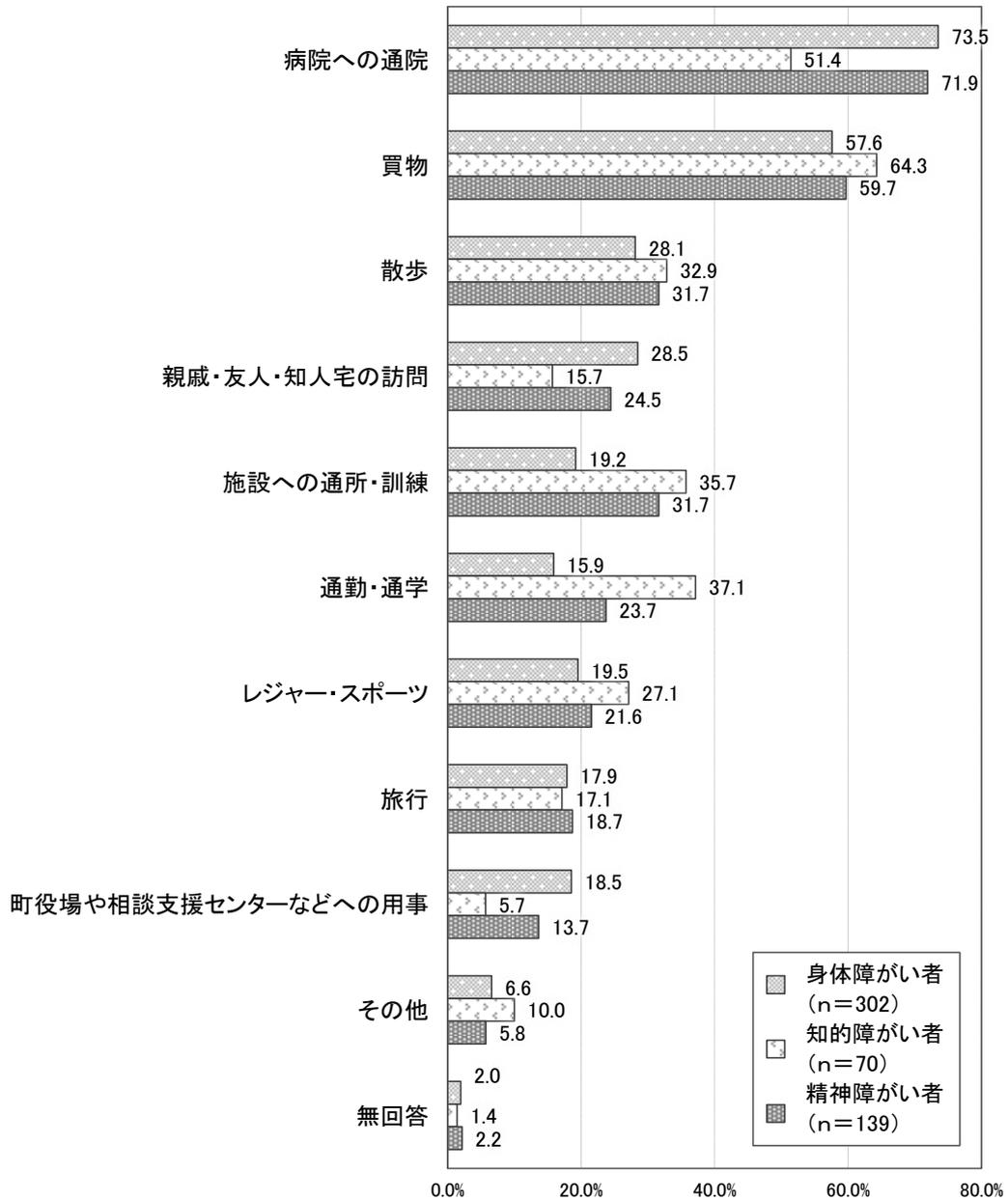
問 20-1 外出の目的は何ですか。(複数回答)

- 「病院への通院」と回答した人の割合が全体の70.9%と最も高く、以下「買物」が60.7%、「散歩」が30.6%と続いている。
- 障害種別に見ると、身体障がい者と精神障がい者では、「病院への通院」(身体:73.5%、精神:71.9%)が最も高く、知的障がい者では「買物」(64.3%)が最も高くなっている。以下、身体障がい者と精神障がい者では「買物」(身体:57.6%、精神:59.7%)、知的障がい者では「病院への通院」(51.4%)となっており、上位2項目は全ての障害種別で、同じ項目となっている。(次ページ参照)

外出の目的 (全体)



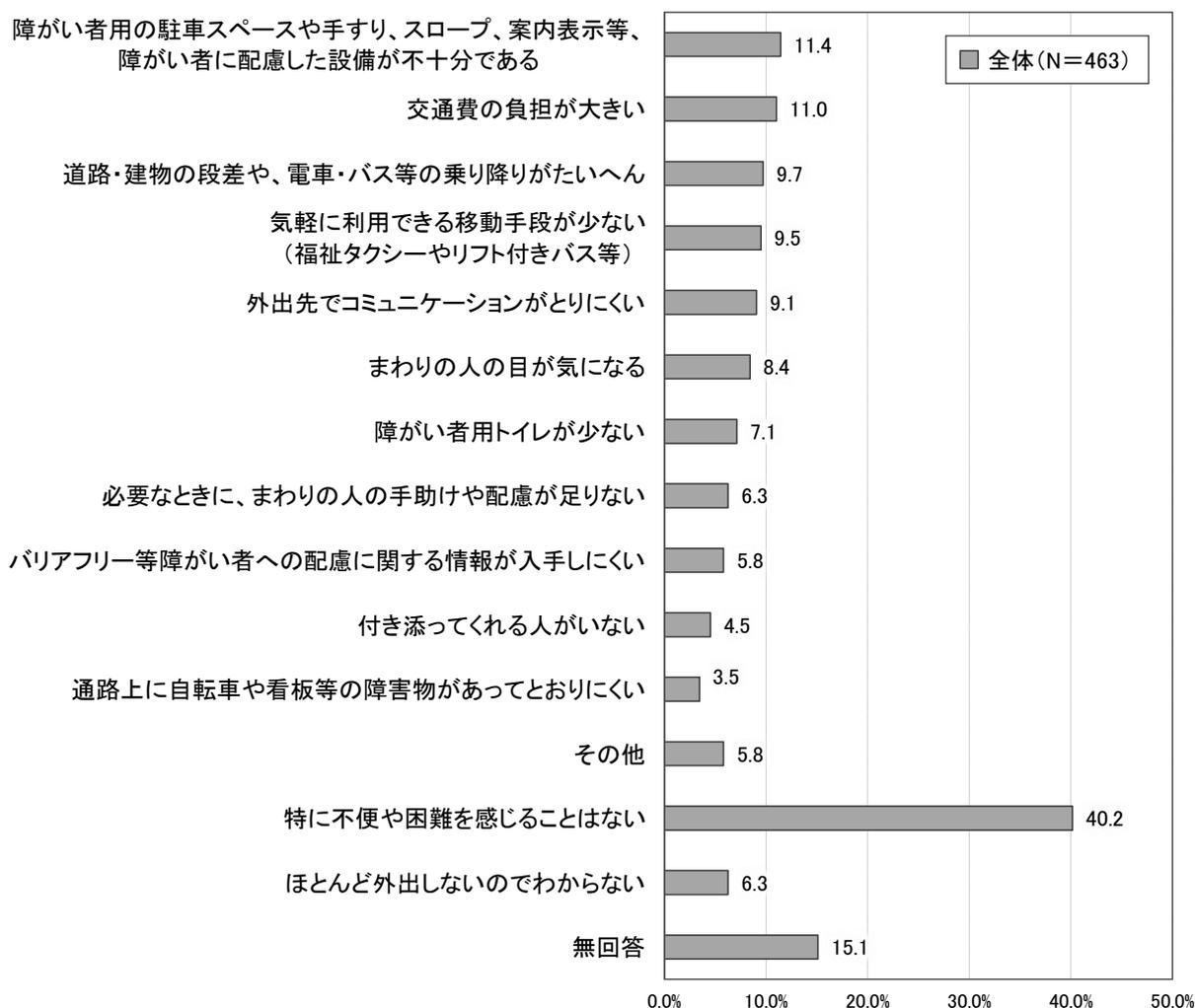
外出の目的（障害種別クロス集計結果）



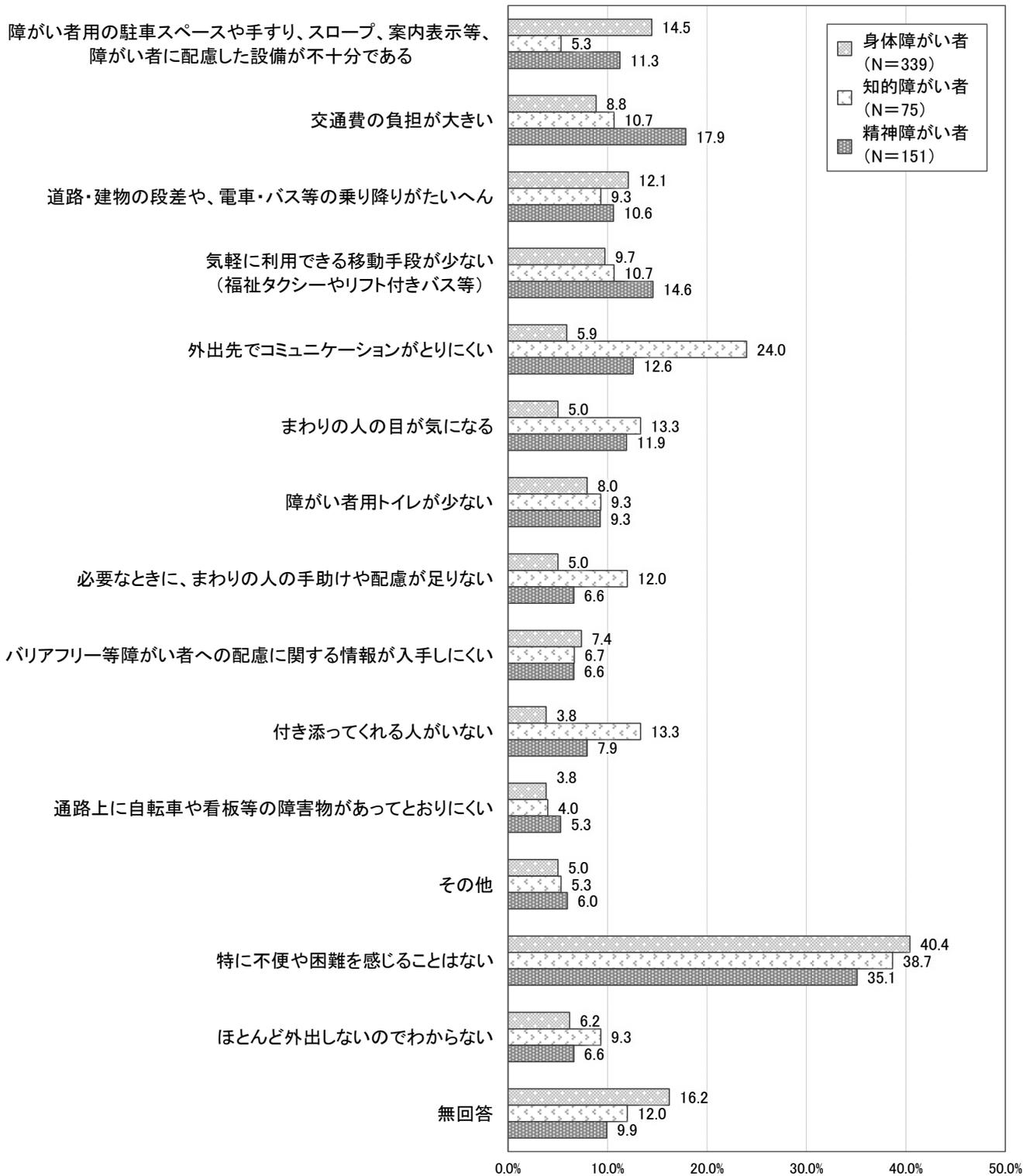
問21 外出に関して、どのようなことに不便や困難を感じますか。(複数回答)

- 外出に関しては、全体の40.2%の人が「特に不便や困難を感じることはない」と回答している。
- 障害種別に見ると、身体障がい者は「障がい者用の駐車スペースや手すり、スロープ、案内表示等、障がい者に配慮した設備が不十分である」(14.5%)、知的障がい者では「外出先でコミュニケーションがとりにくい」(24.0%)、精神障がい者では「交通費の負担が大きい」(17.9%)という回答が多くなっている。(次ページ参照)

外出の不便や困難（全体）



外出の不便や困難（障害種別クロス集計結果）

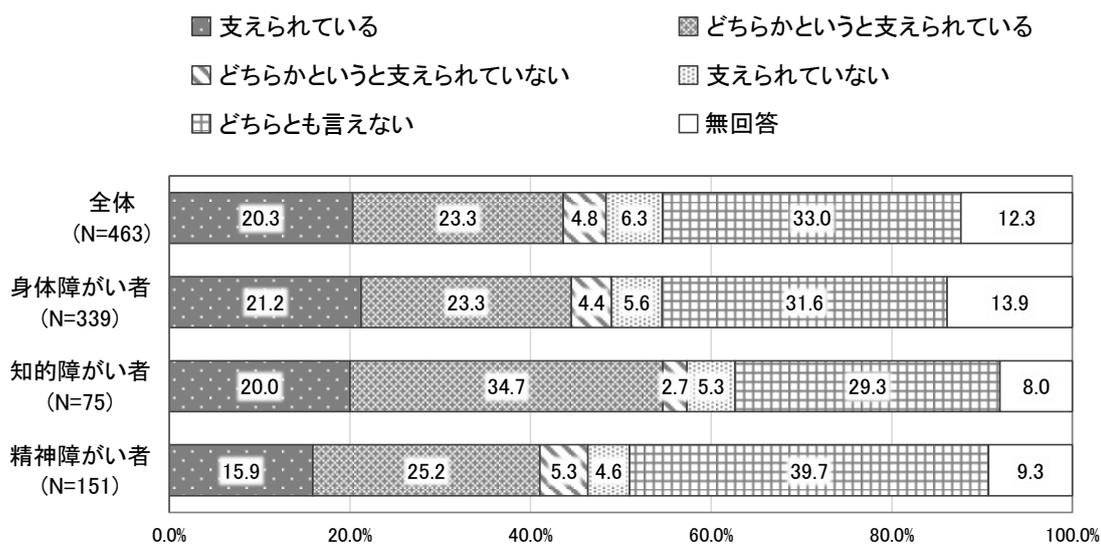


(8) 地域での生活について

問 22 あなたは、お住まいの地域の人に支えられていると感じていますか。
(単数回答)

- 全体の 33.0%の人が「どちらとも言えない」と回答しているが、「支えられている」または「どちらかというと支えられている」と回答した人は、43.6%で、「どちらかというと支えられていない」または「支えられていない」と回答した人の割合 (11.1%) を 32.5ポイント上回っている。
- 「支えられている」または「どちらかというと支えられている」と回答した人の割合が最も多かったのは知的障がい者 (54.7%) であった。
- 「支えられていない」または「どちらかというと支えられていない」と回答した人の割合が最も多かったのは身体障がい者 (10.0%) であった。

地域の人に支えられていると感じるか



問22-1 あなたがそのように感じた具体例があれば、ご記入ください。

- 地域の人に「支えられている」または「どちらかという支えられている」と回答した人が、そのように感じた理由としては、「近所の人からの見守りや声掛けがあるから」という回答が多い。
- 逆に「どちらかという支えられていない」または「支えられていない」と回答した人がそのように感じた理由として多かったのは、「近所の付き合いがない」や「周囲の人からの理解がない」であった。

問22 地域の人に支えられていると感じているか	問22-1 そのように感じた具体例	性別	年齢
支えられている	見守り係の人や民生委員さんが交差点に立って見守りしてくれているので安心できます。	男性	12
	行政の区の活動で行事参加の時区長などが身障者の配慮をしてくれる。	男性	80
	よく見守り隊より寄り添う感でボランティアで助けていただいています。時にパーソナル情報すら自由に管理してあるように思えて私としては安心できている感も程々で居心地がよく有難いと思います。	女性	46
	まわりの人が温かい目で接して下さる。	男性	69
	元気ですと声をかけてもらった時。	女性	73
	週4日の生活介護、短期入所など福祉施設職員さんの対応。困った時の町の役場の職員さんの対応など。	女性	37
	現在の移動範囲では、ある程度理解をしてくれる。また、支援も自分に見合うものです。（事業所の送迎など）	男性	24
	自分が悩み事や色々な事を話したいときに聞いてくれる人がいる事。	女性	74
	当然のことで誰でも一人で生活できないから。	男性	87
	雪が降った時は近所の人から除雪していただいた。地域の見回りには不参加でいいとのこと。	女性	72
	安心相談員さんの面会、妻、嫁の面会もあり支えてもらっています。	男性	87
	病院ばかりしているので心配してくれる有難さを感じました。（皆さんがよく声をかけて下さる）	女性	25
	地域の方がボランティアで施設訪問されクラブ活動等一緒に行っているから。	女性	63
	駅の障がい者用駐車スペース・盲人用マーカ（道路）	男性	36
	近所の方々が訪問したり気にかけて頂くこと。	女性	87
	声をかけていただく。	女性	89
	自治会などで便宜を図ってもらっていると感じている。	男性	68
	障がい者会員で、グラウンドゴルフしながら色々日常の出来事を話したり助け合ったりしている。また、地区の中高年の人達と週に2回グラウンドゴルフしたりして支えられています。	男性	79
	いつも本人の事を気遣ってもらっている。	男性	38
	町内の行事について分からないことを聞く。	男性	63
	友達が電話をくれたり時々訪問してくれる。	男性	84
	子供や近所の方が顔を見に来てくれる。料理なども作って持ってきてくれる。	男性	94
	私の住んでいる所は田舎なので、隣近所の交流はある。まだ私も動けるのでまだまだ幸せに生活できて恵まれていると思います。	女性	68
	見守り	女性	9
	私のうちで4～5名絵手紙や手芸料理、お茶会などで楽しくやっています。公民館活動はあまり使用ができない。鍵を借りにいき戻したり迷惑かけるからと活用していない。	女性	78
	ここまで来られたのは、声には、言葉には表れてないけど、心遣いがひしひしと伝わってすべてに感謝しております。「良く生きてるなあ」と毎日手を合わせています。	男性	21
近所の人から声をかけてもらう。	男性	38	
時々声をかけていただいています。	女性	93	

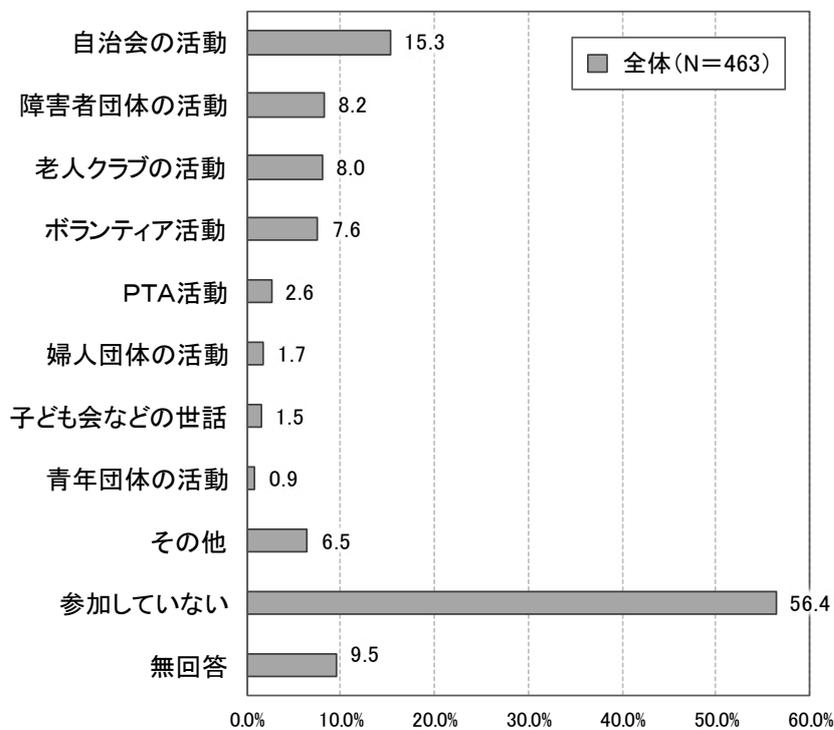
問22 地域の人に支えられていると感 じているか	問22-1 そのように感じた具体例	性別	年齢
支えられている (続き)	洗濯ものを入れ忘れた時、隣人の方から教えて頂きました。	女性	69
	公民館活動が盛んでご近所づきあいが程よくできている。子どもたちのあいさつや近隣の声掛けも良く皆で地域を支え合っていると感じている。	男性	72
	周囲の方が親身になって考えてくれる。	女性	51
	子供で学校に行けている間は、支援が手厚いと思います。今、小学生なので卒業したあと、社会に出てからが心配です。	男性	9
どちらかという と支えられて いる	道路など歩くときにすぐ手を取っていただく時。	男性	84
	軽度なので何でもできるので、村での行事や町での運動会などは参加して役員にもしてもらっている。村の人の理解はある方だと思います。	男性	48
	施設入所され地域住民の理解が得られていると思う。	女性	49
	あいさつをしてもらえる。	男性	45
	シニアクラブ活動への参加。	男性	65
	あいさつをしてくれていたり、しているから。	男性	不明
	町内会の行事などは区長、組長各部長のお世話で成り立っています。	女性	58
	近隣住民の方々は大人から子供まで挨拶はよくされ住み良いところだと思われる。	女性	55
	近所の方が良くしてくれるから。	女性	78
	地域の方の理解がある。	男性	32
	あまり人を当てにしない自分でやれるだけをする。無理をしない自分自身を大事に生きる。	男性	40
	参加ができそうにない行事に参加しなくても何も言わず認めてくれるところ。	男性	9
	近所の方が1日1回元気か様子を見に来てくれる。	女性	72
	町内の連絡事すべて組長さんより受けている。	男性	90
	何不自由のない生活を送っている。	男性	65
	役場の人相談にのってもらったり、情報提供してもらっている。町内の障がい児親の会に参加している。	男性	10
	雨が降ってきた時に窓が開いていたら、電話で教えてくださったり、夜回りの時歩くのがしんどかったら行かなくてもいいですよとか、何かと気を遣っていただいています。	女性	59
	道を歩いているとよく挨拶してくれる。	男性	6
	月に1回保健所、役場等の人が訪問してくれる。	女性	54
	分からない所を教えてもらう事。	女性	74
	近所の付き合いが深くある。	男性	79
	近所の方が夫婦とも年齢が同じであり、気心も通じるので良好な関係を保持している。	男性	72
	町の行事(運動会)など身体に無理がある場合代わりに他の人が受けてくれる。	男性	42
	近所の方の「おかえり」などの声かけ。	女性	8
障害2級なので地域の草取り等の労務に参加できない。	男性	80	
運動会になど弁当食べただけにでも来いと声かけして貰える。民生委員から度々、声かけあり。	女性	87	
民生委員の方の報告や声かけ、旅行の案内などよく持って来て来てくれています。行かなくても心から安らぎます。私は耳が全く聞こえませんが外出の時は補聴器をつけています。心臓も悪くて久留米市にある病院に通院していて足の膝も曲がりません。掃除の件お願いできませんか？	女性	83	

問22 地域の人に支えられていると感じているか	問22-1 そのように感じた具体例	性別	年齢
どちらかという と支えられて いない	民生委員の訪問がない。	男性	82
	視線が冷たい、近所の人が台所のドアを閉める。	男性	31
	年中行事に参加することが体力的に無理になってきたが、すべてできないことは自分としては許しがたく悩みます。（川掃除、集会所掃除、体育祭やまつりごとの世話など公の作業）	女性	80
	自閉症スペクトラム症なので障がいがあるようにはぱっと見分かりにくいから。あえて地域の人にも公表していない。	男性	6
	本人はいろんな制度や利用している施設で支えられているが、本人を支えている家族への配慮がない。家族は本人や地域（皆さんにお世話になるのでせめてとがんばって）の助けになればと動いているが、そのことを便利な人と利用されている。家族に時間の余裕を。そうしたら障がい者との時間が増えるのに。	男性	43
支えられて いない	見た目で障がいがあることが分からないので障がい者と思われていない。	男性	54
	何も支援を求める状態ではないため。	女性	51
	殆ど付き合いはありません。	女性	58
	地域の人からのアクションが全くない。	女性	67
	周りが障がいを知らない。	男性	40
	理解してくれる人、手助けしてくれる人がいない。	男性	31
	全くなし。	女性	66
	地域活動の参加していない。	女性	30
	民生委員を見たことがない。（2人もいるはずなのに）	女性	34
	町営団地の掃除や行事への参加が、体力的に困難であるが健常者と同等に出不足金などが発生すること。年金のみの生活では経済的に厳しい。	女性	72
	事情を話しても無関心。	男性	29
	地域の人達と会う機会がほとんどない。	男性	82
	誰も理解してくれない、調子が悪くてもこき使われる。	女性	48
	障がい者はみんな飛び出したりうろろうろしたり水たまりの中で遊ぶ（よその家に勝手に入る）など決めつけている。	男性	42
	付き合いがない。	男性	79
	地域の役（組合活動）等引き受けがたい、体調不良がある。	男性	69
	全く関わりがない。	女性	57
	見た目が分からなくて、言っても障がいを持っていると気づかれないから。	女性	73
	周囲は高齢者が多く、支えてもらうという以前の問題で、逆に見守りの依頼があります。	男性	15
	近所の方は僕が病気であることを知らなかったり僕そのものに興味がないと思うからです。	男性	47

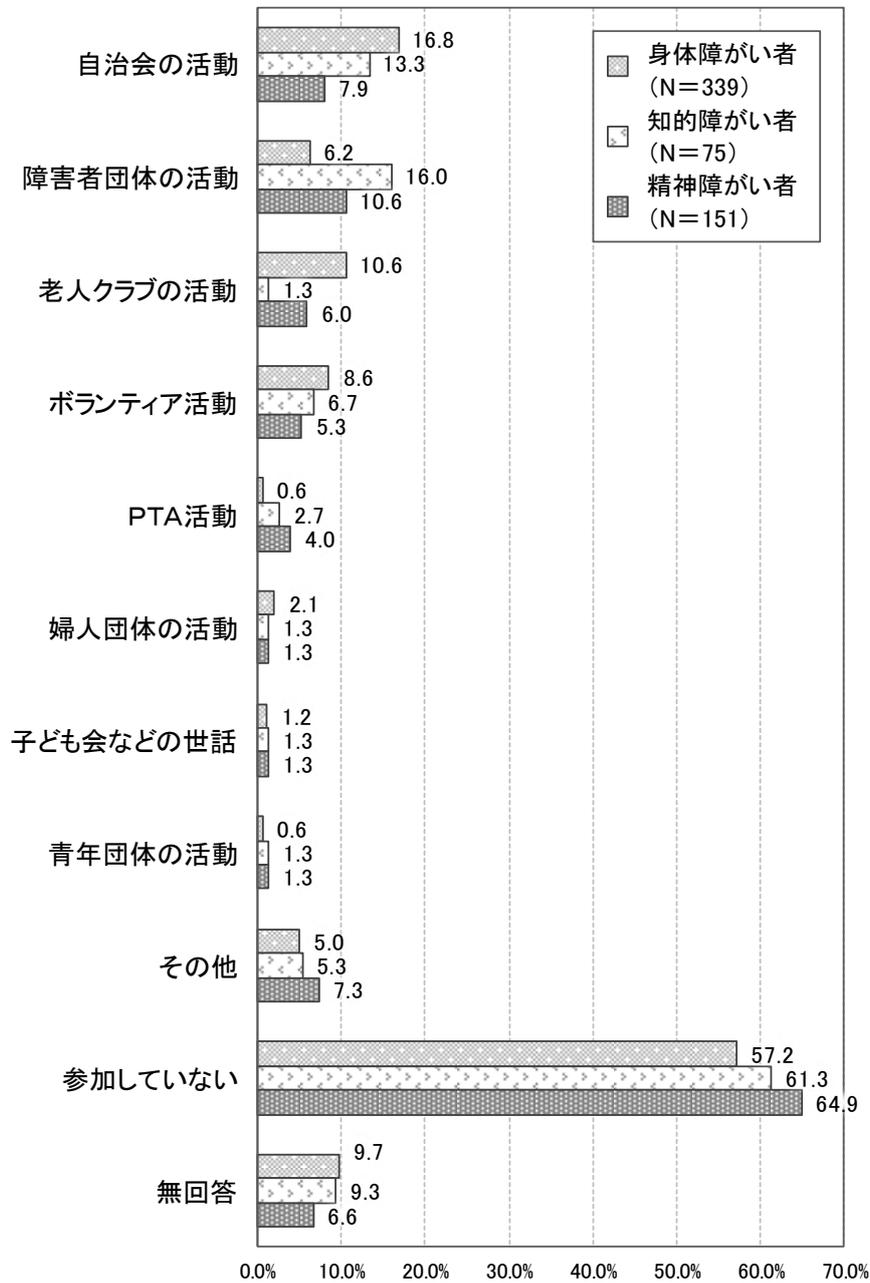
問23 あなたはどのような地域活動に現在参加していますか。(複数回答)

- 地域活動に「参加していない」と回答した人の割合が、全体の56.4%で最も高かった。現在参加している活動として回答割合が最も高かったのは「自治会の活動」(15.3%)で「障害者団体の活動」(8.2%)、「老人クラブ」(8.0%)がそれに続いている。
- 現在参加している活動を障害種別に見ると、身体障がい者は「自治会の活動」(16.8%)、知的障がい者と精神障がい者は「障害者団体の活動」(知的：16.0%、精神：10.6%)が最も高い回答割合になっている。(次ページ参照)

地域活動の参加状況 (全体)



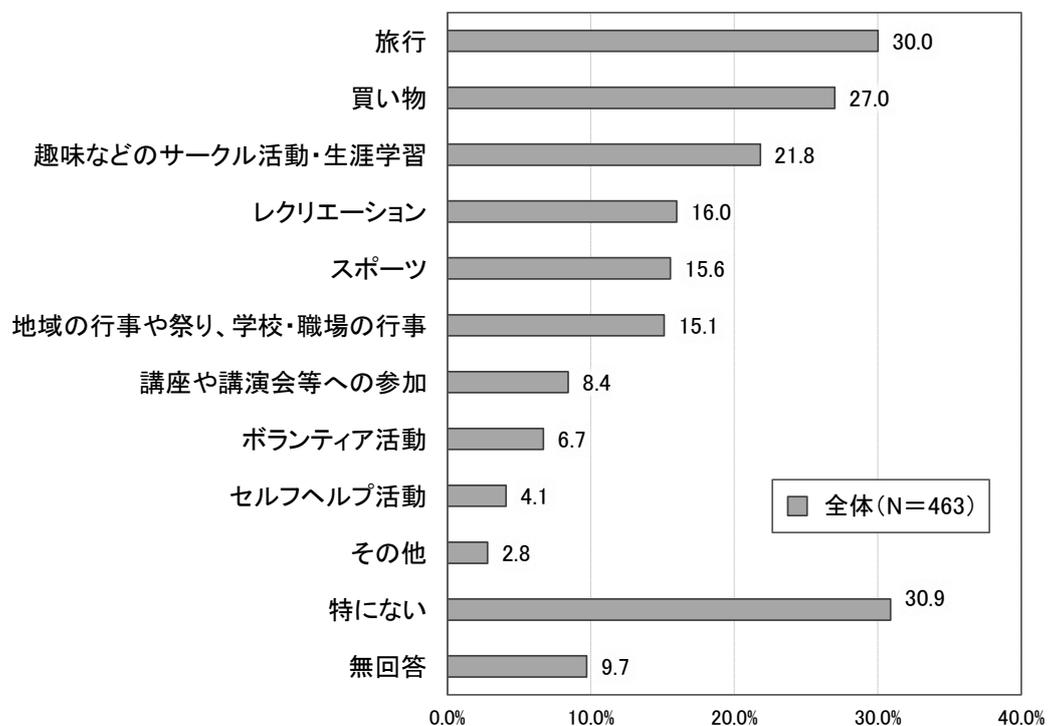
地域活動の参加状況（障害種別クロス集計結果）



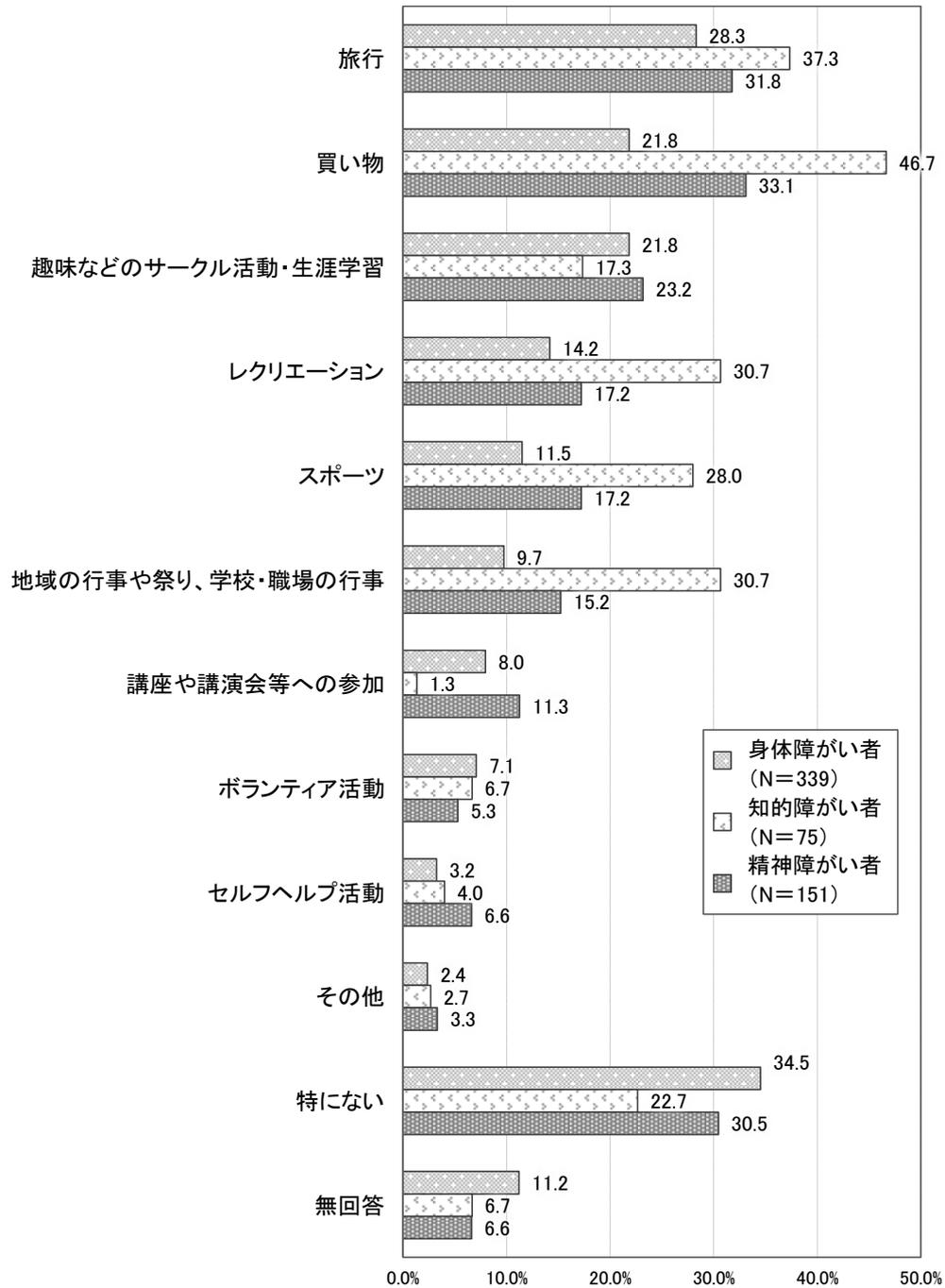
**問 24 今後、余暇活動として、どのような活動をしたいと思いますか。
(複数回答)**

- 「特にない」という回答を除くと、「旅行」(30.0%)、「買い物」(27.0%)、「趣味などのサークル活動・生涯学習」(21.8%)の順に多くなっている。
- 障害種別にみると、身体障がい者では「旅行」(28.3%)、知的障がい者と精神障がい者では「買い物」(知的：46.7%、精神：33.1%)が最も高い回答割合になっている。(次ページ参照)

余暇活動について (全体)



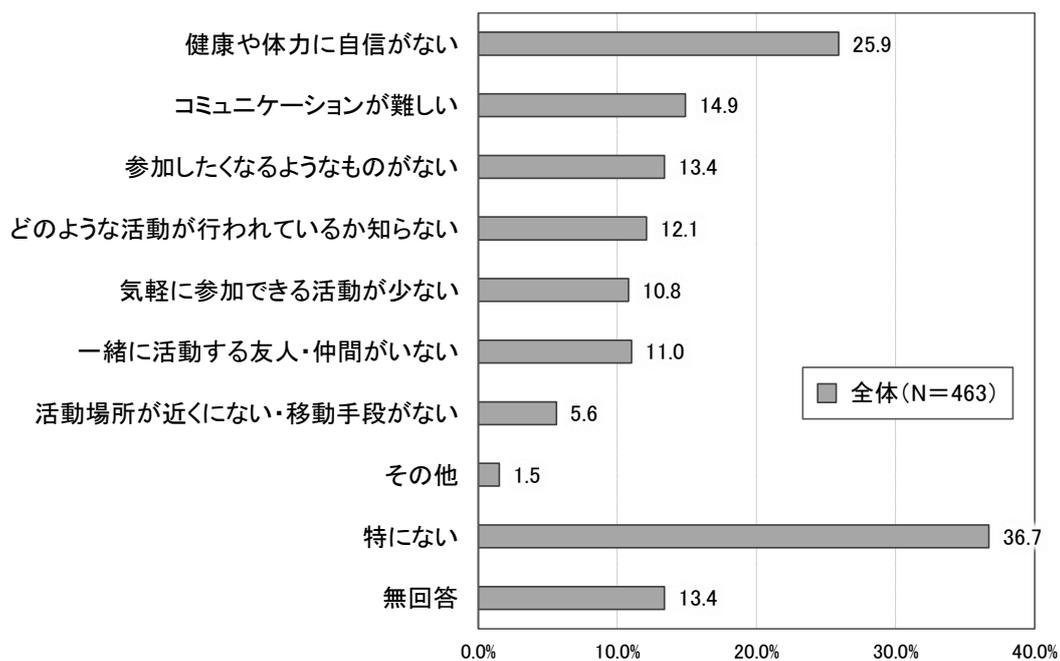
余暇活動について（障害種別クロス集計）



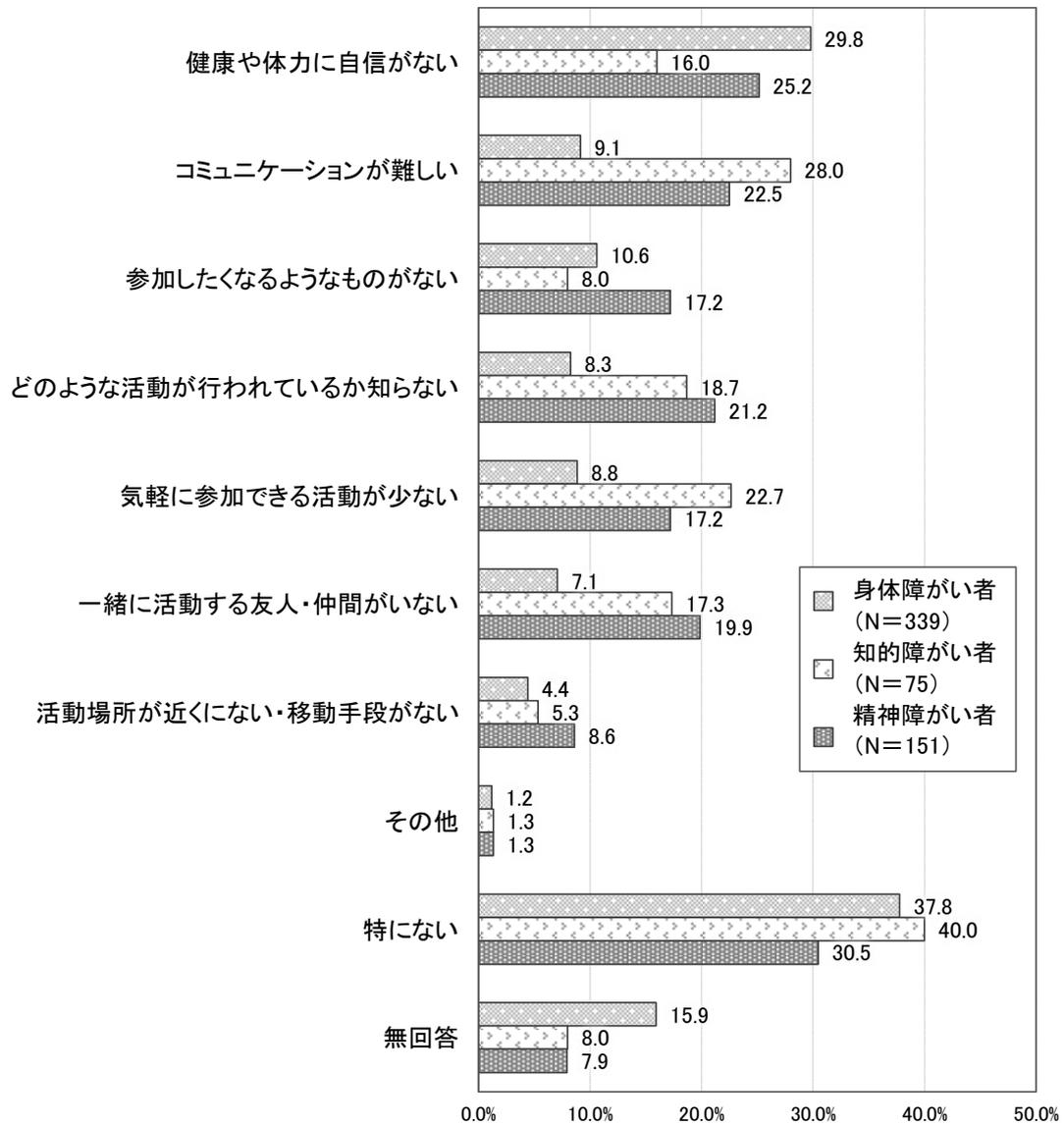
問 25 あなたが地域で行われる行事や余暇活動に参加しようとした場合、そのさまたげとなることはありますか。(複数回答)

- 「特にない」という回答を除いて、「健康や体力に自信がない」(25.9%)という回答割合が高く、「コミュニケーションが難しい」(14.9%)、「参加したくなるようなものがない」(13.4%)と続いている。
- 障害種別にみると、身体障がい者と精神障がい者では「健康や体力に自信がない」(身体：29.8%、精神：25.2%)、知的障がい者では「コミュニケーションが難しい」(28.0%)という回答が最も多いが、2番目に回答割合が多かったものは、身体障がい者が「参加したくなるようなものがない」(10.6%)、知的障がい者では「気軽に参加できる活動が少ない」(22.7%)、精神障がい者では「コミュニケーションが難しい」(22.5%)となっている。(次ページ参照)

地域行事や余暇活動の参加のさまたげとなること (全体)



地域行事や余暇活動の参加のさまたげとなること（障害種別クロス集計）

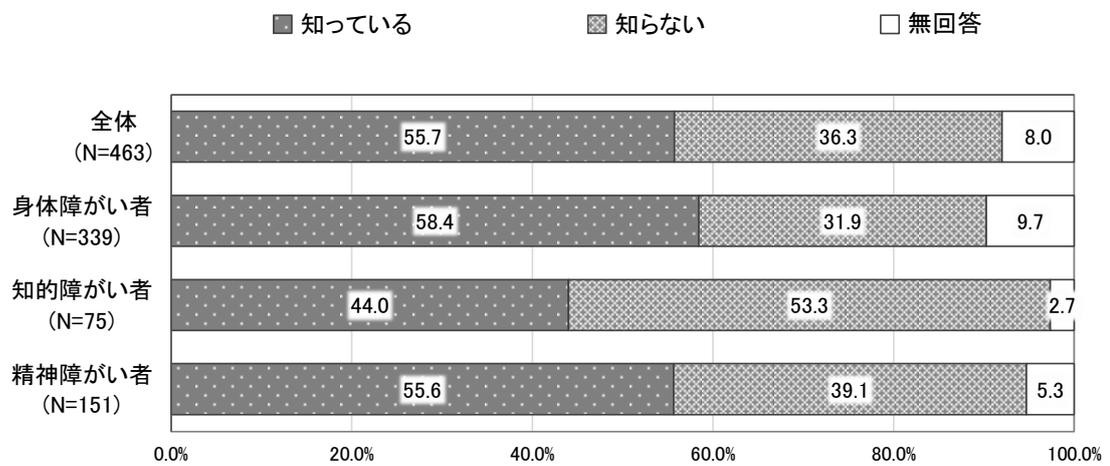


(9) 災害時の備えについて

問 26 あなたは災害が起こった場合の避難場所、避難経路を知っていますか。
(複数回答)

- 「知っている」と回答した人は、身体障がい者が 58.4%、知的障がい者が 44.0%、精神障がい者が 55.6%となっており、知的障がい者については「知らない」と回答した割合が 53.3%と高くなっている。

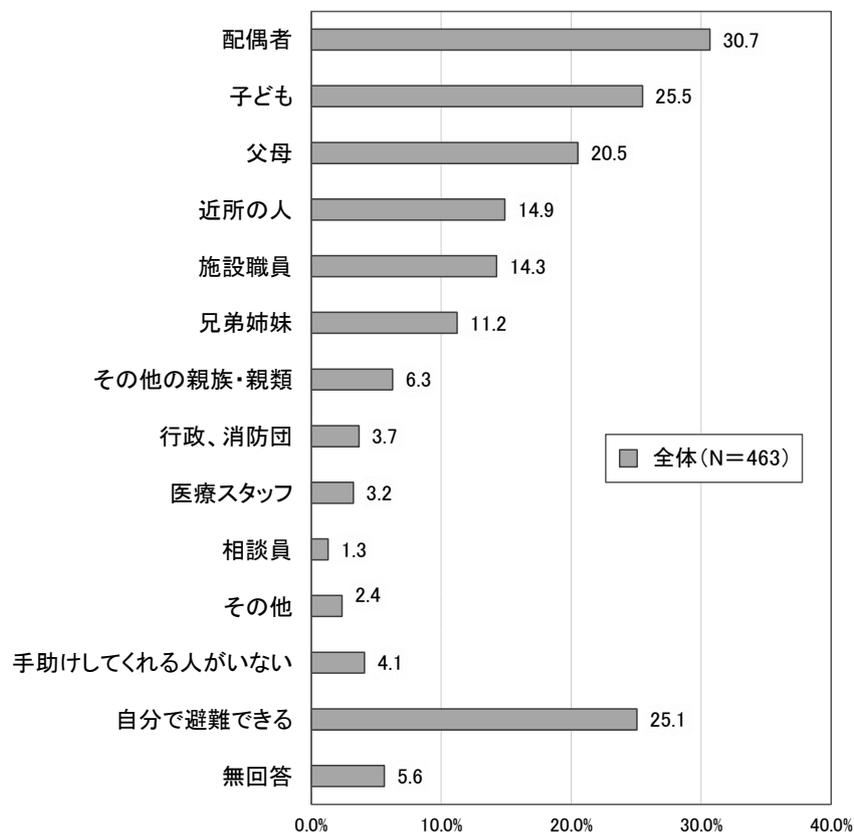
災害時の避難場所、避難経路の認知状況



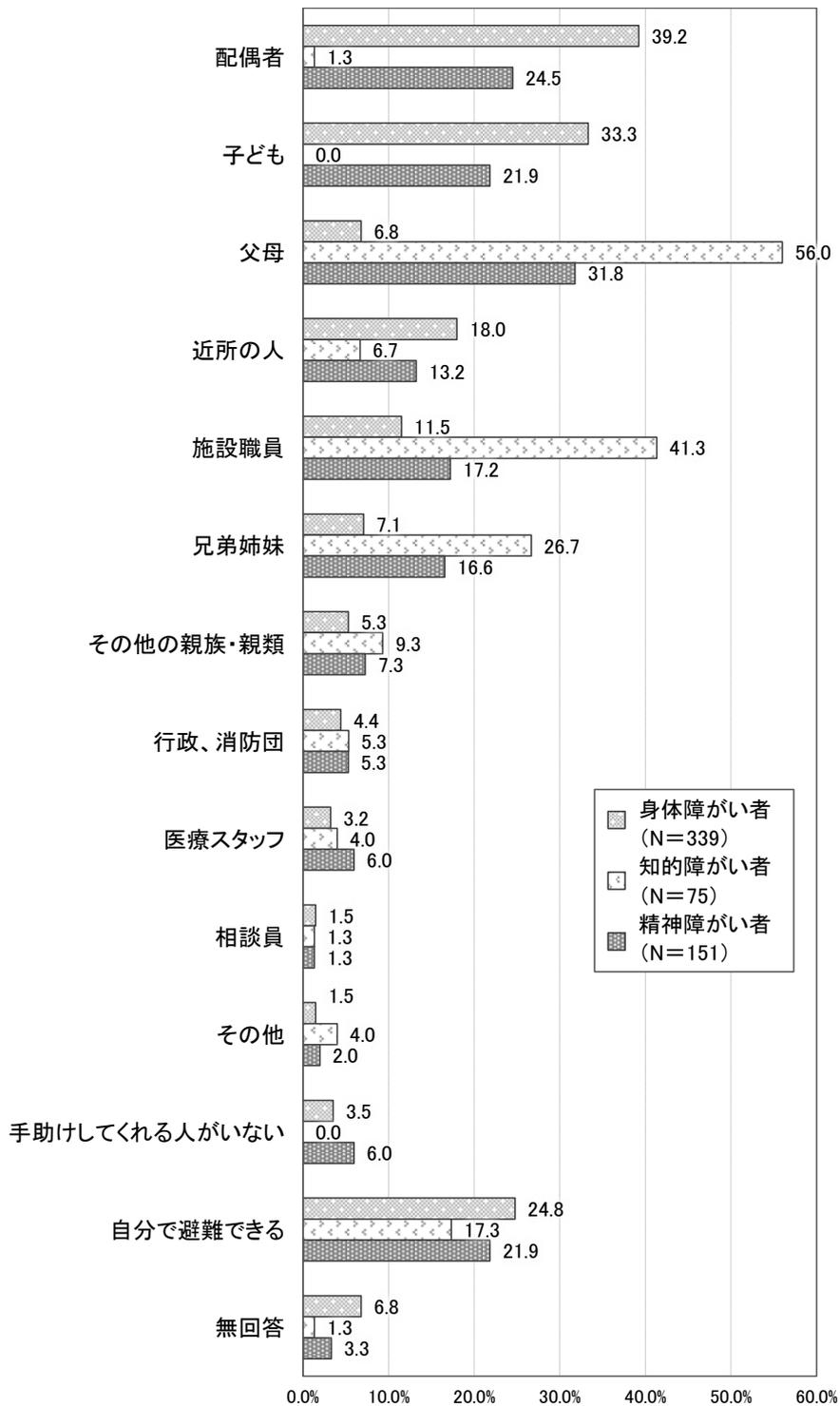
問27 災害（地震や火事など）で避難が必要になった場合、あなたの避難を手助けしてくれる人はいますか。（複数回答）

- 「手助けしてくれる人がいない」と回答した人の割合は全体の4.1%であった。
- 障害種別にみると、避難を手助けしてくれる人として回答割合が高かったのは、身体障がい者では「配偶者」(39.2%)、知的障がい者と精神障がい者では「父母」(知的:56.0%、精神:31.8%)となっており、以下、身体障がい者では「子ども」(33.3%)、知的障がい者「施設職員」(41.3%)、精神障がい者「配偶者」(24.5%)と続いている。(次ページ参照)

災害時に避難を手助けしてくれる人（全体）



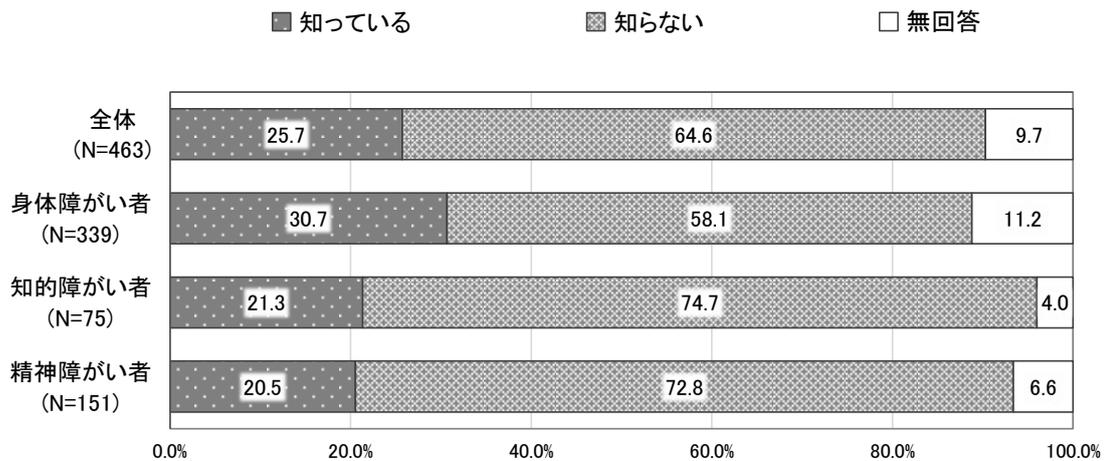
災害時に避難を手助けしてくれる人（障害種別クロス集計）



問 28 あなたは、災害時要支援者登録制度*があることを知っていますか。
(単数回答)

- 「知っている」と回答した人は、身体障がい者は30.7%、知的障がい者は21.3%、精神障がい者は20.5%となっている。全体でも「知っている」と回答した人は25.7%となっており、この制度を知っているのは4人に1人程度の割合だと推測される。

災害時要支援者登録制度の認知状況

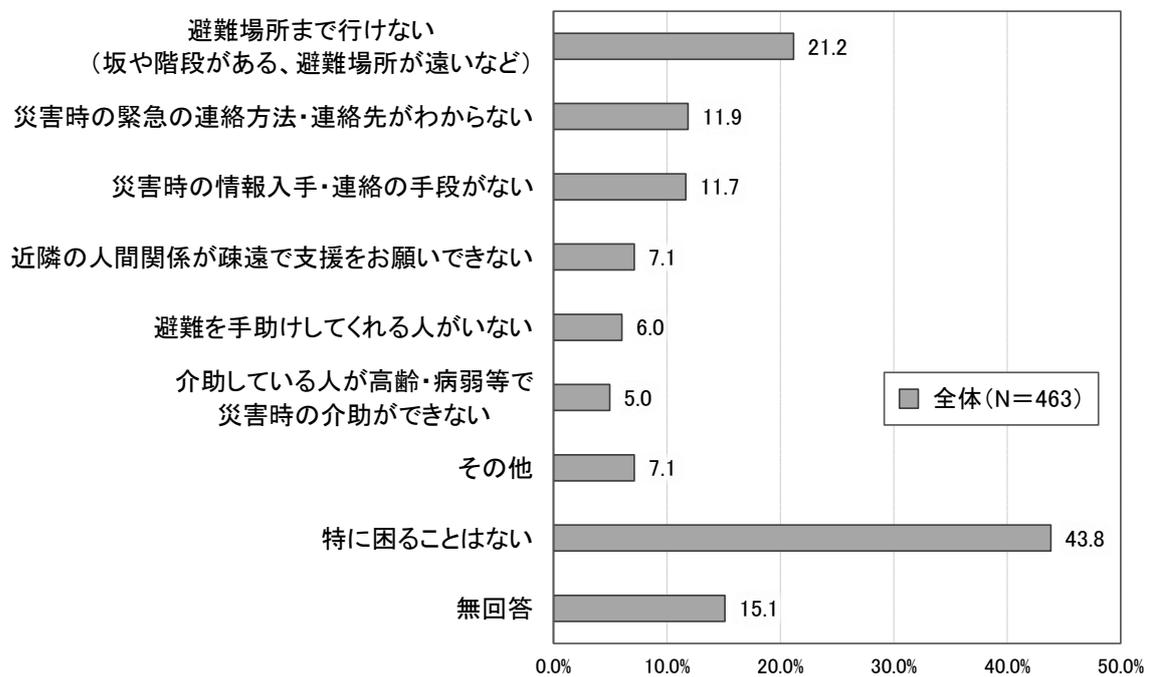


※災害時要支援者登録制度：災害が起こった時に、1人で避難することが困難な人を地域で支援するために、事前に登録を行うもの。

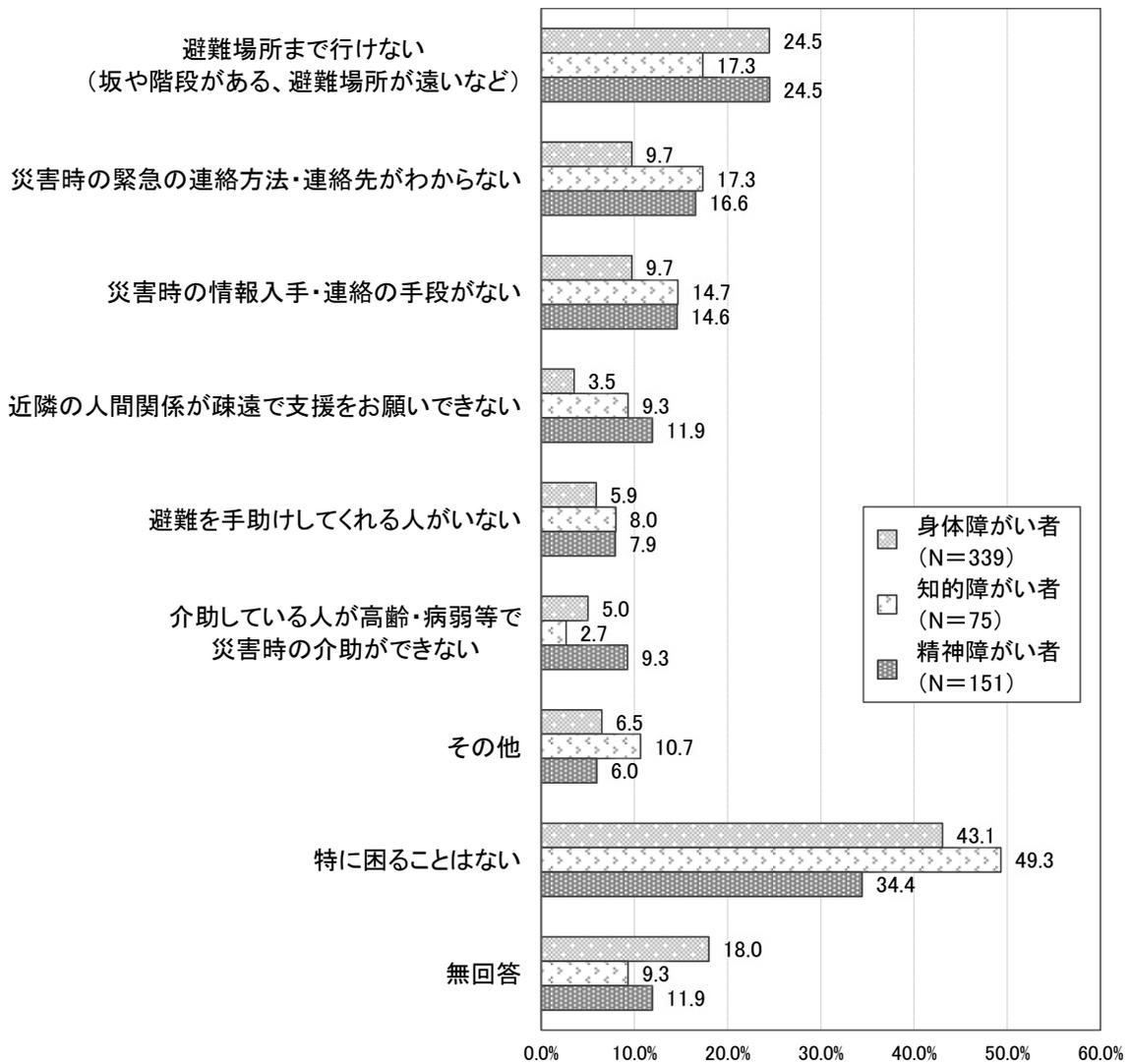
問29 避難するときに困ることは何ですか。(複数回答)

●「特に困ることはない」を除くと、いずれの障害種別も「避難場所まで行けない（坂や階段がある、避難場所が遠いなど）」（身体：24.5%、知的：17.3%、精神：24.5%）が高い回答割合になっている。知的障がいでは、同率で「災害時の緊急の連絡入手・連絡先がわからない」という回答も高くなっている。（次ページ参照）

避難時に困ること（全体）



避難時に困ること（障害種別クロス集計）

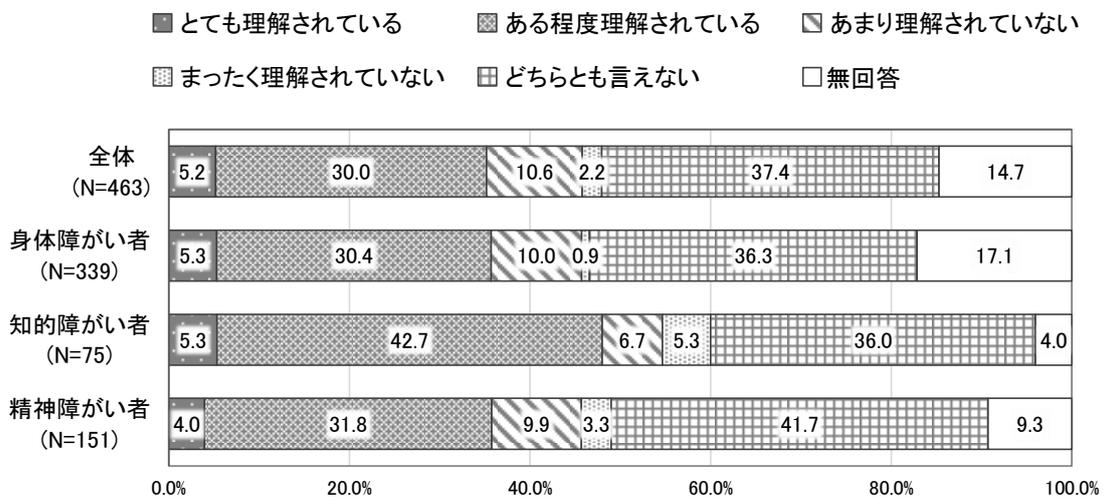


(10) 福祉全般について

問 30 障がい者に対する町民の理解についてどのように感じていますか。
(単数回答)

- 町民の理解についてたずねたところ、全体の37.4%の人が「どちらとも言えない」と回答しているが、「とても理解されている」または「ある程度理解されている」と回答した人は35.2%で、「あまり理解されていない」または「まったく理解されていない」と回答した人の割合(12.8%)を、22.4ポイント上回っている。
- 「とても理解されている」または「ある程度理解されている」と回答した人の割合が最も多かったのは知的障がい者(48.0%)であった。
- 「まったく理解されていない」または「あまり理解されていない」と回答した人の割合が最も多かったのは精神障がい者(13.2%)であった

障がい者に対する町民の理解について



問30-1 あなたがそのように感じた具体例があれば、ご記入ください。

- 障がい者に対する町民の理解について「とても理解されている」または「ある程度理解されている」と回答した人が、そのように感じた理由として「優しく接してくれる」、「公共施設等のバリアフリー化」などがあがっている。
- 逆に「あまり理解されていない」または「まったく理解されていない」と回答した人がそのように感じた理由としては、「目に見えて障がい分からないので理解されない」や「他人事だと思っている」などがあがっている。

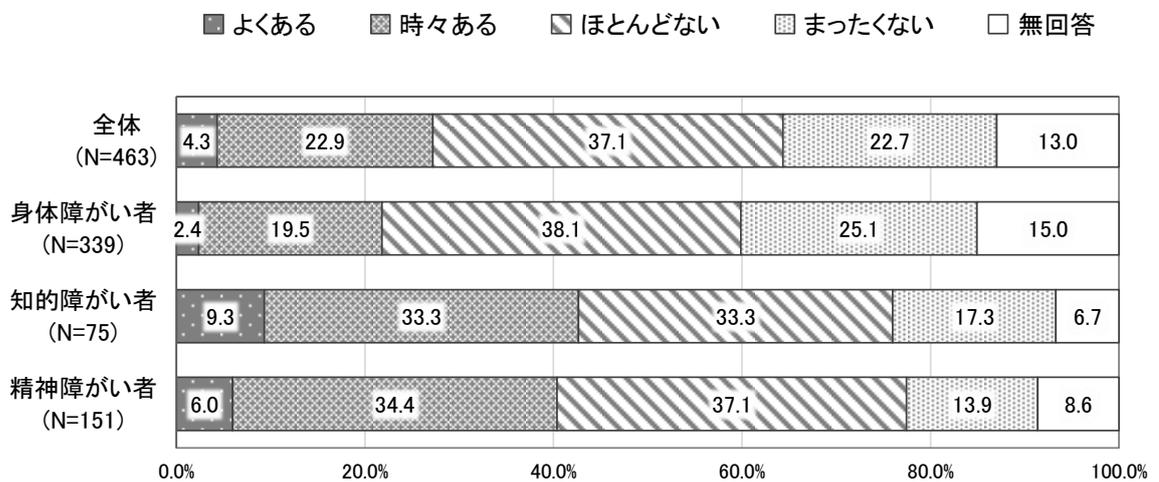
問30 障がい者に対する町民の理解について	問30-1 そのように感じた具体例	性別	年齢
とても理解されている	近所と町内と放課後デイサービスの利用ぐらいで、まわりは知り合いばかりで、息子の自閉症も知ってあるので困ってはいません。大人になって知らない人達と関わっていくのが、見た目が障がいのある顔をしていなので、理解がなくて困ることがでてくるかも分かりません。高校進学を希望しますが電車通学の場合、子どもに母が慣れるまでは付き添ってほしいと思います。	男性	12
	親切で丁寧に話を聞いてくれる。	男性	80
	医療費の補助やタクシー券の配布など。	男性	46
	何かあればケアマネジャーの方や病院の方が良くしてくださいませ。近所の方も。デイケアに行けばそこでも1日を楽しく過ごさせてくださいませ。	男性	69
	情報を詳しく丁寧に教えてくれる。	女性	73
	(車椅子・ベット・風呂場)福祉の方にお世話かけてありがとうございました。これからも自分のことは自分でと思っています。	女性	37
ある程度理解されている	普通にしてるので障がい者とは思っていないと思う。	男性	48
	スーパー、病院、公共施設等に身障者用駐車スペース、公共機関が実施する催しがある場合の入場料や車椅子の利用。	男性	80
	一見すると障がいのない半健康体に見られがちですから、自分でもプロフィール出来る時は、多少する場合があります。そのタイミングを時や場合のずれで只今訓練中だったりしてます。誤解をされぬように努めていますが、なかには、間違ったり失敗したりのコミュニケーションの時もあり福祉や障がいについて私自身学んで理解したいと感じています。いい感じでお互い支え合えたらと思うときがあります。	女性	46
	駅のエレベーター設置、公民館等の手すり設置。	男性	65
	高齢化社会になりつつある現在、皆が介護に携わらなければいけない今、人ごとではない。障がい者にもやさしく理解してくれますようにと願いも含め。	女性	37
	挨拶をしたくてもよく見えないので失礼になることがある。	男性	58
	時々職員さんからお知らせがあるから。	女性	28
	たまにタクシーに乗車するとき福祉券を使うと嫌な顔をされました。又、久留米ではあなたのどこが悪いのと嫌味を言われました。	女性	68
	道を譲ってくれる。建物の入り口への通行を譲ってくれる。	男性	77
	日常生活に必要な用具がいるため給付金を受けている。	女性	72
	自宅に帰った際、近所を散歩した時には地域の方とコミュニケーションをとっている。	男性	36
	親も子供の分までは金銭的な余裕がないので障害年金の額を増やしてもらいたいです。子供も好きで障がい者に生まれたのではないので本当にかわいそうで4人もつらいと思います。	男性	38
	嫌がらせがない。	男性	63
	買物などで助けて欲しい時声をかけると助けて下さる。駅のエレベーター設置などに税金を使って下さる。	女性	53
	町内の清掃等、参加していない。	女性	69
	優しくしてくれる。	男性	11
小さいころから町内で歩き店などにもご迷惑をかけながら知ってもらえた。最近は大大人になり知り合いは少なくなった。	男性	43	

問30 障がい者に対する 町民の理解に ついて	問30-1 そのように感じた具体例	性別	年齢
あまり理解 されていない	他人事として捉えている。	女性	68
	ろう者に災害などの時周りが手助けしてくれるかが分からない。	女性	51
	障がい者に対して嫌味を言われた事があります。嫌な思いをしました。あたたかな社会になって欲しいといつも思っています。	男性	69
	障がいを知らない。	男性	43
	他人事。	男性	61
	スーパーの駐車場で健常者が停めている。	男性	70
	全盲にもかかわらず、障がいを疑われたことがある。	男性	61
	障がい者用のスペースに健常者の駐車していることが非常に多い。	女性	55
	知らない。	男性	40
	要介護1級障害の母を在宅で介護しています。自宅にいる時は痰の吸引等対応が必要な状態なのに自宅を留守にしないといけない様な役回りの要求がありました。	女性	97
	特に町民の方と何かあったというような具体的なことはありません。接する機会がないので私が普段感じていることを書きます。私自身がうつ傾向にあるので悲観的に捉えてしまいます。精神障がいはなかなか理解が得にくい病気だと思っています。思い込みかもしれませんがどこかあきらめもあります。そもそも理解できると言われると、理解出来てないなど思ってしまいます。→分からない謙虚さを持って欲しいのです。理解出来てなくていいのでそれとなく側にいて欲しい気にかけて欲しいなど思っています。そういった態度のようなものがあると私は安心します。そんな私がまず謙虚さを持ち自分の事を分かってもらえるように努めたいです。	女性	30
	すぐく支援クラスも増え発達障がい児も多いのに、教員への研修等不足している。又療育等を行ってくれる場所も少なく、基山ではほとんどない。不安な親に対するケアや相談窓口ももっと間口を広げたりセミナー等増やして周囲の周知理解等をやっていただきたい。	男性	12
	自治体行事参加が困難であることを理解してもらえず、年金では経済的に厳しい。	女性	72
	積極的又は自然に手助けする人を見かけない。	男性	80
	近所の人と知り合いになったが、障がいの事を話したが、どんな病気か理解してなかった。	男性	21
	付き合いがない、コミュニケーション出来ない。	男性	79
	内臓障がいのため、外から見えないため理解が難しい。	男性	79
	障がいが目に見えてわかる人なら障がいがあるんだと理解されやすいけど、発達障がいは見た目からも分かりにくいのでわりと理解されにくい。親のしつけがとか、あまりよく思われていないと思う。	男性	6
	発達障がいは外見では分からないため、ただのわがままや親のしつけだと言われる。	男性	6
援助されたことはありません。	女性	53	
パッと見た感じでは普通。でも実際は支援が必要。周囲の人達に説明しても理解してくれないとき。	男性	2	
まったく理解 されていない	内部障がい者は一見健康そうに見えるので、無理して消防団に加入させられて1年後脳内出血をおこすが、見舞い謝罪の言葉すらない。この町には人権すらない。	女性	78
	見かけが普通の人と同じだから。その人と同じ事が出来ないから。みんなと比べられるから。甘えてる、すぐ疲れる、すぐ忘れる、片づけられない。気分が良くなると次に進めない。怒られる。言われるとやる気が起きない。	男性	32
	自分には関係がないという感覚の人が殆どです。何かあればよそに相談してくれという感じです。	男性	40
	基山町は障がい者の働くところがありません。作業所施設等ありません。役場の福祉の担当者が数年おきに移動になり、私たちは不安になります。町民の方々はあまり興味がないと思います。近くに施設などないのですから。	男性	9

問31 障がいがあることで、差別を感じたりいやな思いをしたことがありますか。(単数回答)

- 障がいのためにいやな思いをすることについて、全体では「ほとんどない」という回答が37.1%で最も高く、「まったくない」(22.7%)と合わせると、5割の人は障がいのために嫌な思いをすることが少ないことが分かる。
- 障害種別に見ると、知的障がい者は「よくある」と「時々ある」の回答の割合(42.6%)が他の障害種別より高くなっている。

差別やいやな思いをしたこと



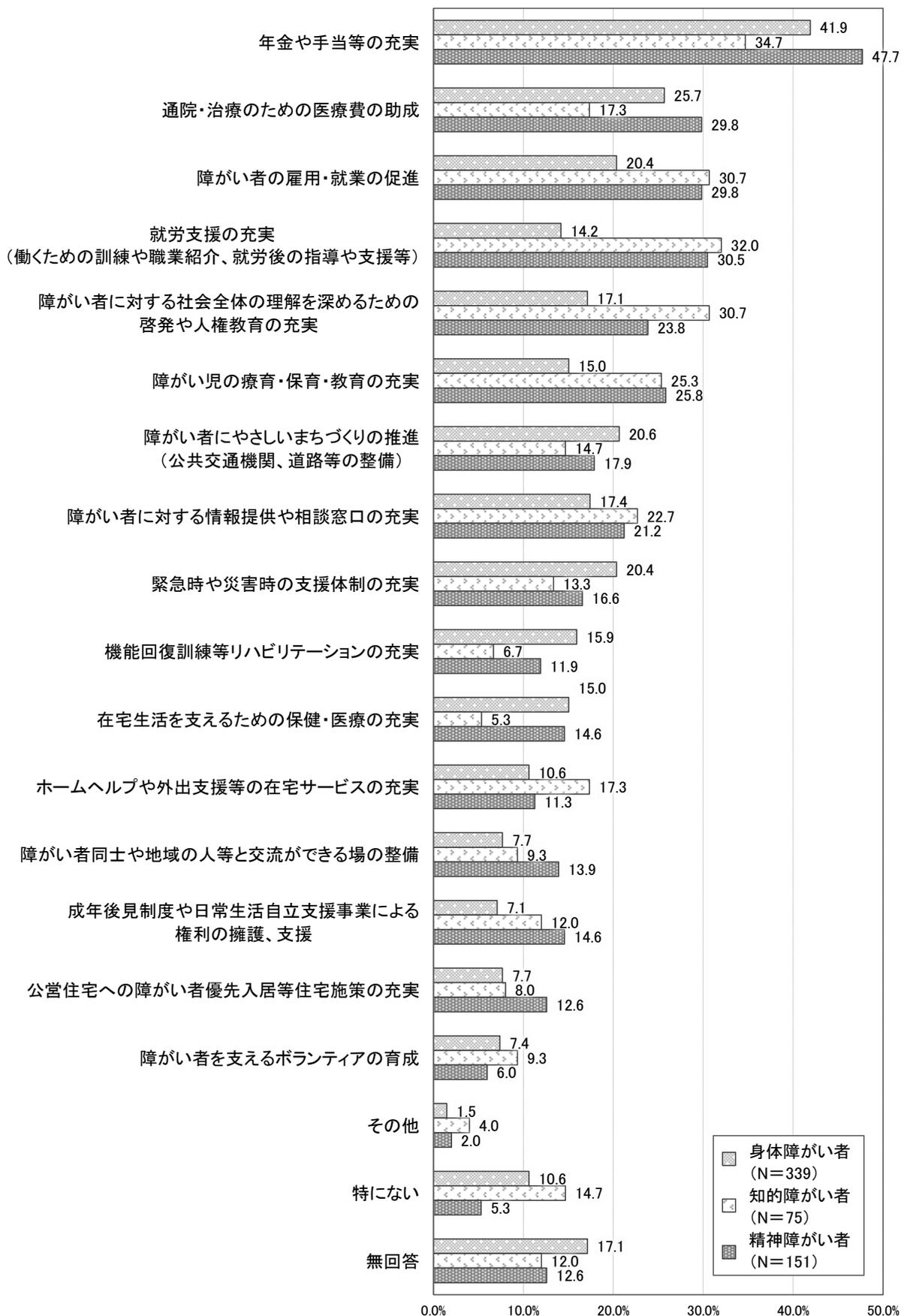
問32 障がい者に対する支援として、行政（国・県・町）はどのようなことを充実すべきだと思いますか。（複数回答）

- 全体では、「年金や手当等の充実」が42.3%で最も高く、「通院・治療のための医療費の助成」（26.3%）と続いており、経済的な支援が望まれていることがわかる。
- 障害種別に見ても、いずれの障害種別も「年金や手当等の充実」が最も高い回答割合となっている。次いで、身体障がい者では「通院・治療のための医療費の助成」（25.7%）、知的障がい者と精神障がい者では「就労支援の充実（働くための訓練や職業紹介、就労後の指導や支援等）」（知的：32.0%、精神：30.5%）が続いている。（次ページ参照）

行政が充実すべき支援（全体）



行政が充実すべき支援（障害種別クロス集計）



第3部 自由意見

分類	自由意見	性別	年齢
障がい者への理解	両上肢、両下肢に軽度の障がいがあるが見た目で分からないためなんでも普通に要求される事に困ることがある。特に職場での場合は困る。だからと言っていちいち俺は障がい者だと言いたくはないが、言わないとサボっているように思われると、それはストレスにしかない。中途半端な障がい者ゆえの悩み。	男性	68
	最近行政の啓発・人権教育が少しずつ理解されてきていると思う（新聞でもよく記事が出ている）。自立支援学校の充実・自立支援学校の先生の教育をしっかりして欲しい。	男性	19
	障がい者への偏見、差別をなくし、社会の人達が暖かく迎え入れる社会になって欲しい願うばかりです。住み良い社会を願うものであります。	女性	51
	持っていることを公表しないと助けてもらえない。でも公表するとばかにされたり嫌な思いをさせるから公表したくない。1人で頑張るしかない。	男性	80
	周りに理解されない。	男性	40
	早期に診断されても相談支援や周りの理解がなければ、ただレッテルを貼られるだけで本人の困り感は解消されないと思います。また、本人も家族もそれを受け入れやすくする周りの支援も必要だと思います。それぞれの個性や特徴は1人1人違います。本人も何がどう違って何に困っているのか理解できないでいる事が多くあります。家族もそれに寄り添える力が必要になるので家族への支援もよろしくお願いします。	男性	17
	障がい者がいて困っていても（何に困っているか）声をかける勇気をもって行動して（社会、役所の人全般です）。※返信用封筒ですが、折り返しの所に（のり、両面テープ等）接着	男性	53
	私たちもいつ障がい者になるか、皆さんと考えながら理解していきたいし、いつも笑顔で優しいことだと思います。今まで出来ることが年々出来なくなるので、気持ちはやりたいことはいっぱいありますが、頑張ることが出来ません。私も反省致します。	女性	78
	地域で暮らすにはまず地域の方の障がいに対する理解がもっと深まっていかなければお互いに間違った先入観を持ってしまうと思います。障がい者本人ももっと社会参加できればいいのですがみんなで一緒にがまず難しい人も多いので、どうしたらいいのか私もよく分かりませんが。	男性	29
	障がい者への理解があまりない人がまだまだ多い。	男性	48
	大人が障がい者（児）に対して偏見を持たないようにする。いつ自分が自分の家族になるかも、あたたかく見守って欲しいと思います。	女性	28
	健常者主観の障がい者への理解の場合、方向性や深度によっては差別的になる可能性があるかと思っています。一定の理解の上で、健常者と障がい者が変わりなく過ごせる声が求められるかと思っています。保険などが障がいがある部分に限って条件が付いてしまい、治療等の場所が障がい部位だと保険が支払われない契約しか結べないことが殆ど。その部分に保険をかけたいのに。	男性	42
	障がい者として経歴が長い健康なときよりも周りの方々にお世話になり本当の幸せを感じた。	女性	51
	時々僕は落ち着かなくなっていて部屋をぐるぐる歩き回ったりするのですが、それを知った父親から「うるさい」と言われ、病気に理解がないことです。それに困っています。それで、そういう病気があるので、もし仕事に落ち着かなくなったらどうしようと思ひ、それが仕事を探すことに躊躇してしまうことになってしまふのです。それにも困っています。	男性	47
精神障がい者は見た目では分からないので、きついことがあったり辛いことがあっても、なかなか分かってもらえない事。ある病院に行った時も、今駐車場が工事中で車を停める場所がなくて困っています。第二、第三駐車場があるんですけど、第三駐車場が少し離れていて行きは送迎のバスがあるんですけど、帰りはないので早く工事が終わることを願っています。	女性	53	

分類	自由意見	性別	年齢
福祉サービス等	現在補装具の手続きをすれば「日常生活用具給付」がありますが、利用者負担額が1割で9割が公費負担です。以前は利用者負担額も後日の手続きで還付していたが、今はありません。復活していただきたい。 「日常生活用具給付」で決定的内容が「ストマ用具蓄便袋」となっていて、フランジとパウチの2品目が対象となっている。この5年程失禁するようになり、尿取りパッドを1日に2～3回取り替えています。それで尿取りパッドも対象品目に加えて頂くようお願いいたします。	男性	53
	人工肛門等備品の購入手続き簡単にして欲しい。業者に電話→見積書→役場で申請→業者に郵送→本人品物	男性	76
	ホームヘルプ利用には色々制限があって利用しづらいこともある、家の近くの坂を歩けないのでバスが利用できない。もっとショートステイとかホームヘルプを利用したいがお金が心配。将来お金の出し入れが一人で出来ないで、動けなくなった時にどうすればいいのか、頼れる人がいない。死んだときどこに頼めばいいのか。	女性	57
	福祉サービスの枠に入らない、入れないところでサービスを受けたくても受けられない等の問題があります。サービスを利用するための事前申請の手続きも、〆切日があるので案内から〆切日までの余裕を持たせてほしいです。体調管理が難しい支援学級のために、エアコンを設置してくださっても室内気温が〇度以上にならないとエアコンをいれないなど、矛盾を感じていた時がありました。今もそうなのでしょうか？現場の支援学級の先生の意見と保護者の意見、どちらを優先されているのか、どこで判断されているのか、分からないこともありました。設定温度より子供の体調が1番だと思います。	男性	15
	日中一時を利用したいと思っているが負担額が大きい	女性	17
	申請手続きをするにあたり、役場へ行き、書類を集め、その為に診断書の料金もかかり、保健所へ持参し、もし不備があればまた出直さなければならない。交通費もかかれば時間もかかる。頼める人はいませんか？と簡単に言われるが、こんな手間のかかることを申し訳なくて頼めない。体調が悪くても期限には行かなければと思うと、本当に障がいを持つ者として疑問。障害福祉とは何なのでしょう？	男性	39
補装具の対象障がいの種類を増やして欲しい。呼吸器障がいの為、歩くことが非常に困難です。現在、24時間医療用酸素を使用し、移動は電動車イスを使用している。日常生活や社会生活に酸素と電動車イスは必要不可欠の為、以前電動車イスの補装具の支給申請をしたが、呼吸器は障がいの対象外とのことでした。また、電動車イスには専用車も必要ですが全く補助はありません。補装具等購入は経済的に大きな負担になっている。現状を知っていただき、補装具の対象障がいの種類を増やしていただけるようお願いいたします。	男性	56	
外出・移動	タクシー券をいただいています。とても助かっています。	不明	不明
	障がい者が外出できる整備や環境を提供、老後の金銭問題。	男性	23
	祝日に送迎バスが使えない。役場の対応が遅い。	男性	80
	通院のため、リフト式のタクシーを利用しないと移動ができないから、利用できるタクシーが少ないし、病院に行く時は予約が出来ても帰りのタクシーの確保が難しく2時間待ちの時がある。	女性	97
	コミュニティバス利用しています。大変助かってます。	女性	80
	殆ど車で動きます。障がい者用の駐車場を作っているところも増えてきていますが、ないところもあります。障がい者用のスペースに車を停める若い人も多いのです。もう少し障がい者にやさしい心を持ってくれるような教育を学校でしてくれたら、ああはならないと思うのですが。	女性	60
	施設やPAなど障がい者用の駐車スペースがあり大変助かっています。しかし若者の勢いのある車や十分教育がありそうな方が悪びれずに利用しています。ある程度仕方がないと思っていますが、あまりにも堂々としていてムカッとすることもあります。	男性	72
今はまだ自動車運転も出来るし買い物にも困りませんが、84歳で切り替えましたけど87歳になり、運転できなくなった時に買物とか病院に行く時大変だろうと思います。町のバスを上手に使えるように考えています。	女性	83	

分類	自由意見	性別	年齢
障がい児支援	昔から障がい者はいづれ養成学校へ進学するのが当たり前と思われがちです。うちの子は勉強させて小学校でかけ算・わり算、分数・少数など、親子で勉強させることに取組んできました。いづれ高校へ行かせたいからと思うからです。中学でも養護クラスで勉強を教えてもらいたいです。	男性	63
	発達障がいは1人1人タイプが違うので、学校などで支援に関わる方はその特徴を学んで理解した上で接して欲しいと思います。障がい児は親も子供も傷ついているので、周囲の理解力不足でもっと傷つくことが多いです。もっともっと理解される町になれば平和に暮らせるのにはと思います。	男性	6
	発達障がいは外見で分からないが、確実にコミュニケーション能力に欠けているので、高校進学、就労となるととても心配になります。	男性	6
	自分でいるんな団体に入り情報等を調べないと行政に聞いても分からないことが多くどこに相談すべきなのか悩んでしまう。高校への進学が大変、発達障がいに対応されている学校があまりなく支援学校は手帳がなく入学は出来ない。学校のスクールカウンセラーとピアカウンセラーは別物なのでピアカウンセリングが出来ることがあればとても助かります。	男性	12
	発達障がいと診断された後、療育施設の受け入れが少ないなんて、思ってもみなかった事でした。	女性	8
年金・医療費等	現在支給される年金内での生活が可能かどうか。(消費税引き上げなどを踏まえ)	女性	65
	できるだけ自分の意思で行動をとりたいです。年金13万ぐらいあると生活できます。生活環境が悪化しないように資本主義で義務教育でお願いしたいです。	男性	65
	現在私は69歳です。本間病院のデイケアセンターに週3回参加しています。お陰様で厚生年金で丁度生活ができ、センターにも参加できるのは、この年金のお陰です。今後伴とも支援の程よろしく願います。同時に実姉の世話のお陰もあります。	男性	69
	子供支援はあるが、親が仕事をしてそして育てるのが当たり前だけど、年金生活者は年金が減るばかりで何の支援もない。仕事をしたくても障がい者ということで働けない。今1番困っている事は全員が思っているように生活費の事だと思います。	女性	66
	親が希望しなかった等、様々な要因で障害年金を受給していなかったが、受給手続きをしたい。しかし手続きが複雑で書類も大変。福祉課で手伝っていただけると助かります。	女性	53
	障害年金をこれ以上減らさないで下さい。	男性	38
	軽度なので国・県からの支援がないので、今は親が支援してくれてるので生活はできるが、親もだんだん年を取るなので、少しでもお金を支給していただけたらと思います。自分より少し重い人は国から支援してもらっているの、いくら貯まっただの話をしてあるから悲しいです。自分は車に乗れるのでだめかもしれませんが、普通の生活をするのは無理です。	男性	48
	小学生であるのに、医療費の負担軽減の制度を他の家族同様に利用出来ないことが困る。窓口での支払いの負担が毎月あり、重心でなく窓口負担を減らす方を選べるようにできないでしょうか?1度ご相談しましたが、制度上の問題で不可能だと聞きました。その後検討していただくような機会はありませんか?	男性	47
	病院代を先払いし、2カ月後には払い戻しがありますが、高額なときが大変です。	女性	48
	医療費の助成で、現在は病院にかかった時必ず申請書を書いていただき医療費を支払って、後日役場に提出して2カ月後に振り込まれるシステムですけど、福岡県は病院にかかっても障がいの証明があれば支払いは無いようになっています。佐賀県も早くやって欲しい。	男性	57
	私の教え子で、海外に移住した現在77歳の子がいます。72歳~75歳の3年間、日本で働いている息子の所に寄住していた。70歳過ぎると医療費も息子の大学の学費も無料になり、全く生活の心配なく暮らしていけるという話をしてくれました。北欧にも医療費が一生無料という国はたくさんあります。日本のような大企業が大儲けをしている国が、どうして医療費や学費が無料にならないのでしょうか。私の夫は大変な障がい者で、年齢も91歳という老人です。でも年金は減らされ同居の次女に勤めを辞めてもらって、自宅での介護・家事一切をしてもらっていても何の補助もなく非常に苦労しております。年齢が90歳以上には医療費は無料にならないのでしょうか。幼児の無料化も勿論当たり前のことだと思いますが、高齢者に対する手当が余りにも劣っています。南米から次々に色々なものを送ってくるので、それを眺めながら思う事しきりです。	男性	91
多額の医療費を使い申し訳なく思っています。	女性	73	

分類	自由意見	性別	年齢
保健・医療	自分をコーデ出来るといい感じだと、身体も健康でいられたらと活動、行動しています。一般就労に向けて目標意識は高まっている途中です。調査していただくことで、私も何かしら良い方に変われたらと思いました。気を散らすことなく、ぐんぐん半健康にそして健康体になりたく、困らない生活をしていきます。	女性	49
	手術後の体力増強に努めるため、毎日散歩を続けているが、筋肉がなかなか付かず今後年齢が増すにつれて動きが弱ってきそうなので、他に運動の指導をしていただける機会や場所があればいいと思う。(年金暮らしなのでできれば無料で参加できるところがあると助かる。)	男性	65
	腰が痛い	男性	63
	私は3年位前まで、鳥栖市で行われている健康体操に参加させてもらい通っていましたが、参加者も増え保健所の方から基山の人は納税していないので(無料)やめるように断られました。健康体操は体に良く、気に入ってたけどやめざるをえませんでした。(3~4年通わせてもらいました。)基山にも無料で健康体操の出来る場所を作って欲しいと思っています。(障がい者でなく皆が参加出来る場所がいいです。)	女性	69
	特にまだ1人でどうにかできるので、足の筋力を落とさないように努力しております。今年60キロですので、今は良いけど先のことは分かりません。	女性	59
情報提供	成人になり、本人が自分の困りごとを自覚し、医師に伝えることが出来るようになって初めて診断を受ける事が出来ました。診断はなくとも困りごとは変わりません。本人が自主的に動くことが難しいタイプの方も多く、どう支援に結び付けていけばいいのか、家族として悩む事も多くあります。本人がどうしたいと思う前に、家族が知識として情報をもらえると本人が望んだ時に支援を提示してあげられるのではないかと思います。これからも情報発信をお願いします。	女性	25
	町の機関がもっと情報を提供して欲しい。よくわからない。支援の方法利用等わかりやすく提供して欲しい。	女性	不明
	窓口に障がい者ハンドブックを備え付けて欲しい(持ち帰り)。係の方に申し出ることに迷惑感を考えることがある。	男性	72
	40年いろんな制度を充実して貰えたが、これから10年、20年続けられるのだろうか。国や国会ではどの位の事をやる、できないことはできない、とはっきり我々にも覚悟や安心が出来るような説明が欲しい。兄弟や姪・甥に多くの負担をさせていいのか。本当に必要な人に必要な制度の充実を願う。 代筆 母	男性	43
アンケートについて	これから住みやすい基山町のために、このような取り組みは大変ありがたいと思います。良い計画とその確実な実行をお願いします。	男性	69
	こういったアンケートを実施してくださってありがとうございます。働くなら適度に休めるスペース、ソファやベッドがあったりしておしゃれな場所がいいです。おしゃれというだけですべて肯定感が上がると思います。健常者の方にも障がい者がポジティブにみえるような、そんな場所が基山町にあったら素敵だと思います。障がい者の方が生き生きと暮らしやすくなったら、また移住者も増えるのではないかと思います。この先ずっと基山に住みたいと思う何か欲しいなと思います。町が頑張っていることは私の励みにもなっています。ありがとうございます。	女性	30
	このアンケート調査は前にもあったと思いますが何か役に立つのか分からない。	女性	74
	アンケート内容以外に、シニアになってから手術等で受けることによる障がいあまり取り上げられてない。アンケート内容に戸惑いました。	女性	73
	アンケートを読んで答えることが負担です。	女性	53
	母はグループホームで生活しており、自分で書くこと、意思表示(YES、NO以外の)が難しく、アンケートは長女が代筆しています。正確に母の意見がくみとれたかはわかりません。	女性	82
	このアンケートですが、小学生用と身体障がい者用と大人用と、分けて記入できるようになりませんか?選択肢が狭すぎます。福祉サービスについての問15ですが、今すぐじゃなくて良いのです。1・2・3・4の中、2と3の間に、利用検討中や将来考えているなど入れてもらえませんか。	男性	9
	アンケートには全面的に協力するつもりですが、身体障がい者に認定された時の状況でなく(現在、脳梗塞、右手足・マヒの言語重度障がい)で入院中。アンケートに正しく答えることができたか。	女性	75
	アンケート問15についてですが、こんなにいろいろな制度やサービスがあって、実際に使用しているもの以外は内容がわからないので、本当はどう答えてよいかわかりませんでした。また、基山町で使えるかどうかともわからない不親切な問だと思います。	男性	33

分類	自由意見	性別	年齢
その他	町営団地の整備をして欲しい。バリアフリーや浴室などの設置。団地前の通路の整備、街灯などの設置。	女性	72
	地震・北朝鮮の動向が気になります。	男性	68
	緊急時の病院や施設などへの避難システムの構築。リフト付車両の整備。※問15等主旨不明。答えの仕方がわからない。	男性	77
	今は施設に自分が好きなように作業に行ったり行かなかったりしているので、本人がどのように考えているか分かりません。施設の方を動かしている状態です、このようなことが丸2年続いています。	男性	38
	障がい者が自由に集えるサロンに相談員を常駐してもらおうのも案でしょうか。	男性	65
	福岡市から基山町に引っ越してきて4年が過ぎました。ここは住みやすくいい町だと思っています。もっといい町にするには、弱い立場にある町民を支える体制をもっと充実させることに力を入れるべきです。	男性	10
	障害者団体・地域の活動団体等の世話役がなかなかない。	男性	79
	行政の末端である区の活動が最も日常生活と密着しているので、区の活動で障がい者を把握し、誰か相談相手など昔の隣保班のような体勢を期待することがある。	女性	56
	福祉関係にもう少し予算を組んでいただきたい。町民に対してもう少し予算を（生活しやすい、住みやすい）組んでもらいたい。	女性	68
	問32全部の支援をしてもらう国にすることが希望。	男性	76
	母親が死亡後の生活が不安。	男性	49
	今は主人が身のまわりの世話をしてくれるけど、75歳になるので、いつどうなるか分からないから先のことが不安です。一応娘、息子と基山に住んでいるけど、皆働いているので迷惑かけたくないと思う。	女性	74
	現在10歳です。PTは受けていますが、STは就学前まで、OTは昨年度で終了しました。食事がミキサー食なので普通食まで移行したのですが、STの訓練が受けられません。（就学前の子ども優先のため。）食事に関しては将来のためにもST訓練を受けたいです。	男性	10
	役場の方はいつも説明がたらず今混乱して、不安にさせる毎日です。怒りがおさまりません。障がい者の親もケアが必要です。サポートも必要です。なぜ分からないのでしょうか？いったい自分はいっぱい頑張っているのに何なんだろうと悩んでいる人も多いんですよ。手がかかりすぎて育てるのも大変です。	女性	9
	右手中指、中指がありませんが、障がい者でも何の手助けも受けられませんね。年を取って字も全然書けません。	女性	93
	衣類が気軽に買えるお店がありません。	女性	69
	決まり事を守らない事がストレスになるのですが、自宅の周りで路上駐車がが多いのが困っています。けやき台中です。	男性	48
	家族や友人、知人、これから関わる人達が明るい気持ちで過ごせる社会であって欲しいと願っています。	男性	70
	健常者も障がい者も望みを捨てたらそこで終わりです。	男性	28
	今のところ別に困っていません。皆さんに良くしてもらってますので。	男性	94
相手を思いやるあたたかい心で接する人になりたい。	男性	80	
家族に会いたい。家に帰りたい。	女性	68	
私は友人と話をしたり出かける事です。それと自分が何か人を手伝いたいです。（孫のこと）	女性	63	
迷惑をかけずにあの世とやらに行けたらいいと思います。	男性	66	

第4部 調査票

きやまちょう
基山町

しょう しゃ じ ふくし かん
障がい者(児)の福祉に関するアンケート

きょうりょく ねが
【ご協力のお願い】

きやまちょうでは、障がいのある方が地域で自立し、安心して生活できる環境づくりを進めるための計画「障害福祉計画・障害児福祉計画」を平成29年度中に策定する予定です。

この調査は、障害者手帳を有する方及び障害福祉サービス等を利用されている方を対象に、日常生活の状況やご要望等をおうかがいし、計画策定の基礎資料を得る目的で実施するもので、お答えいただいた内容に関しましては、調査結果をとりまとめ、計画の見直しに活用するほかには使用いたしません。また、あなたの回答の内容が他の人に知られることはありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力ください。よろしくお願いいたします。

へいせい ねん がつ
平成29年10月

きやまちょう
基山町

きにゅう ねが
ご記入にあたってのお願い

- この調査票は、できる限りあて名のご本人がお答えください。ご本人の回答や記入が難しい場合は、主に介助されている方やご家族の方が、ご本人と相談したり、ご本人の立場にたってお答えください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きに従ってお答えください。
- 調査票の記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて10月16日(月)までに郵便ポストに投函してください。調査票及び封筒に住所やお名前を書く必要はありません。

ちょうさ かん と あ さき
【調査に関するお問い合わせ先】

きやまちょうけんこうふくしか しょう ふくしがかり
基山町健康福祉課 障がい福祉係

でん わ
電話：0942-92-7964

FAX：0942-92-7184

ちょう さ ひょう
調 査 票

あなた自身の性別や障がい、生活状況などについて、おたずねします

問1 あなたの性別、年齢、現在のお住まいをお答えください。

(1) 性別	1. 男性	2. 女性
(2) 年齢	満 () 歳 ※平成29年9月1日現在でご記入ください。	
(3) 現在の お住まい	1. 本人または家族の持ち家 2. 民間の賃貸住宅 3. 公営の賃貸住宅	4. グループホーム・ケアホーム 5. 福祉施設・病院等に入所・入院中 6. その他 ()

問2 あなたの障がいは何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 身体障がい

➡ (1) どのような障がいがありますか。当てはまるものをすべて選んでください。

1. 視覚障がい

2. 聴覚障がい、平衡機能障がい

3. 音声・言語機能障がい、そしゃく機能障がい

4. 肢体不自由

5. 内部障がい (心臓・呼吸器・じん臓・ぼうこう又は直腸・小腸・
肝臓・免疫機能障がい)

➡ (2) 障がいの程度は「身体障害者手帳」の何級ですか。

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級

2. 知的障がい ➡ 「療育手帳」に書いてある障がいほどの程度ですか。

1. A 2. B

3. 精神障がい ➡ 「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか。
(お持ちの場合)何級ですか。

1. 持っていない

2. 持っている (① 1級 ② 2級 ③ 3級)

4. 潰瘍性大腸炎など、治療法が確立していない難病

5. 自閉症やアスペルガー症候群などの発達障がい

問3 現在、あなたと同居している方はどなたですか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 配偶者	4. その他の家族・親族
2. 親	5. その他 ()
3. 子ども	6. 同居している人はいない

問4 あなたは身の回りの世話を、主にどなたにしてもらっていますか。(〇は1つだけ)

1. 配偶者	6. その他 ()
2. 親	7. 福祉施設や医療機関の職員
3. 子ども	8. 必要だが世話をしてくれる人がいない
4. その他の家族・親族	9. 世話をしてもらわない
5. ホームヘルパー	

問5 あなたは、次の①から⑩までのことができますか。(〇はそれぞれに1つだけ)

※補装具を使用している人は、補装具を使用した状態でお答えください。

	一人で できる	少し手伝って もらう	全部手伝って もらう
① 食事	1	2	3
② トイレ(排せつ)	1	2	3
③ 着替え	1	2	3
④ お風呂に入る	1	2	3
⑤ 一人で歩く	1	2	3
⑥ 外出	1	2	3
⑦ 掃除、洗濯、炊事	1	2	3
⑧ お金の管理	1	2	3
⑨ 服薬	1	2	3

	できる	なんとか できる	むずかしい
⑩ 意思の伝達(コミュニケーション)	1	2	3

しょう じ ほいく きょういくなど
障がい児保育や教育等についておたずねします

※問6から問8は、18歳未満の方におたずねします。

18歳以上の方は問9（4ページ）に進んでください。

問6 あなたは、主に何を^{おも}して^{なに}過^すぎしていますか。（○は1つだけ）

1. 学校や幼稚園・保育所等に通っている
 2. 自立訓練・生活介護等の事業所に通っている
 3. 仲間同士の集まり等に参加している
 4. 自宅で過ごしている
 5. 医療機関や福祉施設等に入院・入所している
 6. その他（ ）
- 問7へ

問6-1 (問6で1を選んだ方のみお答えください)

通園・通学先は、次のうちどれにあたりますか。（○は1つだけ）

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 幼稚園 | 4. 小・中学校の特別支援学級 |
| 2. 保育所 | 5. 小・中・高等学校 |
| 3. 認定子ども園 | 6. 大学・専門学校等 |
| 4. 障害児通所施設 | 7. その他（ ） |
| 5. 特別支援学校（盲学校・ろう学校・旧養護学校） | |

問6-2 (問6で1を選んだ方のみお答えください)

通園や通学で困っていることがありますか。（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 通うのがたいへん | 7. 受け入れてくれる園・学校の数が少ない |
| 2. 授業内容が難しい | 8. 希望どおりの就園・就学が難しい |
| 3. トイレ等の設備が不十分 | 9. 家族の同伴を求められる |
| 4. 介助体制が十分ではない | 10. 医療的ケア（吸入、導尿等）が受けられない |
| 5. 友だちができない | 11. その他（ ） |
| 6. 職員や生徒の理解や配慮が足りない | 12. 特に問題はない |

問7 学校（中学校、高校）を卒業した後の進路について、どのようにお考えですか。

（○は1つだけ）

1. 地域活動支援センターまたは就労支援の事業所に通いたい
2. 施設に入って、生活訓練や職業訓練等を受けたい
3. 一般の企業等で働きたい
4. 進学したい
5. その他（ ）
6. わからない・まだ考えていない

問8 宛名の方の保護者におたずねします。あなたは子育て支援として、以下のサービスや事業を利用したいと思いますか。(項目ごと1つに〇印)

① 保育所 保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設	1. 今後も継続して利用したい	2. これからすぐにも利用したい	3. 利用したいとは思わない	4. 必要ない
② 認定こども園 幼稚園・保育所などのうち、教育・保育を提供する機能、地域における子育て支援を行う機能を備える施設	1. 今後も継続して利用したい	2. これからすぐにも利用したい	3. 利用したいとは思わない	4. 必要ない
③ 放課後児童健全育成事業 保護者の仕事等により、学校から帰宅時間に保護者が不在の児童に、適切な生活や遊びの場を提供し、児童の健全育成を支援するもの(放課後児童クラブ)	1. 今後も継続して利用したい	2. これからすぐにも利用したい	3. 利用したいとは思わない	4. 必要ない

就労や日々の過ごし方についておたずねします

※問9から問9-2は、18歳以上の方におたずねします。
18歳未満の方は問10(5ページ)に進んでください。

問9 あなたは、主に何をして過ごしていますか。(〇は1つだけ)

1. 正規の社員・従業員として働いている(自営業を含む)
2. パートやアルバイトとして働いている(家業手伝いを含む)
3. 地域活動支援センターまたは就労支援の事業所に通っている
4. 自立訓練・生活介護等の事業所に通っている
5. 仲間同士の集まり等に参加している
6. 自宅で過ごしている
7. 医療機関や福祉施設等に入院・入所している
8. その他()

問10(5ページ)へ

問9-1 (問9で1～3のいずれかを選んだ方のみお答えください)あなたが仕事で得る月収は平均しておよそいくらくらいですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 1万円未満 | 4. 10万円～30万円未満 |
| 2. 1万円～5万円未満 | 5. 30万円以上 |
| 3. 5万円～10万円未満 | 6. 収入はあるが一時的なものである |

問9-2 (問9で1~3のいずれかを選んだ方のみお答えください) 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 収入が少ない
2. 体調が悪いときに休みを取ることが難しい
3. 勤務時間の長さや時間帯が自分にあわない
4. 仕事の内容が自分にあわない
5. 仕事の内容が難しく、覚えるのがたいへん
6. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない
7. 障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい
8. 職場の設備が不十分で障がい者になっていないため使いにくい
9. 職場までの通勤がたいへん
10. 障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進等に差がある
11. その他 ()
12. 特にない

今後の暮らし方についておたずねします

※ここからは、すべての方がお答えください。

問10 あなたは、今後、どのように暮らしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 家族と同居して暮らしたい
2. 独立して一人暮らししたい
3. グループホーム等の、地域の中で仲間と共同生活できるところで暮らしたい
4. 医療機関や福祉施設に入院・入所したい
5. その他 ()
6. わからない

問11 あなたは、どのような条件が整えば、自宅や地域で生活できる(しやすくなる)と思いますか。(〇は3つまで)

1. ホームヘルプや外出支援等の日常生活の介助が十分に受けられること
2. 主治医や医療機関が近くにあること
3. 生活するのに十分な収入があること
4. 住宅が確保できること
5. 家族と同居できること
6. グループホーム等の仲間と共同生活できる場があること
7. 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること
8. 地域の人が障がいを理解してくれること
9. 住居や道路などがバリアフリーであること
10. その他 ()
11. 特にない
12. 自宅や地域で生活したいとは思わない

問12 あなたは、今後、主に何をしてお過ごししたいと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 正規の社員・従業員として働きたい(自営業を含む)
2. パートやアルバイトとして働きたい(家業手伝いを含む)
3. 地域活動支援センターまたは就労支援の事業所に通いたい
4. 学校や幼稚園・保育所等に通いたい
5. 自立訓練・生活介護等の事業所に通いたい
6. 仲間同士の集まり等に参加したい
7. 自宅で過ごしたい
8. 医療機関や福祉施設等に入院・入所したい
9. その他 ()
10. わからない

問13 あなたの日常生活をより安心して快適なものとするためには、どのような支援やサービスが必要だと思えますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 障がいのために自分ではできない家事等の支援
2. 必要最小限の家事等を身につけ、自立生活できるようにするための訓練等の支援
3. 通院のための外出支援
4. 散歩や買い物等の日常的な外出支援
5. 通学・通所・通勤等の定期的な外出支援
6. 企業に就職するための職業能力を身につけるための支援
7. 企業の求人状況や就労に関する情報提供
8. その他 ()
9. 特になし

問14 障がい者が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 勤務する時間や日数を調整できること
2. 通勤手段があること
3. 通院しやすい環境であること
4. 自宅で仕事ができること
5. 賃金が妥当であること
6. 障がいにあった仕事であること
7. 就労のための訓練を受けられること
8. 職場に慣れるまで援助してくれる制度があること
9. 勤務場所に障がい者用の設備・機器が整っていること
10. 周囲が自分を理解してくれること
11. 同じ障がいを持つ仲間や介助者がいる職場があること
12. その他 ()
13. 特になし

福祉サービスについておたずねします

問15 次のサービスについて、あてはまるものにそれぞれ1つだけ○をつけてください。
 (現在の身体状況や生活状況を前提にお答えください。)

(項目ごと1つに○印)

現在利用 している	これから すぐでも 利用したい	利用したいとは思わない	必要ない
1	2	3	4

① 居宅介護 (ホームヘルプ)	1	2	3	4
自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。				
② 重度訪問介護	1	2	3	4
重度の肢体不自由者で常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援などを総合的に行います。				
③ 同行援護	1	2	3	4
視覚障がいにより移動が著しく困難な人に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行います。				
④ 行動援護	1	2	3	4
自己判断能力が制限されている人が行動するとき、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います。				
⑤ 重度障害者等包括支援	1	2	3	4
意思の疎通に著しい困難を伴う重度障がいのある人に対して居宅介護をはじめとする複数のサービスを包括的に行うサービスです。				
⑥ 生活介護	1	2	3	4
常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。				
⑦ 自立訓練 (機能訓練)	1	2	3	4
自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、身体機能の向上のために必要な訓練を行います。				
⑧ 自立訓練 (生活訓練)	1	2	3	4
自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、生活能力の向上のために必要な訓練を行います。				
⑨ 就労移行支援	1	2	3	4
一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。				
⑩ 就労継続支援 (A型)	1	2	3	4
一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。(雇用契約あり)				

(項目ごと1つに〇印)

現在利用 ついでに	これから 利用したい	利用したい と思わない	必要ない
1	2	3	4

<p>⑪ <u>就労継続支援（B型）</u> 一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。（雇用契約なし）</p>	1	2	3	4
<p>⑫ <u>療養介護</u> 医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話をを行います。</p>	1	2	3	4
<p>⑬ <u>短期入所（ショートステイ）</u> 自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。</p>	1	2	3	4
<p>⑭ <u>共同生活援助（グループホーム）</u> 夜間や休日、共同生活を行う住居で相談や日常生活上の援助を行います。</p>	1	2	3	4
<p>⑮ <u>施設入所支援</u> 施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。</p>	1	2	3	4
<p>⑯ <u>計画相談支援</u> 障がいのある人が、対象となる障害福祉サービスを利用できるよう、支給決定を受けた障がいのある人の心身の状況やおかれている環境などを勘案し、サービス利用計画を作成するサービスです。</p>	1	2	3	4
<p>⑰ <u>地域移行支援</u> 障害者支援施設等に入所している障がい者等に対して、地域生活に移行するための活動に関する相談その他の便宜を提供するサービスです。</p>	1	2	3	4
<p>⑱ <u>地域定着支援</u> 常時の連絡体制を確保し、緊急時に相談、訪問、緊急対応等を行います。</p>	1	2	3	4
<p>⑲ <u>相談支援事業</u> 必要な情報の提供及び助言、障害福祉サービスの利用支援等を行います。</p>	1	2	3	4
<p>⑳ <u>点字・朗読・手話等の意思疎通（コミュニケーション）支援</u></p>	1	2	3	4
<p>㉑ <u>日常生活用具の給付</u> 日常生活の便宜を図るために、必要な用具の給付を行います。</p>	1	2	3	4
<p>㉒ <u>移動支援（ガイドヘルプ）</u> 円滑に外出できるよう、移動を支援します。地域における自立生活及び社会参加の促進を目的とします。</p>	1	2	3	4
<p>㉓ <u>地域活動支援センター事業</u> 創作的活動又は生産的活動の機会の提供、社会との交流の促進等の支援を行うサービスです。</p>	1	2	3	4

(項目ごと1つに○印)

現在の利用 ついでに	利用したい から	利用したい は思わない	利用したいと 必要ない
1	2	3	4

<p>⑲訪問入浴サービス</p> <p>居宅において入浴が困難な重度の身体障がい者(児)に対し、移動入浴車を派遣して入浴サービスを提供します。</p>	1	2	3	4
<p>⑳日中一時支援</p> <p>日中において、見守り等の支援が必要と認められる障がい者の一時的な保護を行います。障がい者等の家族の就労支援及び一時的な介護の軽減が目的です。</p>	1	2	3	4
<p>㉑成年後見制度※1や日常生活自立支援事業※2による権利の保護・支援</p>	1	2	3	4
<p>㉒児童発達支援</p> <p>児童の障がいの特性に応じ日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行います。</p>	1	2	3	4
<p>㉓医療型児童発達支援</p> <p>児童の障がいの特性に応じ日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と併せて、治療を行います。</p>	1	2	3	4
<p>㉔放課後等デイサービス</p> <p>学校通学中の児童に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中に、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流促進等の支援を行います。</p>	1	2	3	4
<p>㉕保育所等訪問支援</p> <p>保育所等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援等を行います。</p>	1	2	3	4
<p>㉖福祉型児童入所支援</p> <p>施設に入所して福祉サービスを提供し、重度・重複障がいや被虐待児への対応や日常生活での基本的な知識・技能の付与を行います。</p>	1	2	3	4
<p>㉗医療型児童入所支援</p> <p>福祉サービスと医療を提供し、重度・重複障がいや被虐待児への対応や日常生活での基本的な知識・技能の付与や治療を行います。</p>	1	2	3	4

※1 成年後見制度：判断能力が不十分な方を保護し、支援するために、適切な援助者が財産管理や遺産分割等の法律行為などを行う制度

※2 日常生活自立支援事業：利用者と社会福祉協議会が利用契約を結んだ上で、生活支援員を派遣して、福祉サービスを利用するときの手続きや、税金や公共料金等を支払う手続きなどをお手伝いするサービス

問16 平成30年度より、新たに下の3つのサービスがはじまります。あなたは利用したいと思いますか。(現在の身体状況や生活状況を前提にお答えください)。

(項目ごと1つに○印)		利用したい	利用したいとは思わない	必要ない
<p>① 就労定着支援</p> <p>就労に伴う生活面の課題に対応できるよう、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。</p>	1	2	3	
<p>② 自立生活援助</p> <p>定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。</p>	1	2	3	
<p>③ 居宅訪問型児童発達支援</p> <p>障がい児の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与等の支援を行います。</p>	1	2	3	

生活上の困りごとや相談相手についておたずねします

問17 現在の生活の中で困っていることや、将来に対する不安・悩み等がありますか。(○はあてはまるものすべて)

<p>1. 経済的な不安</p> <p>2. 障がいや健康上の不安、悩み</p> <p>3. 住まいの不満、悩み</p> <p>4. 仕事の不満または働く場がない</p> <p>5. 結婚の不安、悩み</p> <p>6. 友達がいない</p> <p>7. 家庭内の問題</p> <p>8. 周囲の人の理解がない</p>	<p>9. 介護者に負担をかける</p> <p>10. 通院、通勤、通学が困難</p> <p>11. 生きがいを見いだせない</p> <p>12. 財産の管理が不安</p> <p>13. 利用したいサービスを提供する事業所がない</p> <p>14. その他 ()</p> <p>15. 特にない</p>
---	---

問18 生活の中で困っていることや不安・悩みを誰（どこ）に相談していますか。

（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 町役場・保健所（保健師含む） | 8. ボランティア |
| 2. 児童相談所 | 9. 入所・通所している福祉施設の職員 |
| 3. 相談支援事業所 | 10. ホームヘルパーや訪問看護師 |
| 4. 障害者相談員や民生委員・児童委員 | 11. 病院・診療所の医師や看護師 |
| 5. 障害者団体 | 12. 学校・職場 |
| 6. 家族、親族 | 13. その他（ ） |
| 7. 友人・知人、近所の人 | 14. 相談する人がいない |

問19 町が実施しているいろいろな福祉施策についての情報は何で知りますか。

（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 町役場・保健所（保健師含む） | 9. 学校・職場 |
| 2. 町の広報 | 10. 福祉施設 |
| 3. 障害者相談員や民生委員・児童委員 | 11. 新聞・雑誌 |
| 4. ホームヘルパーや訪問看護師 | 12. テレビ・ラジオ |
| 5. 所属している団体の会合や会報 | 13. インターネット |
| 6. 病院・診療所・薬局 | 14. その他（ ） |
| 7. 社会福祉協議会 | 15. 特にない |
| 8. 家族・友人・知人 | |

外出についておたずねします

問20 あなたは、過去1年間にどのくらい外出をしましたか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-----------|----------|--------------------|
| 1. ほとんど毎日 | 3. 週1~2回 | 5. 年に数回 |
| 2. 週3~4回 | 4. 月1~2回 | 6. 一度も外出していない⇒問21へ |

問20-1 （問20で1~5のいずれかを選んだ方のみお答えください）

外出の目的は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 通勤・通学 | 6. 散歩 |
| 2. 買物 | 7. 旅行 |
| 3. 病院への通院 | 8. レジャー・スポーツ |
| 4. 施設への通所・訓練 | 9. 親戚・友人・知人宅の訪問 |
| 5. 町役場や相談支援センターなどへの用事 | 10. その他（ ） |

問21 外出に関して、どのようなことに不便や困難を感じますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 付き添ってくれる人がいない
2. 外出先でコミュニケーションがとりにくい
3. 必要なときに、まわりの人の手助けや配慮が足りない
4. まわりの人の目が気になる
5. 障がい者用トイレが少ない
6. 障がい者用の駐車スペースや手すり、スロープ、案内表示等、障がい者に配慮した設備が不十分である
7. バリアフリー等障がい者への配慮に関する情報が入手しにくい。
8. 通路上に自転車や着板等の障害物があってとりにくい
9. 道路・建物の段差や、電車・バス等の乗り降りがたいへん
10. 気軽に利用できる移動手段が少ない(福祉タクシーやリフト付きバス等)
11. 交通費の負担が大きい
12. その他()
13. 特に不便や困難を感じることはない
14. ほとんど外出しないのでわからない

地域での生活についておたずねします

問22 あなたは、お住まいの地域の人に支えられていると感じていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|--|--------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 支えられている 2. どちらかという支えられている 3. どちらかという支えられていない 4. 支えられていない | <p>5. どちらとも言えない⇒問23へ</p> |
|--|--------------------------|

問22-1 あなたがそのように感じた具体例があれば、ご記入ください。

問23 あなたはどのような地域活動ちいきかつどうに現在参加げんざいさんかしていますか。

(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---|---|
| 1. 自治会 <small>じちかい</small> の活動 <small>かつどう</small> | 6. 障害者団体 <small>しょうがいしやだんたい</small> の活動 <small>かつどう</small> |
| 2. PTA <small>かつどう</small> 活動 | 7. 老人 <small>ろうじん</small> クラブの活動 <small>かつどう</small> |
| 3. 子ども会 <small>こ</small> などの世話 <small>せわ</small> | 8. ボランティア活動 <small>かつどう</small> |
| 4. 青年団体 <small>せいねんだんたい</small> の活動 <small>かつどう</small> | 9. その他 () |
| 5. 婦人団体 <small>ふじんだんたい</small> の活動 <small>かつどう</small> | 10. 参加 <small>さんか</small> していない |

問24 今後こんご、余暇活動よかかつどうとして、どのような活動かつどうをしたいと思いますか。おも

(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---|--|
| 1. スポーツ | 7. 趣味 <small>しゆみ</small> などのサークル活動 <small>かつどう</small> ・生涯学習 <small>しょうがいがくしゅう</small> |
| 2. レクリエーション | 8. 講座 <small>こうざ</small> や講演会 <small>こうえんかい</small> 等への参加 <small>さんか</small> |
| 3. 旅行 <small>りょこう</small> | 9. 地域 <small>ちいき</small> の行事 <small>ぎょうじ</small> や祭り <small>まつ</small> 、学校 <small>がっこう</small> ・職場 <small>しょくば</small> の行事 <small>ぎょうじ</small> |
| 4. 買い物 <small>かもの</small> | 10. その他 () |
| 5. ボランティア活動 <small>かつどう</small> | 11. 特 <small>とく</small> にない |
| 6. セルフヘルプ活動 <small>かつどう</small> * <small>かつどう</small> | |

※セルフヘルプ活動かつどう：同じような立場おなじたちば（病気びょうき・障がい等しょうがい）の方かたたちが、その思いや体験おもちたいけんを共有きょうゆうしながら、専門家せんもんかの支援しえん・援助えんじょを受けることなく、自らみづかも自立じりつしながら相互そうごに支えあうこと。

問25 あなたが地域ちいきで行おこなわれる行事ぎょうじや余暇活動よかかつどうに参加さんかしようとした場合ばあい、そのさまたげとなることはありますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|--|--|
| 1. どのような活動 <small>かつどう</small> が行 <small>おこな</small> われているか知らない | 6. コミュニケーションが難 <small>むずか</small> しい |
| 2. 気軽 <small>きがる</small> に参加 <small>さんか</small> できる活動 <small>かつどう</small> が少ない | 7. 参加 <small>さんか</small> したくなるようなものがない |
| 3. 一緒 <small>いっしょ</small> に活動 <small>かつどう</small> する友人 <small>ゆうじん</small> ・仲間 <small>なかま</small> が少ない | 8. その他 () |
| 4. 活動場所 <small>かつどうばしょ</small> が近く <small>ちか</small> にない・移動手段 <small>いどうしゆだん</small> がない | 9. 特 <small>とく</small> にない |
| 5. 健康 <small>けんこう</small> や体力 <small>たいりよく</small> に自信 <small>じしん</small> がない | |

ふくしぜんぱん
福祉全般についておたずねします

問30 障がい者に対する町民の理解についてどのように感じていますか。

(○は1つだけ)

1. とても理解されている	4. まったく理解されていない
2. ある程度理解されている	5. どちらとも言えない⇒問31へ
3. あまり理解されていない	

問30-1 あなたがそのように感じた具体例があれば、ご記入ください。

問31 障がいがあることで、差別を感じたりいやな思いをしたことがありますか。

(○は1つだけ)

1. よくある	3. ほとんどない
2. 時々ある	4. まったくない



問32 障がい者に対する支援として、行政（国・県・町）はどのようなことを充実すべきだと思いますか。（〇は5つまで）

1. 障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実
2. 障がい児の療育・保育・教育の充実
3. 就労支援の充実（働くための訓練や職業紹介、就労後の指導や支援等）
4. 障がい者の雇用・就業の促進
5. 年金や手当等の充実
6. 公営住宅への障がい者優先入居等住宅施策の充実
7. 機能回復訓練等リハビリテーションの充実
8. 在宅生活を支えるための保健・医療の充実
9. 通院・治療のための医療費の助成
10. ホームヘルプや外出支援等の在宅サービスの充実
11. 障がい者を支えるボランティアの育成
12. 障がい者に対する情報提供や相談窓口の充実
13. 障がい者同士や地域の人等と交流ができる場の整備
14. 緊急時や災害時の支援体制の充実
15. 障がい者にやさしいまちづくりの推進（公共交通機関、道路等の整備）
16. 成年後見制度や日常生活自立支援事業による権利の擁護、支援
17. その他（）
18. 特にない

最後に、障害福祉に関わらず、あなたが普段感じていることや考えていること、困っていることなどがありましたら、何でもご自由にお書きください。

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
返信用封筒に入れて10月16日（月）までに返送してください。